

高齡者基礎調査

(平成16年7月1日現在)

新潟県福祉保健部高齡福祉保健課

目 次

調査の概要	1
調査対象者の基本属性	3
調査結果の概要	11
調査結果	
1 経済的な暮らし向き	
(1) 経済的な暮らし向き	15
2 健康状態と健康への意識	
(1) 健康状態	17
(2) 健康のために意識していることや取り組んでいることの有無	19
(3) 健康のために意識していること、取り組んでいること	21
(4) 健康管理のために役立つ保健情報	23
(5) 「心の健康」のために気をつけていること	25
(6) 「心の健康」についての相談相手	28
(7) うつ病についての知識	30
3 介護予防についての意向	
(1) 健康のために参加してみたい活動	32
4 高齢者の生きがい、社会参加活動	
(1) ふだんの過ごし方	34
(2) 喜びや生活の張りを感じること	36
(3) 今後行いたい活動	38
(4) 特に何もしたいとは思わない理由	41
(5) 社会・地域活動に参加するために県や市町村は何をすればよいか	43
5 日常不自由に感じる事	
(1) 日常不自由に感じる事	46
6 住居改修の意向	
(1) 住居で使いにくいところ	49
(2) 住居の改修予定の有無	51
(3) 改修予定のない理由	52

7	痴呆症になった場合の生活	
(1)	痴呆症になった場合に必要ながら	54
8	介護を受けたい場所	
(1)	介護が必要となった場合、介護を受けたい場所	58
(2)	特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたい理由	62
(3)	特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたくない理由	64
9	自宅での生活の継続に必要な支援	
(1)	自宅での生活の継続に必要な支援	66
10	介護保険制度の理解度	
(1)	介護保険制度の理解度	69
(2)	介護保険制度でわかりにくい点	71
11	自宅での介護保険サービスの利用状況と満足度	
(1)	自宅での介護保険サービスの利用状況	72
(2)	自宅での介護保険サービスに対する満足度	73
(3)	自宅での介護保険サービスに満足していない理由	74
	調査票	75
	単純集計票	87

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、「新潟県高齢者保健福祉計画」の見直し等高齢者に対する総合的な施策の推進を図るため、高齢者の生活実態、考え方、要望等を調査することを目的とする。

2 調査項目

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| (1) 高齢者の基本属性 | (2) 高齢者の経済的な暮らし向き |
| (3) 高齢者の健康状態と健康への意識 | (4) 高齢者の介護予防についての意向 |
| (5) 高齢者の生きがい、社会参加活動 | (6) 高齢者が日常不自由に感じる事 |
| (7) 高齢者の住居改修の意向 | (8) 高齢者の介護を受けたい場所 |
| (9) 高齢者が必要と思うサービス | (10) 高齢者の介護保険制度の理解度と利用状況 |

3 調査の設計

この調査は次により設計し、実施した。

- | | |
|------------|---------------------|
| (1) 調査地域 | 新潟県全域 |
| (2) 調査対象 | 新潟県内に在住する満65歳以上の高齢者 |
| (3) 標本数 | 6,000人 |
| (4) 標本選定方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |
| (6) 調査基準日 | 平成16年7月1日 |
| (7) 調査時期 | 平成16年7月10日～26日まで |
| (8) 調査集計 | 株式会社ホクギン経済研究所に委託 |

4 有効回答数 4,315人 (回収率 71.9%)

5 項目及び図表上の記号について

- ・【SA】 1つだけ回答
- ・【MA】 複数回答いくつでも可
- ・ N 設問に対する回答者数
- ・ 前回調査 平成13年実施の調査
- ・ 前々回調査 平成10年実施の調査
- ・ 「要支援・介護認定」の状況別
「要支援・介護認定」を受けている人
= 「要支援・介護認定」で、「要支援」、「要介護1～5」と認定された人
「要支援・介護認定」を受けていない人
= 「要支援・介護認定」で「自立」と認定された人、「要支援・介護認定」を現在申請中の人及び申請していない人

本調査は平成16年7月に実施していることから、「痴呆」という用語について、平成16年12月に「認知症」に変更になっているが、調査票記載のままとしています。

調査対象者の基本属性

1 年齢層

回答者の年齢層を見ると、「65～69歳」が26.1%、「70～74歳」が25.8%と割合が高かった。次いで、「75～79歳」が21.1%、「80～84歳」が13.4%、「85歳以上」が9.3%であった。

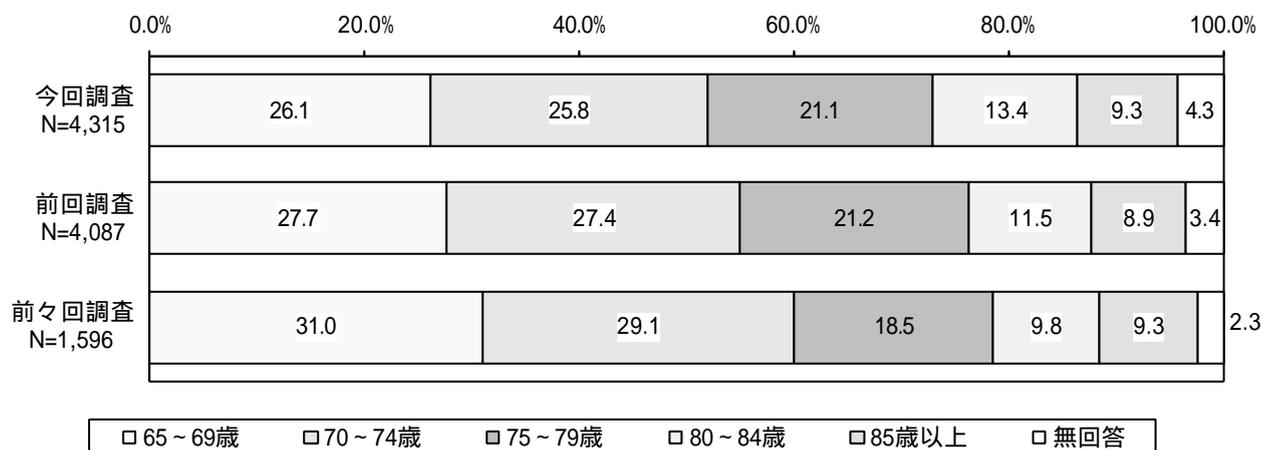
この結果、65～74歳の「前期高齢者」は51.9%、75歳以上の「後期高齢者」は43.8%となった。

前回、前々回調査と比較すると、「65～69歳」、「70～74歳」の割合が徐々に低下しており、「前期高齢者」の割合は低下している。一方、75歳以上の割合が徐々に上昇しており、「後期高齢者」の割合は高まっている。

表 1 年齢層 (N=4,315)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	全体
実数	1,129	1,112	912	577	401	184	4,315
構成比 (%)	26.1	25.8	21.1	13.4	9.3	4.3	100.0
	前期高齢者		後期高齢者				
実数	2,241		1,890				
構成比 (%)	51.9		43.8				

図 1 年齢層



2 性別

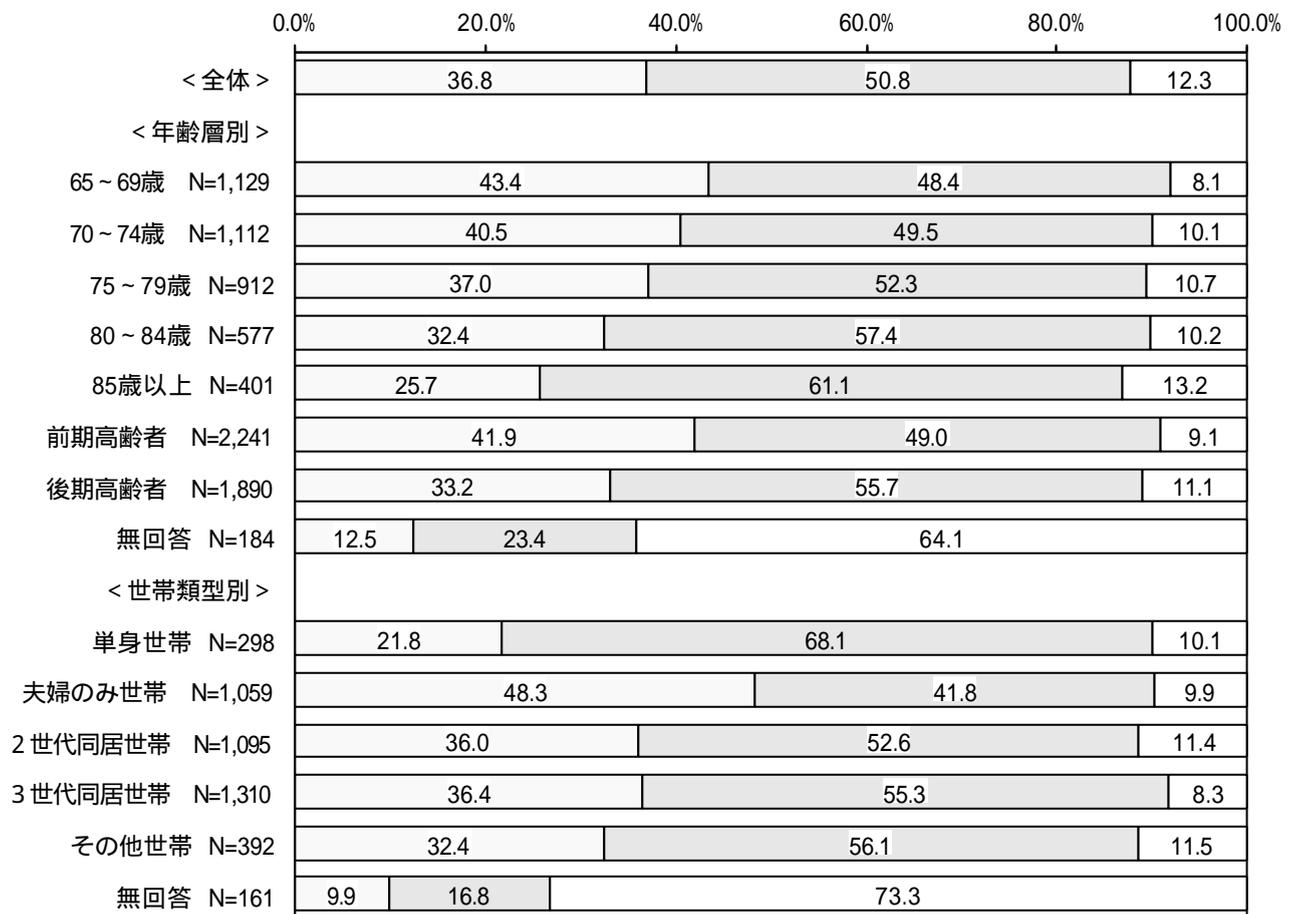
回答者を性別に見ると、「男性」が36.8%、「女性」が50.8%となり、女性の方が割合が高い。

年齢層別に見ると、年齢が高くなるにつれて「男性」の割合は低下し、「女性」の割合が高まっている。この結果、後期高齢者では、「男性」が33.2%、「女性」が55.7%となっている。

世帯類型別では、単身世帯の68.1%が「女性」であり、女性の一人暮らしが多い結果となっている。その他世帯、3世代同居世帯、2世代同居世帯でも5割以上が「女性」となっており、夫婦のみ世帯だけが、「男性」が「女性」の割合を上回っている。

図2 性別

N=4,315



□ 男性 □ 女性 □ 無回答

3 配偶者の有無

配偶者の有無を見ると、「配偶者あり」が59.6%、「配偶者なし」が36.9%であった。

前回、前々回調査と比べると、「配偶者あり」の割合が徐々に低下している。

年齢層別に見ると、年齢が高まるにつれて「配偶者あり」の割合が低下している。この結果、前期高齢者では「配偶者あり」が72.1%であったのに対し、後期高齢者では48.5%となった。

図3 配偶者の有無

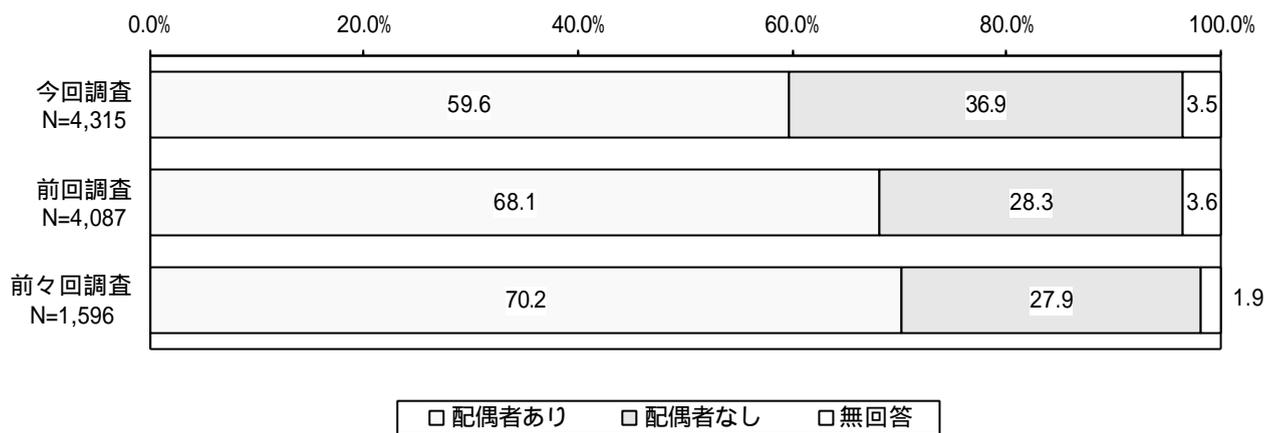
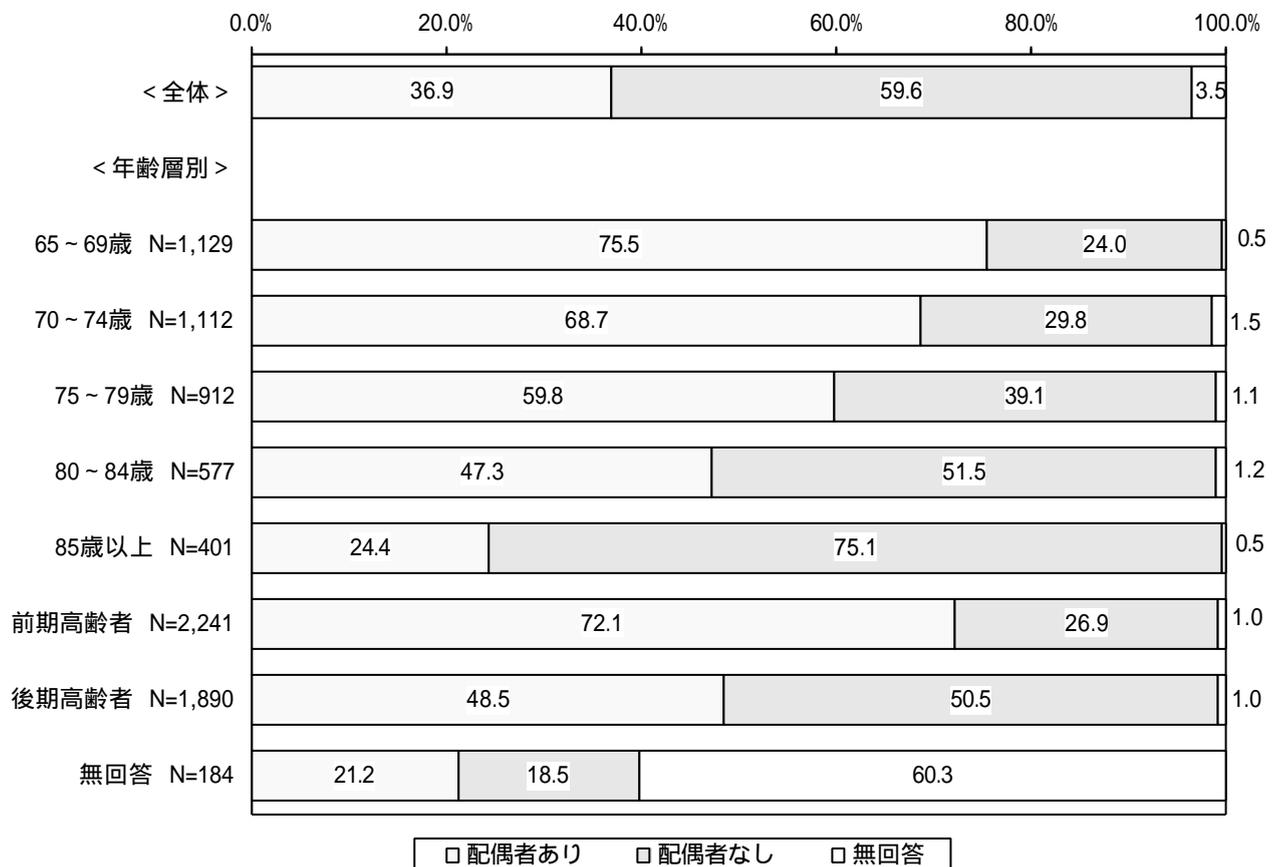


図4 配偶者の有無
N=4,315



4 世帯類型

世帯類型は、「3世代同居世帯」が30.4%で最も多く、「2世代同居世帯」が25.4%、「夫婦のみ世帯」が24.5%、「その他世帯」が9.1%、「単身世帯」が6.9%となった。

前回、前々回調査と比較すると、「3世代同居世帯」の割合は徐々に低下し、「2世代同居世帯」、「夫婦のみ世帯」などの割合が上昇している。

年齢層別に見ると、年齢が高まるにつれて「単身世帯」、「2世代同居世帯」、「その他世帯」の割合が上昇する傾向にある。一方、「夫婦のみ世帯」は年齢とともに低下している。

福祉圏域別に見ると、「単身世帯」は、糸魚川圏域、新潟圏域で割合が高く、1割以上になっている。「夫婦のみ世帯」は、新潟圏域、柏崎圏域、佐渡圏域、糸魚川圏域で割合が高く、3割を超えている。「3世代同居世帯」は六日町圏域、新発田圏域、村上圏域、長岡圏域の順に割合が高い。

(注) 世帯類型の分類

2世代同居世帯 = 高齢者本人と親世代あるいは高齢者本人と子世代で構成される世帯

3世代同居世帯 = 高齢者本人と親世代・子世代あるいは高齢者本人と子世代・孫世代で構成される世帯

その他世帯 = 単身世帯、夫婦のみ世帯、2世代同居世帯、3世代同居世帯以外の世帯

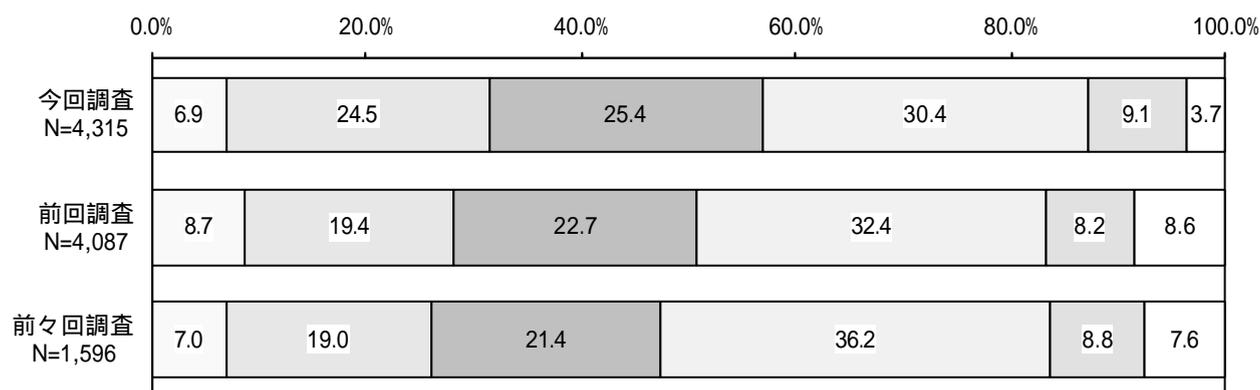
《例》 4世代同居世帯

高齢者本人と孫世代・ひ孫世代で構成される世帯

高齢者本人とその他の親族(姪・甥など)で構成される世帯

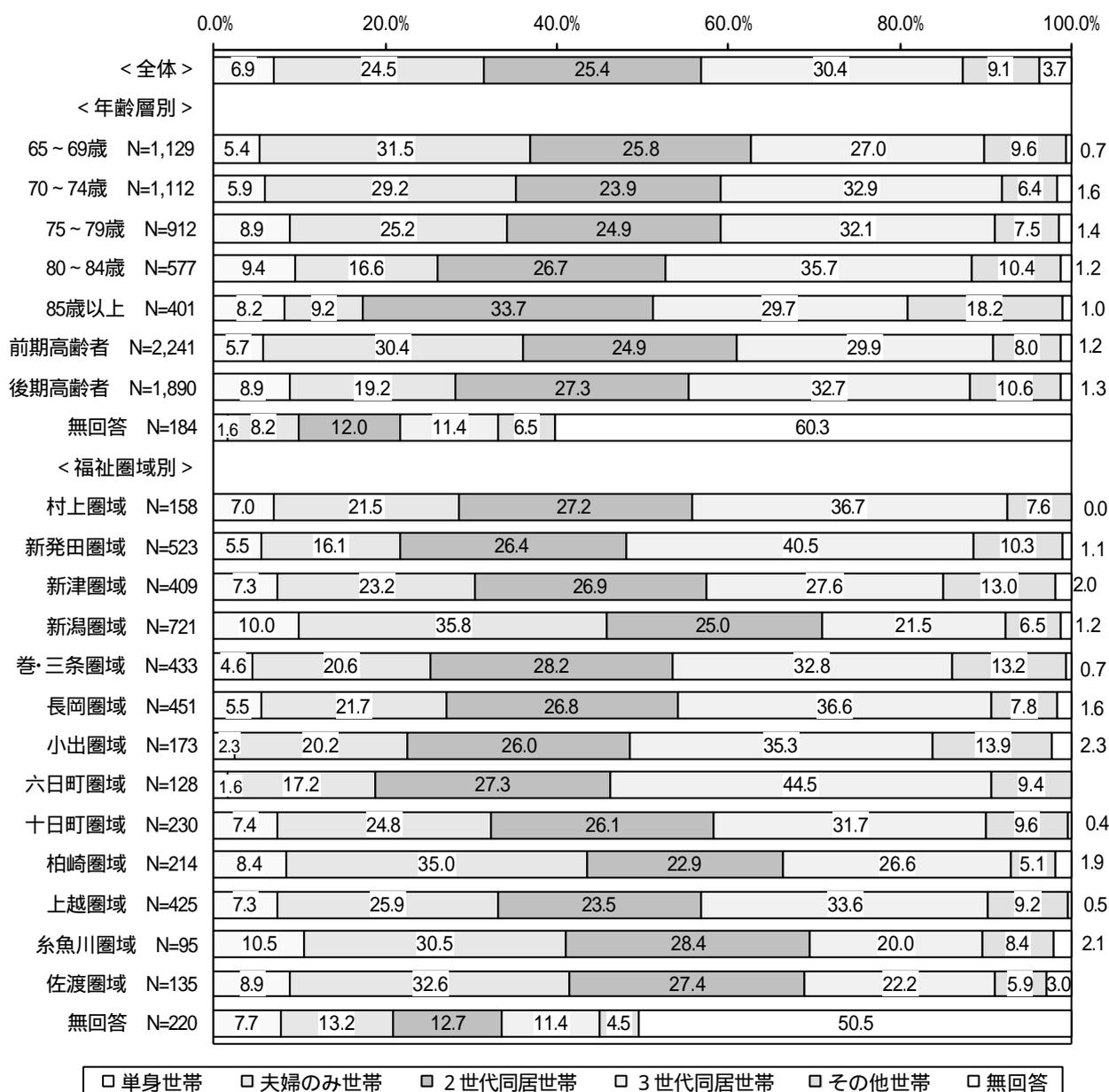
高齢者本人と兄弟姉妹で構成される世帯

図5 世帯類型



□ 単身世帯 □ 夫婦のみ世帯 □ 2世代同居世帯 □ 3世代同居世帯 □ その他世帯 □ 無回答

図6 世帯類型
N=4,315



5 本人の「要支援・介護認定」の状況（H16.7.1 現在）

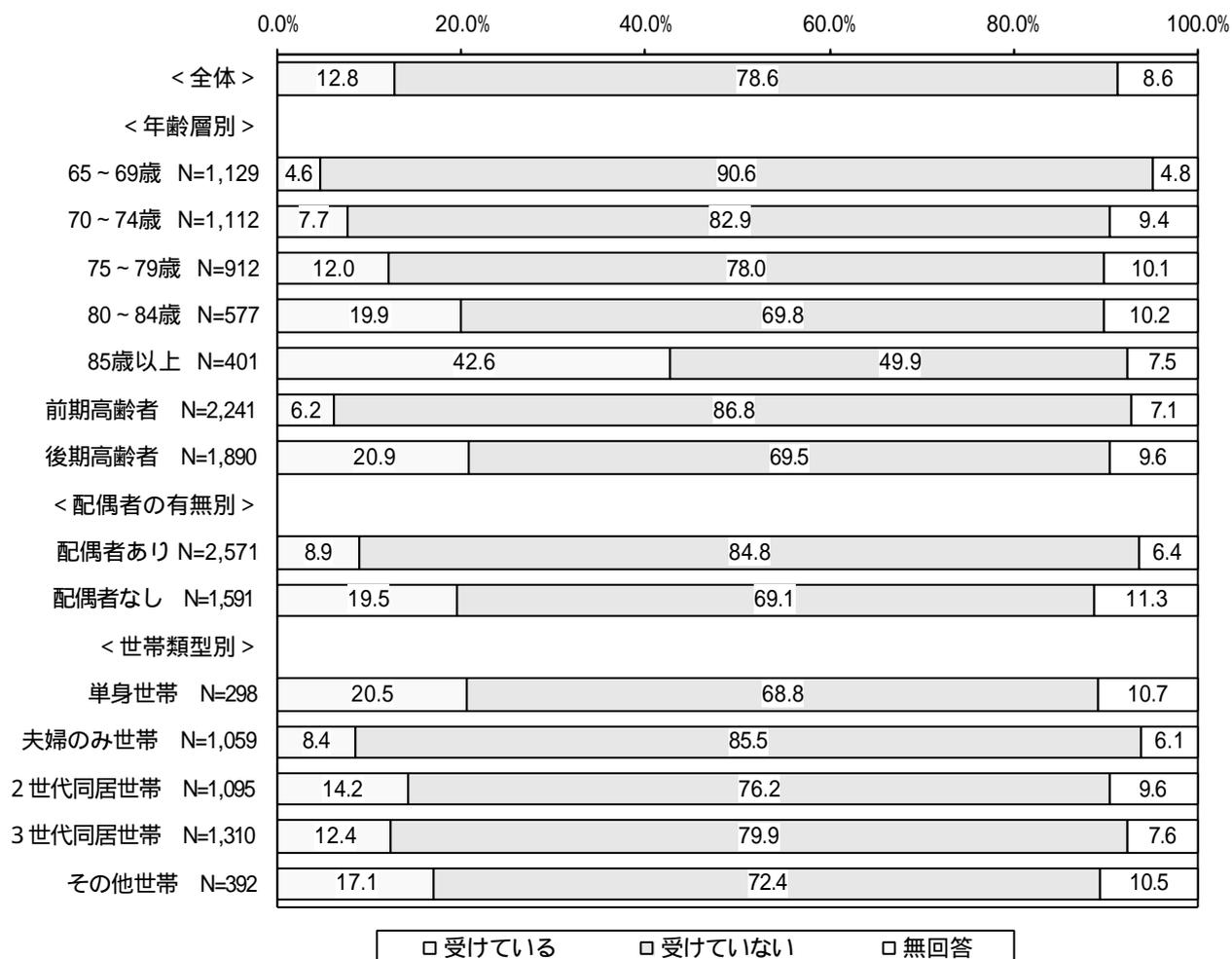
本人の「要支援・介護認定」の状況を見ると、要支援・介護認定を「受けていない」人の割合が78.6%と8割近くを占めた。「受けている」人は12.8%であった。

年齢層別に見ると、年齢が高まるにつれて要支援・介護認定を「受けている」割合が高まっており、85歳以上では42.6%を占めた。この結果、前期高齢者では「受けている」割合が6.2%だったが、後期高齢者では20.9%に上昇している。

配偶者の有無別に見ると、要支援・介護認定を「受けている」割合は、配偶者がいる人が8.9%であったのに対し、配偶者がいない人は19.5%と高くなっている。

世帯類型別では、単身世帯で要支援・介護認定を「受けている」割合が高く、20.5%を占めた。「受けていない」割合が最も高かったのは、「夫婦のみ世帯」であり、85.5%であった。

図7 本人の「要支援・介護認定」の状況
N=4,315



6 家族の「要支援・介護認定」の状況（H16.7.1 現在）

家族の「要支援・介護認定」の状況を見ると、要支援・介護認定を「受けていない」が77.8%となり、「受けている」は12.0%であった。

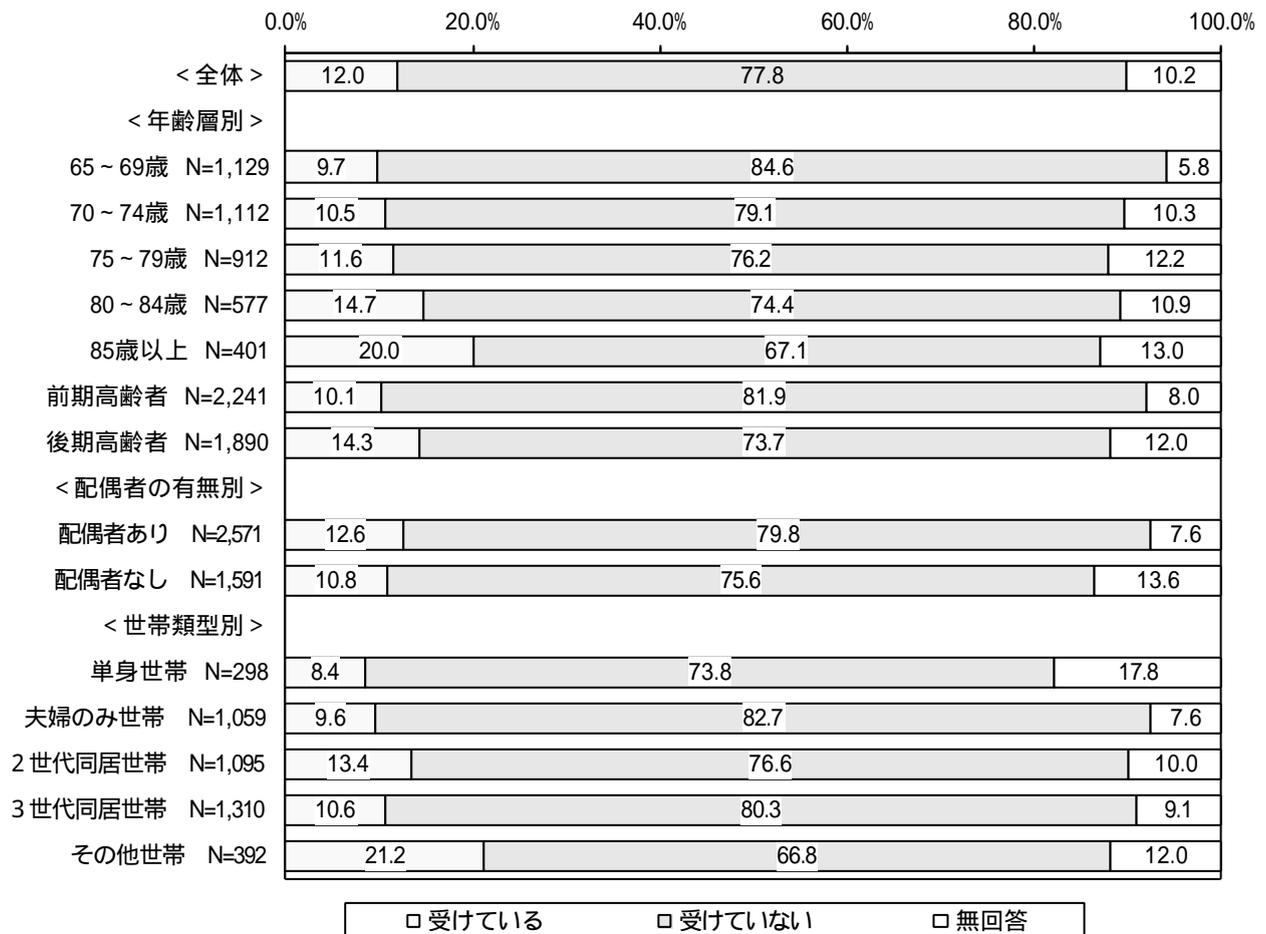
年齢層別に見ると、年齢が高まるにつれて、家族が要支援・介護認定を「受けている」割合が上昇しており、85歳以上では20.0%を占めた。

配偶者の有無別では、配偶者がいる人の方が「受けている」割合が高く12.6%であったが、「受けていない」もほぼ8割を占め、いずれも配偶者のいる人の方で割合が高かった。

世帯類型別では、その他世帯で「受けている」割合が2割超で最も高く、2世代同居世帯が次いで多かった。

図8 家族の「要支援・介護認定」の状況

N=4,315



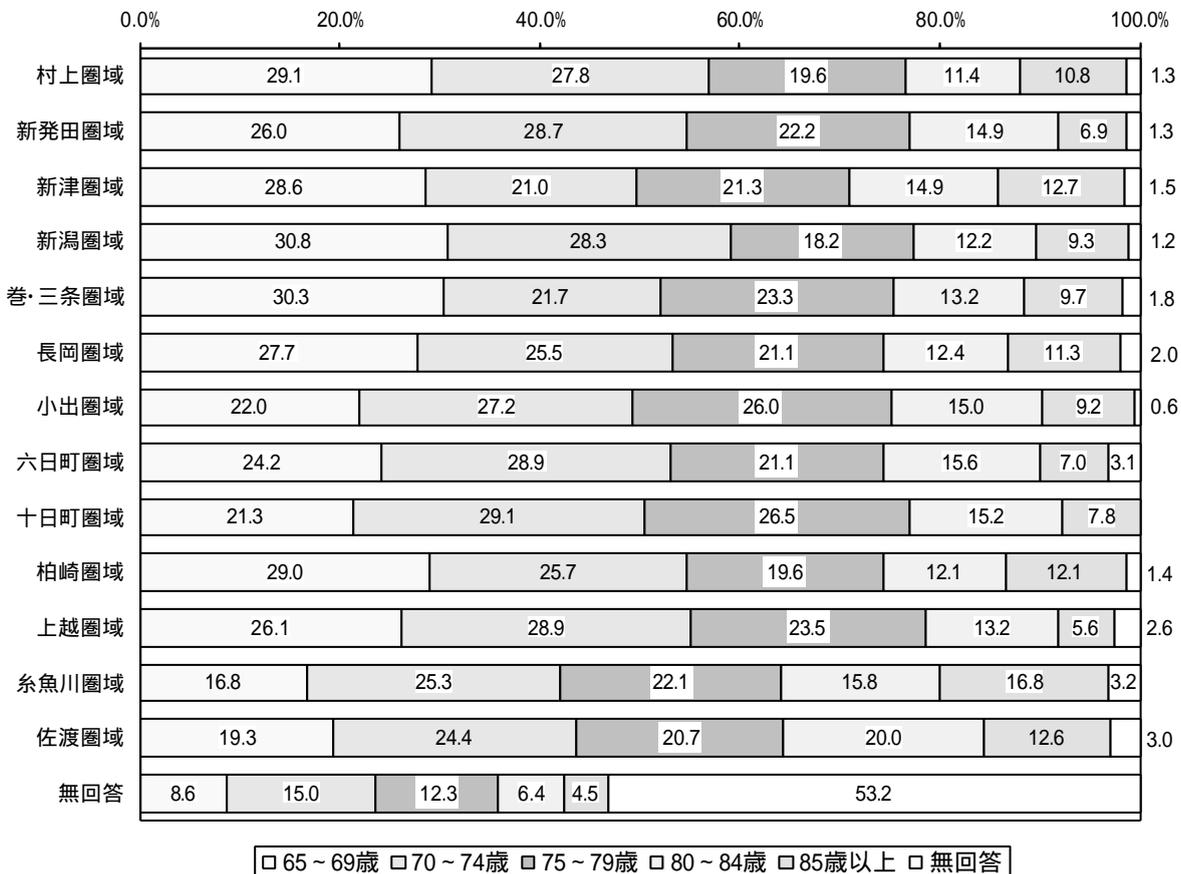
7 福祉圏域

福祉圏域構成市町村、回答数、構成比、年齢層別構成比は以下の通りである。

表2 福祉圏域内訳 (調査基準日 H16.7.1 現在)

圏域名	構成市町村	実数(人)	構成比(%)
村上圏域	村上市、関川村、荒川町、神林村、朝日村、山北町、粟島浦村	158	3.7
新発田圏域	新発田市、豊栄市、阿賀野市、聖籠町、加治川村、紫雲寺町、中条町、黒川村	523	12.1
新津圏域	新津市、五泉市、白根市、小須戸町、村松町、横越町、亀田町、津川町、鹿瀬町、上川村、三川村	409	9.5
新潟圏域	新潟市	721	16.7
巻・三条圏域	三条市、加茂市、見附市、燕市、岩室村、弥彦村、分水町、吉田町、巻町、西川町、味方村、潟東村、月潟村、中之口村、田上町、下田村、栄町、中之島町	433	10.0
長岡圏域	長岡市、栃尾市、越路町、三島町、与板町、和島村、出雲崎町、寺泊町、山古志村	451	10.5
小出圏域	小千谷市、川口町、堀之内町、小出町、湯之谷村、広神村、守門村、入広瀬村	173	4.0
六日町圏域	湯沢町、塩沢町、六日町、大和町	128	3.0
十日町圏域	十日町市、川西町、津南町、中里村	230	5.3
柏崎圏域	柏崎市、高柳町、小国町、刈羽村、西山町	214	5.0
上越圏域	上越市、新井市、安塚町、浦川原村、松代町、松之山町、大島村、牧村、柿崎町、大潟町、頸城村、吉川町、妙高高原町、中郷村、妙高村、板倉町、清里村、三和村	425	9.8
糸魚川圏域	糸魚川市、名立町、能生町、青海町	95	2.2
佐渡圏域	佐渡市	135	3.1
	無回答	220	5.1
	全体	4,315	100.0

図9 年齢層別福祉圏域
N=4,315



調査結果の概要

1 経済的な暮らし向き

経済的な暮らし向きは、家計にゆとりがある、あるいはゆとりはないが心配なく暮らしている人が全体の約62%見られた。一方、家計にゆとりがなく、多少心配である、あるいは家計が苦しいとしている人は、約33%であった。

2 健康状態と健康への意識

現在の健康状態を聞いたところ、「大変健康」、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」、「病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる」をあわせると全体の約8割の人が、外出を含め自分のことは自分でできると回答している。

健康のために意識していることや取り組んでいることがあるかどうかについては、「ある」が45.0%であった。その内容としては、「自分にあった量や質の食事をするようにしている」の割合が最も高く(66.6%)、「よく眠り休養するようにしている」、「健康のために意識して運動するようにしている」などが続いている。健康管理をしていくうえで役立つ保健情報としては、「がん・心臓病・脳卒中など生活習慣病について」、「健康診断の結果についての十分な説明」などが上位にあがった。

一方、「心の健康」のために気をつけていることとしては、「趣味などで気分転換をするようにしている」の割合が最も高く(42.9%)、「休養を心がけるようにしている」、「話し相手をみつけて気分転換をするようにしている」などが続いた。そして、「心の健康」が心配な時は、6割近い人が「家族・親戚」に相談するとしている。

うつ病についてどのようなことを聞いたことがあるかについては、「誰でもなる可能性がある病気である」と回答した人が最も多かった(44.0%)。「うつ病について特に聞いたことがない」は17.4%であった。

3 介護予防についての意向

いつまでも健康でいきいきと暮らしていくために、今後(または今後とも)参加してみたい活動としては、「転倒骨折予防教室(生活指導や運動指導)」、「高齢者食生活改善教室」などが上位に上がった。一方、「特にない」と回答した人は約2人に1人であった。

4 高齢者の生きがい、社会参加活動

仕事や家事以外のふだんの過ごし方は、7割以上の人「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き」をあげており、圧倒的に多かった。「仲間と集まったり、おしゃべりする」、「旅行・ドライブ・買い物など外出」なども3割以上見られた。また、喜びや生活の張りを感じることは、「子どもや孫の成長」、「仲間と集まったりおしゃべりしたりすること」、「旅行・買い物」などが多く見られた。

現在行っていることも含めて、今後行いたい活動としては、「家の仕事(家事・自給用の農作業など)」が5割以上見られたほか、「趣味・娯楽」も3割以上が回答した。「特に何もしたいとは思わない」は1割超見られたが、その理由としては、「健康・体力に自信がないから」が圧倒的に多かった(60.0%)。

高齢者が今以上に社会や地域での活動に参加するために、県や市町村は何をすればよいかを聞いたところ、「情報をもっと提供する」、「参加を呼びかけてくれる世話役の確保や養成」、「一緒に活動する仲間を作る機会を提供する」などが上位にあげられた。

5 日常不自由に感じる事

日常不自由に感じる事は、「特にない」が最も多かったが(38.2%)、不自由な点としては、「家の管理(庭の手入れ、簡単な修理、雪おろしなど)が大変」、「日常の買い物が大変」、「病院や理美容などへ出かけるのが困難・不便」が多く見られた。

6 住居改修の意向

現在の住居で使いにくいところは、「特に困ったり、不便を感じているところはない」が57.0%と圧倒的に多かった。使いにくいところとしては、「玄関と床・道路との段差」、「敷居など、廊下と部屋との段差」などが上位に見られた。

使いにくい部分の改修予定は、「ない」という人が4割近くを占めたが、その理由としては、「改修費用がないため」の割合が最も高く(40.0%)、「その他」が続いている。「その他」の内容としては、「不自由していない・満足しているから」や「新築したばかり」、「改修したばかり」などが見られている。

7 痴呆症になった場合の生活

自分や家族が痴呆症になった場合、安心して暮らしていくためには、「緊急時や介護に疲れたときなどに短期間預かってくれる施設(日中も夜間も通して)」を必要とする割合が最も高かった(51.8%)。また、「家族や親族の理解と協力」、「日中預かってくれる施設」、「介護を手伝ってくれるホームヘルパー」、「診断・治療をしてくれる医療機関」も多く見られた。

8 介護を受けたい場所

今後介護が必要となった場合、介護を受けたい場所としては、半数以上が「自宅で」を選んでおり、最も多かった。「ケアハウスで」、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」が続いている。

「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」介護を受けたい人の理由としては、「設備やサービスが充実していそうだから」の割合が最も高く(60.2%)、「家にいると家族に迷惑がかかるから」、「いざというとき安心だから」なども多く見られた。

一方、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」介護を受けたくない人の理由としては、「住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから」、「金銭的な負担が大きいから」、「人間関係がわずらわしいから」などが上位にあがった。

9 自宅での生活の継続に必要な支援

自宅で暮らし続けるためには、「ショートステイやデイサービスなどの介護サービスを必要とときに使えること」を必要とする割合が最も高く(45.6%)、「通院などの際、送迎サービスを受けられること」、「要介護度によって決められている金額を気にせずに、必要な分だけ介護サービスを受けられること」も上位にあがっている。

10 介護保険制度の理解度

介護保険制度の理解度としては、「だいたいわかる」が33.5%と最も多く、「わかる」の5.5%とあわせて4割近い人が制度を概ね理解している。一方、「あまりわからない」は28.8%となり、「わからない」の15.5%とあわせて約45%の人があまり理解していないことになり、理解している人の割合を5ポイント上回っている。

「あまりわからない」、「わからない」と回答した人に、制度のわかりにくい点を聞いたところ、「どんな人がサービスを受けられるか」が最も多く(35.6%)、「サービスを受けるまでの手続き」、「どのようなサービスがあるか」が続いた。

11 自宅での介護保険サービスの利用状況と満足度

自分や家族の自宅での介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が10.4%であったが、「利用していない」は78.3%となり、圧倒的に多かった。

自宅で介護保険サービスを利用している人の満足度は、「満足している」が75.1%と全体の4分の3を占めた。「満足していない」は20.7%であった。「満足していない」理由としては、「利用料の負担が重い」の割合が最も高く(49.5%)、「希望するサービスに空きがない」、「サービスの内容や時間が自分の希望に合わない」も3割以上の回答が見られた。

調查結果

1 経済的な暮らし向き

(1)経済的な暮らし向き 【SA】

暮らし向きは、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」が最も多く、52.1%と過半数を占めた。次いで、「家計にゆとりがなく、多少心配である」が25.8%で続いた。また、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」は9.8%となり、「家計にあまりゆとりはないが～」とあわせると6割以上が経済的に心配がないとしている。一方、「家計が苦しく、非常に心配である」は7.5%見られ、「家計にゆとりがなく～」とあわせると約33%が経済的に心配であるとしている。

性別に見ると、女性の方が家計にゆとりが感じられ、「家計にゆとりがあり～」、「家計にあまりゆとりはないが～」とも男性の割合を上回っている。

年齢層別に見ると、年齢が高まるにつれて家計にゆとりを感じる人の割合が高まっており、85歳以上では、「家計にゆとりがあり～」の割合が17.7%になっている。

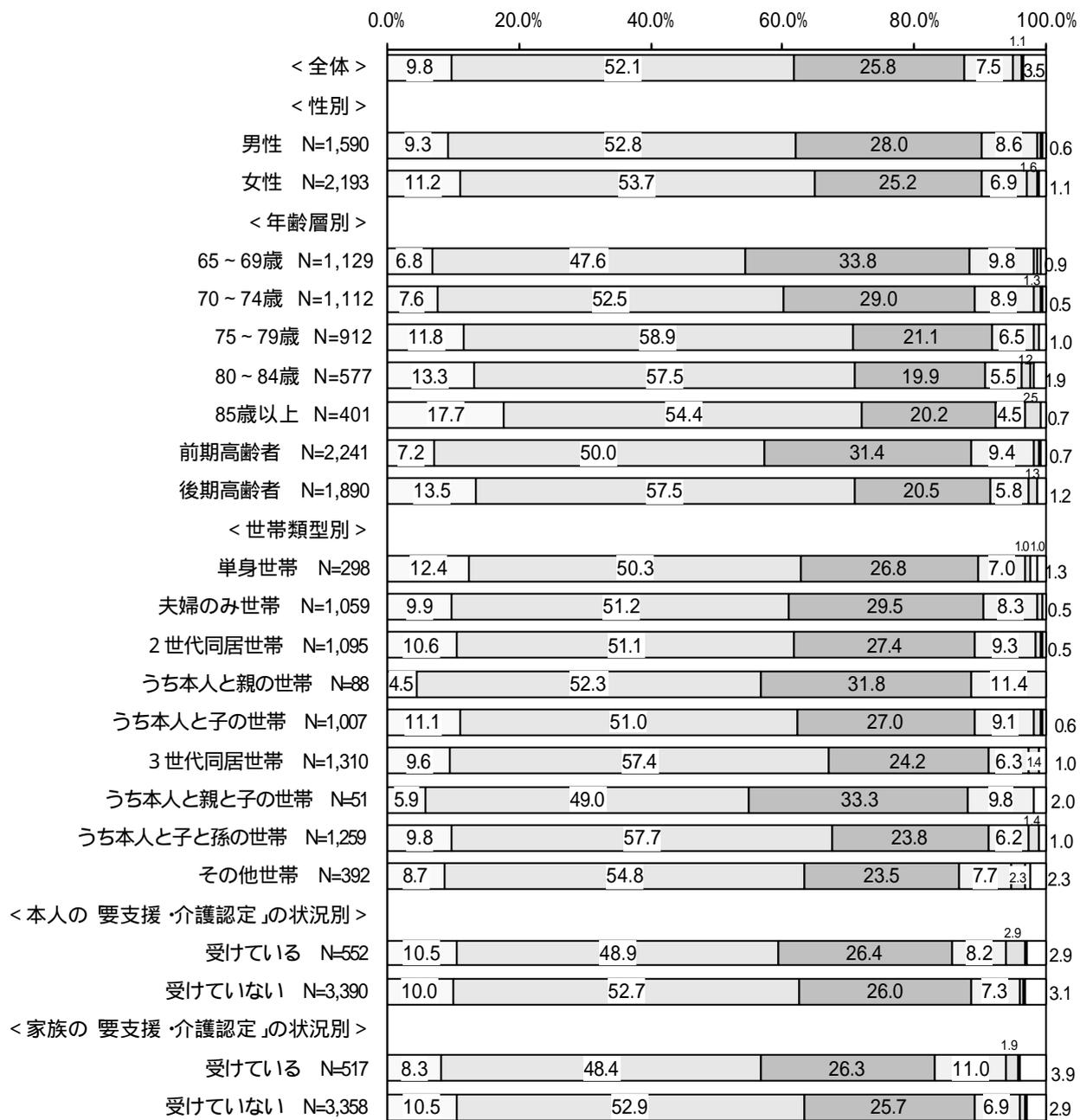
世帯類型別では、「家計にゆとりがあり～」は単身世帯で最も割合が高く、「家計にあまりゆとりはないが～」は3世代同居世帯で最も割合が高い。「家計が苦しく～」は2世代同居世帯で最も割合が高く、9.3%を占めた。

2世代同居世帯の内訳を見ると、本人と子の世帯の方で「家計にゆとりがあり～」の割合が高くなっている。「家計が苦しく～」は、本人と親の世帯の方で高く、11.4%と1割以上見られた。3世代同居世帯の内訳においても、本人と子と孫の世帯の方で「家計にゆとりがあり～」、「家計にあまりゆとりはないが～」の割合が高くなっており、ゆとりが感じられる。

本人の「要支援・介護認定」の状況別では、「家計にゆとりがあり～」の割合にさほど差はないものの、「家計にあまりゆとりはないが～」の割合は、要支援・介護認定を受けていない人の方が受けている人に比べて高くなっており、若干家計にゆとりが感じられる。

家族の「要支援・介護認定」の状況別では、「家計にゆとりがあり～」、「家計にあまりゆとりはないが～」のいずれも家族が要支援・介護認定を受けていない人の方が割合が高くなっており、家計の状況に違いが生じている様子がうかがえる。

図1 - 1 経済的な暮らし向き
N=4,315



- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている | <input type="checkbox"/> 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている |
| <input type="checkbox"/> 家計にゆとりがなく、多少心配である | <input type="checkbox"/> 家計が苦しく、非常に心配である |
| <input type="checkbox"/> わからない | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 無回答 | |

2 健康状態と健康への意識

(1)健康状態 【SA】

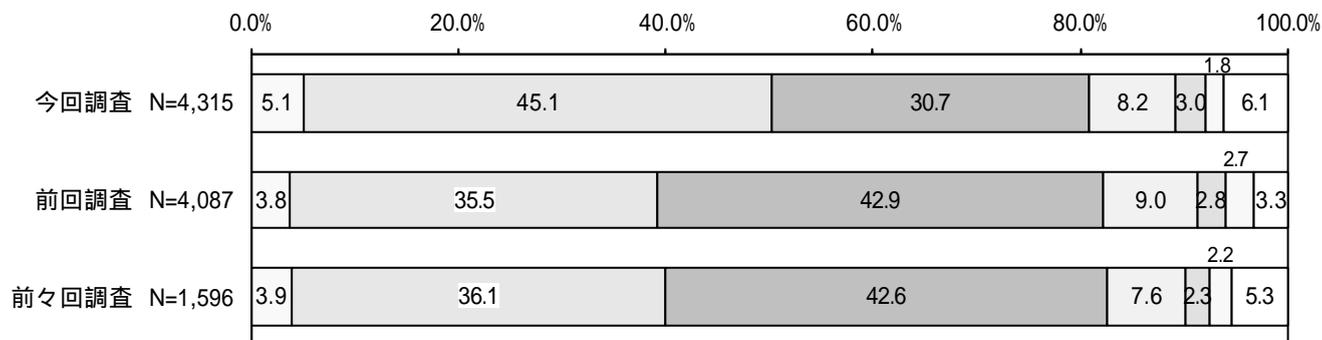
現在の健康状態を聞いたところ、「大変健康」は5.1%、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」が45.1%、「病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる」が30.7%となっており、これらを合わせると全体の80.9%の人が、外出を含め自分のことは自分でできると回答している。

前回、前々回調査と比べると、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」の割合が10ポイント程度上昇しており、回答者に健康な高齢者が増えている様子がうかがえる。

性別に見ると、男性の方が健康状態が良い傾向にあり、「大変健康」、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」、「病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる」は男性の割合が女性を上回っている。

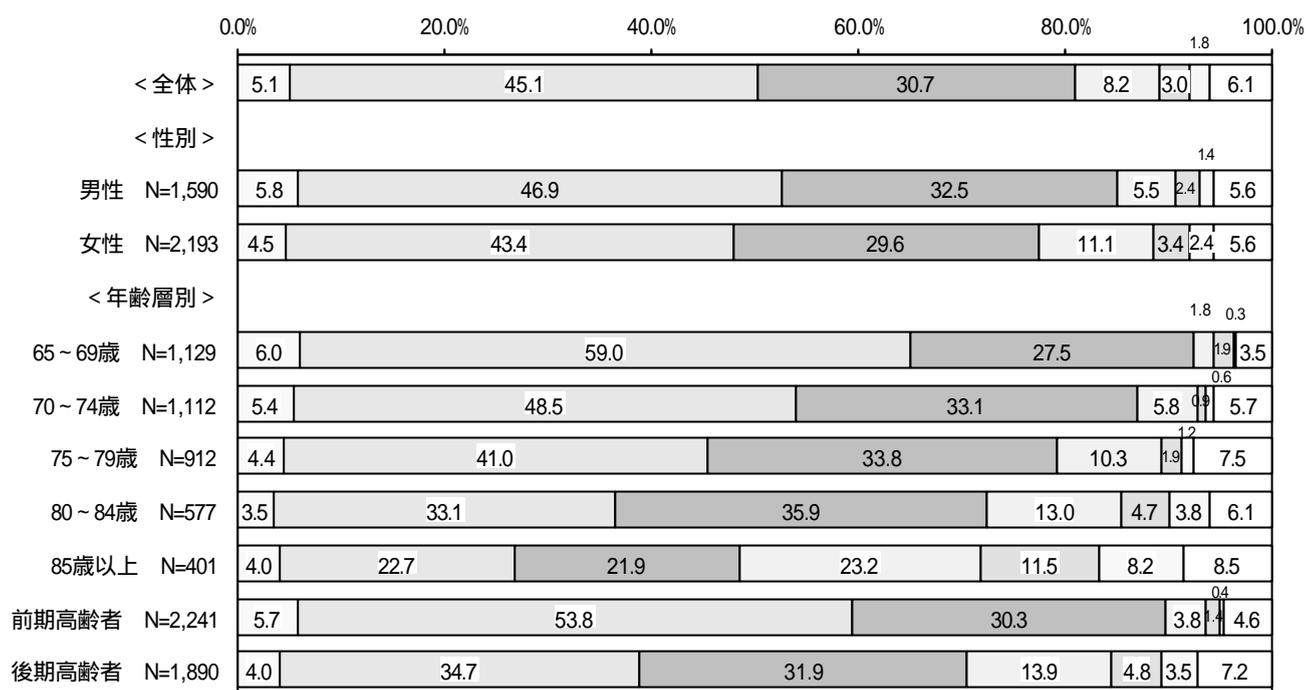
年齢層別では、年齢の上昇とともに健康状態が悪くなる様子がうかがえ、「大変健康」、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」は年齢とともに割合が低下している。逆に、「病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない」、「病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド（ふとん）の上での生活が主体である」、「病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである」高齢者は年齢とともに割合が上昇している。

図 2 - 1 健康状態 (前回、前々回調査との比較)



- 大変健康
- たいした病気や障害などもなく、普通に生活している
- 病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる
- 病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない
- 病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド（ふとん）の上での生活が主体である
- 病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである
- 無回答

図 2 - 2 健康状態
N=4,315



- 大変健康
- たいした病気や障害などもなく、普通に生活している
- 病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人ができる
- 病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人できない
- 病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である
- 病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである
- 無回答

(2)健康のために意識していることや取り組んでいることの有無 【SA】

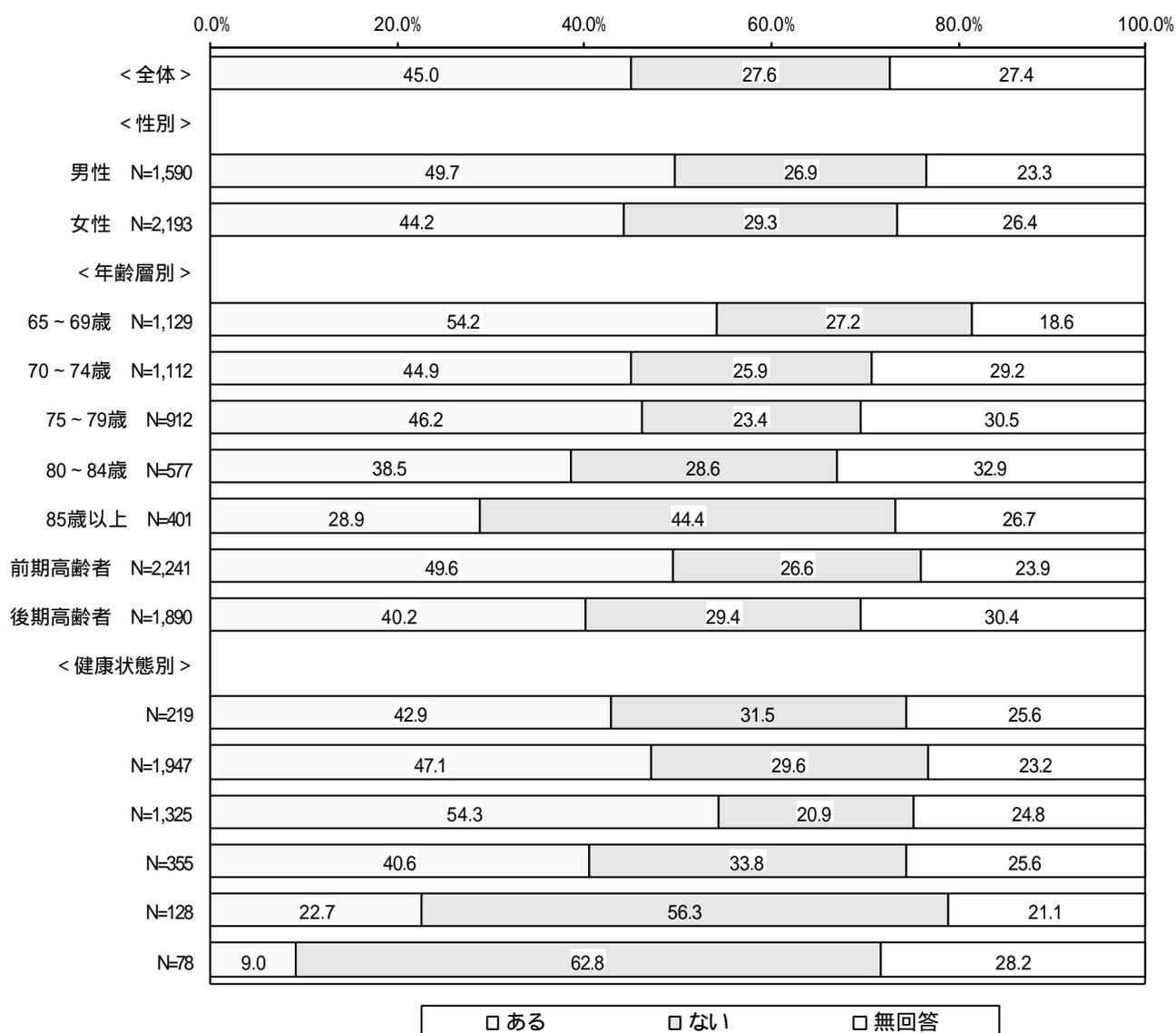
健康のために意識していることや取り組んでいることがあるかどうかを聞いたところ、「ある」が45.0%となり、「ない」の27.6%を上回っている。

性別に見ると、男性の方が「ある」の割合が高く、49.7%となり、女性を5ポイント以上上回っている。

年齢層別に見ると、年齢の低い層の方が「ある」の割合が高くなっており、60歳代では54.2%と半数を超えている。逆に、「ない」は年齢とともに割合が高まる傾向にあり、85歳以上では44.4%であった。

健康状態別では、「～外出も一人でできる」高齢者で、「ある」との回答が最も多く54.3%を占めた。一方、「ある」の割合が最も低いのは、「～寝たきりである」高齢者であるが、「大変健康」であると回答した人においても、「ある」との回答は4割超とさほど高くなかった。

図 2 - 3 健康のために意識していることや
取り組んでいることの有無
N=4,315



健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人できる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人できない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(3)健康のために意識していること、取り組んでいること 【MA】

健康のために意識していること、取り組んでいることがあるという人にその内容を聞いたところ、「自分にあった量や質の食事をとるようにしている」が66.6%と最も割合が高く、「よく眠り休養するようにしている」が56.2%、「健康のために意識して運動するようにしている」が42.7%で続いた。

性別に見ると、「自分にあった量や質の食事～」などは女性の方が、「よく眠り休養～」、「健康のために意識して運動～」などは男性の方で割合が高かった。

年齢層別に見ると、「よく眠り休養～」は、年齢が上がるにつれて割合も高くなる傾向にあった。それ以外の回答については、年齢が低い層の方で割合が高い傾向が見られた。

健康状態別では、多くの項目に対して、健康状態が良好な人の方で回答する割合が高い傾向が見られる。特に、「大変健康」な人は割合が高いものが多く、「自分にあった量や質の食事～」、「よく眠り休養～」、「健康のために意識して運動～」はいずれも6割以上の回答があった。

本人の「要支援・介護認定」の状況別では、要支援・介護認定を受けていない人の方で割合が高い傾向にあり、「自分にあった量や質の食事～」は7割近く見られ、要支援・介護認定を受けている人を14ポイント程度上回った。

図 2 - 4 健康のために意識していること、取り組んでいること

N=1,940

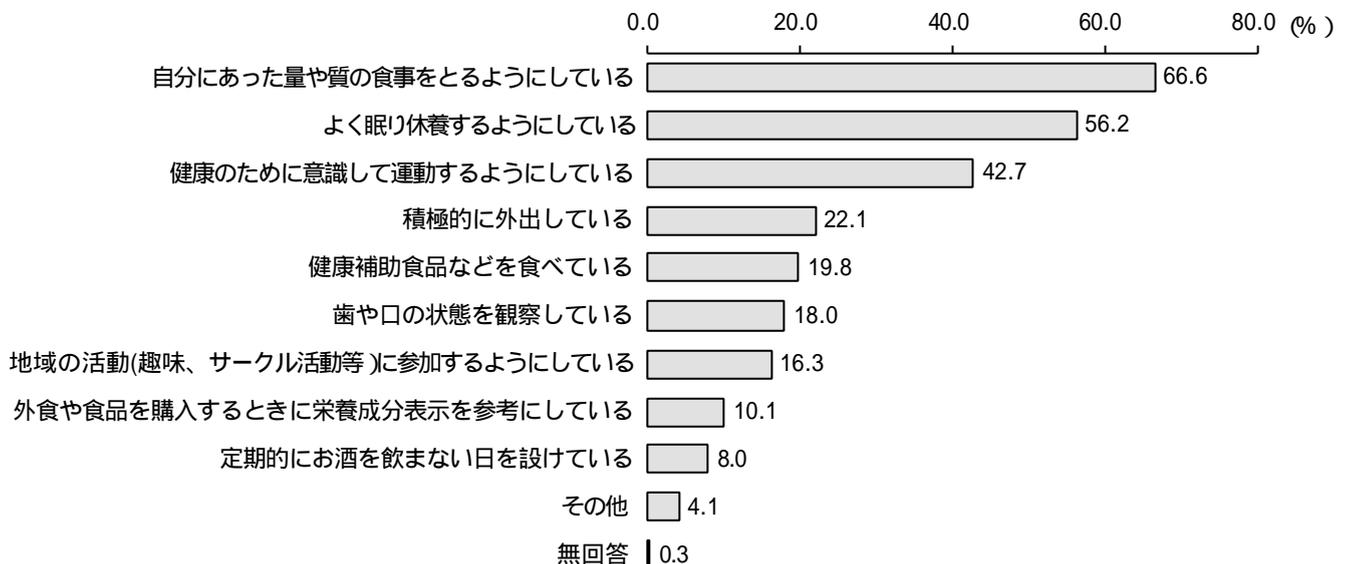


表2 - 1 健康のために意識していること、取り組んでいること

	総数	自分に あった量 や質の食 事をとるよ うにしてい る	外食や食 品を購入 するときに 栄養成分 表示を参 考にしてい る	健康補助 食品など を食べて いる	歯や口の 状態を観 察してい る	定期的 にお酒を飲 まない日 を設けて いる	健康のた めに意識 して運動 するよう にしてい る	積極的 に外出し ている	地域の活 動(趣味、 サークル 活動等) に参加す るよう にしてい る	よく眼 休養する ようにし ている	その他	無回答
<全体> (実数) (構成比)	1,940 66.6	1,292 10.1	196 10.1	385 19.8	349 18.0	155 8.0	829 42.7	429 22.1	317 16.3	1,090 56.2	79 4.1	6 0.3
<性別> 男性 女性	791 970	64.2 69.2	7.3 12.5	18.3 21.5	18.0 18.7	16.3 1.0	48.5 38.8	22.1 22.3	17.6 16.3	59.0 54.7	4.3 3.7	0.4 0.2
<年齢層別> 65～69歳 70～74歳 75～79歳 80～84歳 85歳以上	612 499 421 222 116	66.5 68.3 68.4 63.5 62.1	10.9 10.6 10.2 9.0 5.2	20.3 20.2 21.6 18.0 12.1	20.9 21.0 13.1 14.4 12.1	8.7 9.6 7.6 5.4 1.7	45.3 42.5 41.8 41.0 38.8	23.0 23.4 20.0 24.3 13.8	17.6 19.0 18.1 9.5 6.0	51.5 55.7 60.8 61.3 59.5	3.1 3.8 4.8 5.0 6.9	0.3 0.2 0.5 - -
前期高齢者 後期高齢者	1,111 759	67.3 66.0	10.8 9.1	20.3 19.1	21.0 13.3	9.1 6.1	44.0 41.1	23.2 20.3	18.3 13.7	53.4 60.7	3.4 5.1	0.3 0.3
<健康状態別> 大変健康 たいした病 気や障害 などがあ るが、日 常生活は ほぼ自分 で行える し、外出 も一人で できる 病気や障 害などが あって、 家の中の 生活はお おむね自 分で行っ ているが 、外出は 一人で できない 病気や障 害などが あって、 家の中の 生活でも 誰かの介 助が必要 で、日中 もベッド (ふとん) の上での 生活が主 体である 病気や障 害などが あって、 トイレ、 食事、着 替えなど も介助を 要し、一 日中寝た きりである	94 918 720 144 29 7	66.0 67.5 66.0 71.5 51.7 57.1	10.6 9.6 11.7 6.9 13.8 -	20.2 19.3 21.1 17.4 24.1 28.6	22.3 19.2 17.8 16.0 3.4 -	11.7 8.4 8.5 2.8 3.4 -	62.8 44.6 40.8 29.2 31.0 42.9	37.2 24.6 21.9 1.4 3.4 -	22.3 22.2 12.1 0.7 -	64.9 57.1 54.4 56.3 41.4 57.1	6.4 3.6 3.9 4.9 10.3 14.3	1.1 - 0.4 0.7 - -
<本人の「要支援・介護認定」の状況別> 受けている 受けていない	155 1,665	53.5 67.7	8.4 10.5	19.4 20.0	7.7 19.4	5.8 8.2	35.5 44.0	11.0 22.8	4.5 17.5	53.5 56.8	5.2 3.8	1.3 0.2

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人で行えない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(4)健康管理のために役立つ保健情報 【MA】

健康管理をしていくうえで役立つ保健情報を聞いたところ、「がん・心臓病・脳卒中など生活習慣病について」が33.4%で最も割合が高く、「健康診断の結果についての十分な説明」が30.0%、「痴呆の予防について」が29.0%などと続いた。

性別に見ると、男性は「がん・心臓病・脳卒中など～」の割合が最も高く、4割近かったほか、「健康診断の結果についての十分な説明」が33.7%で続いた。女性は、「痴呆の予防について」が32.4%で最も割合が高かった。

年齢層別に見ると、65～74歳では、「がん・心臓病・脳卒中など～」を選んだ割合が最も高く、75～84歳では「痴呆の予防について」が最も高くなっている。85歳以上になると「特にない」の割合が28.7%と最も高く、「寝たきりの予防方法について」が28.2%で続いているなど、年齢により求めている保健情報が異なる様子がうかがえる。

健康状態別では、「大変健康」な人は「健康診断の結果についての十分な説明」が35.2%で割合が最も高く、「食生活のあり方について」が30.6%で続く。「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」、「～外出も一人でできる」人については、「がん・心臓病・脳卒中など～」が最も多い。一方、「～外出は一人でできない」、「～日中もベッドの上での生活が主体である」、「～寝たきりである」人になると、「寝たきりの予防方法について」の割合が最も高くなっている。

本人の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、要支援・介護認定を受けていない人は、「がん・心臓病・脳卒中など～」が36.7%で割合が最も高く、「健康診断の結果についての十分な説明」が33.1%で続いた。一方、受けている人は、「寝たきりの予防方法について」が27.2%で最も多く、「痴呆の予防について」が25.7%でこれに続いた。全般的に、要支援・介護認定を受けている人は受けていない人に比べて、割合が低い傾向が見られる。

図 2 - 5 健康管理のために役立つ保健情報
N=4,315

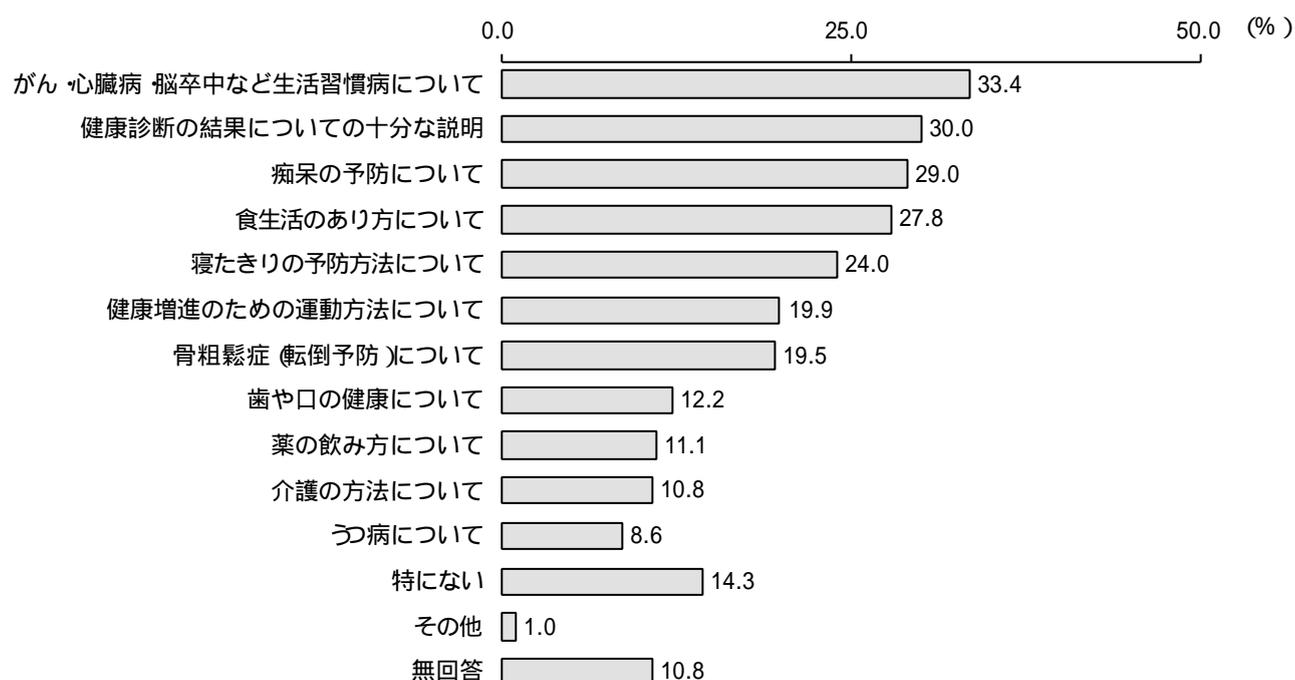


表2 - 2 健康管理のために役立つ保健情報

	総数	寝たきりの予防方法について	痴呆の予防について	介護の方法について	がん・心臓病・脳卒中など生活習慣病について	健康診断の結果についての十分な説明	うつ病について	健康増進のための運動方法について	骨粗鬆症（転倒予防）について	食生活のあり方について	歯や口の健康について	薬の飲み方について	特になし	その他	無回答	
<全体> (実数) (構成比)	4,315	1,037 24.0	1,252 29.0	465 10.8	1,443 33.4	1,295 30.0	373 8.6	859 19.9	843 19.5	1,201 27.8	527 12.2	479 11.1	618 14.3	42 1.0	466 10.8	
<性別>																
男性	1,590	20.1	24.7	10.1	39.7	33.7	6.7	25.6	9.7	26.6	12.0	9.2	13.9	1.3	10.5	
女性	2,193	28.0	32.4	11.6	29.3	27.8	10.1	16.2	26.0	29.0	12.2	11.9	15.0	0.9	10.3	
<年齢層別>																
65～69歳	1,129	23.3	29.8	12.1	43.8	34.6	12.2	26.2	17.7	34.9	14.5	9.2	11.1	0.4	6.9	
70～74歳	1,112	23.2	28.3	12.4	38.8	36.1	9.6	21.8	21.2	29.4	12.8	11.3	11.4	1.2	9.7	
75～79歳	912	24.9	32.1	10.3	31.4	30.2	7.9	18.6	20.6	27.3	11.4	13.4	12.7	1.0	12.7	
80～84歳	577	25.0	28.2	8.8	24.1	22.2	4.5	13.5	22.0	20.3	10.4	11.8	19.1	1.2	13.0	
85歳以上	401	28.2	23.2	7.2	9.7	12.5	4.0	9.5	12.7	16.7	8.2	8.7	28.7	1.7	14.5	
前期高齢者	2,241	23.2	29.1	12.3	41.3	35.3	10.9	24.0	19.5	32.2	13.7	10.3	11.2	0.8	8.3	
後期高齢者	1,890	25.6	29.0	9.2	24.6	24.0	6.0	15.1	19.4	22.9	10.4	11.9	18.0	1.2	13.2	
<健康状態別>																
大変健康	219	16.9	23.3	5.5	26.9	35.2	4.1	26.0	16.0	30.6	11.9	3.2	23.7	0.9	7.8	
たいした病気や障害などもなく、普通に生活している	1,947	22.2	29.0	10.7	35.6	33.6	8.0	23.9	17.2	31.5	12.8	9.1	14.9	0.7	7.1	
病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人できる	1,325	27.4	34.6	12.1	40.8	34.1	11.3	20.0	24.2	30.2	14.4	15.6	11.0	0.9	6.9	
病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人できない	355	31.8	29.3	11.3	25.1	16.1	8.5	10.1	28.5	21.7	8.7	15.2	19.4	1.4	7.3	
病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である	128	28.9	23.4	14.8	15.6	7.8	5.5	6.3	11.7	12.5	7.8	6.3	21.9	4.7	12.5	
病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである	78	37.2	19.2	14.1	7.7	3.8	5.1	7.7	7.7	7.7	6.4	5.1	23.1	2.6	23.1	
<本人の「要支援 介護認定」の状況別>																
受けている	552	27.2	25.7	13.8	18.8	16.7	7.8	10.7	18.3	17.4	10.1	9.6	20.7	2.5	14.3	
受けていない	3,390	24.6	30.6	10.8	36.7	33.1	9.2	22.2	19.8	29.9	12.6	11.1	13.7	0.7	8.2	

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人できる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人できない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(5)「心の健康」のために気をつけていること 【MA】

「心の健康」のために気をつけていることを聞いたところ、「趣味などで気分転換をするようにしている」が42.9%で最も多く、「休養を心がけるようにしている」が38.4%、「話し相手をみつけて気分転換をするようにしている」が36.0%などと続いた。

性別に見ると、男性は「趣味などで気分転換～」が47.6%で最も割合が高かった。女性は、「話し相手をみつけて気分転換～」が44.2%で最も割合が高く、「趣味などで気分転換～」が39.5%で続いた。

年齢層別に見ると、60歳代、70歳代では「趣味などで気分転換～」の割合が最も高く、特に60歳代では半数以上からの回答が見られた。80～84歳では「休養を心がけるようにしている」への回答が最も多かった。85歳以上になると、「特に何もしていない」の割合が高まり37.9%であったほか、80～84歳でも27.6%見られた。

配偶者の有無別では、配偶者がいる人では、「趣味などで気分転換～」が47.9%で最も多い。配偶者がいない人では、「話し相手をみつけて気分転換～」が37.6%で最も多かった。

世帯類型別では、いずれの世帯でも「趣味などで気分転換～」の割合が最も高かったが、特に夫婦のみ世帯では48.2%と半数近くが回答している。単身世帯では、「話し相手をみつけて気分転換～」の割合が41.3%となり、ほかの世帯に比べて高くなっている。

2世代同居世帯、3世代同居世帯の内訳を見ると、いずれも親と同居している世帯（本人と親の世帯、本人と親と子の世帯）の方で「休養を心がけるようにしている」の割合が高く、半数近い回答が見られた。また、2世代同居世帯の本人と親の世帯では、「趣味などで気分転換～」の割合が、本人と子の世帯より高い。3世代同居世帯では、本人と子と孫の世帯で「話し相手を見つけて気分転換～」の割合が本人と親と子の世帯より高く、差が大きい。

健康状態別では、健康状態が良好な人の方では、「趣味などで気分転換～」の割合が高く、4割を越えている。一方、病気や障害などがあり外出や生活で介助を必要とする人では、「特に何もしていない」が多くなり、「～日中もベッドの上での生活が主体である」、「～寝たきりである」人では5割前後を占めている。

本人の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、要支援・介護認定を受けていない人は「趣味などで気分転換～」が46.5%で最も多かった。一方、要支援・介護認定を受けている人は「特に何もしていない」が33.3%で最も割合が高かった。

暮らし向き別では、家計にゆとりがある人ほど「趣味などで気分転換～」の割合が高く、「話し相手をみつけて気分転換～」も同様の傾向が見られる。

ふだんの過ごし方別（P34～35参照）により比較すると、「仲間と集まったりおしゃべりをする」という人は、「話し相手をみつけて気分転換～」が59.2%で最も多く、「何もしないでゴロゴロしている」という人は「特に何もしていない」が4割超で多かった。それ以外の過ごし方をしている人はいずれも「趣味などで気分転換～」の割合が最も高かったが、なかでも「趣味・娯楽」や「学習・研究」をして過ごすという人の割合は高くなっており、7割を越えている。

喜びや生活の張りを感じることに別（P36～37参照）で比較すると、「趣味・娯楽」や「学習・研究」に喜びや生活の張りを感じるとしている人は、「趣味などで気分転換～」への回答が多くなっており、8割前後に達している。

今後行いたい活動別（P 38～40参照）を見ると、「特に何もしたいと思わない」人以外は、「趣味などで気分転換～」の割合が最も高く、「障害者などに関するボランティア」や「学習・研究」、「趣味・娯楽」とした人は特に割合が高い。「特に何もしたいとは思わない」人は「特に何もしていない」の割合が最も高いほか、「『心の健康』には関心がない」へもほかに比べ割合が高い。

図 2 - 6 「心の健康」のために気をつけていること

N=4,315

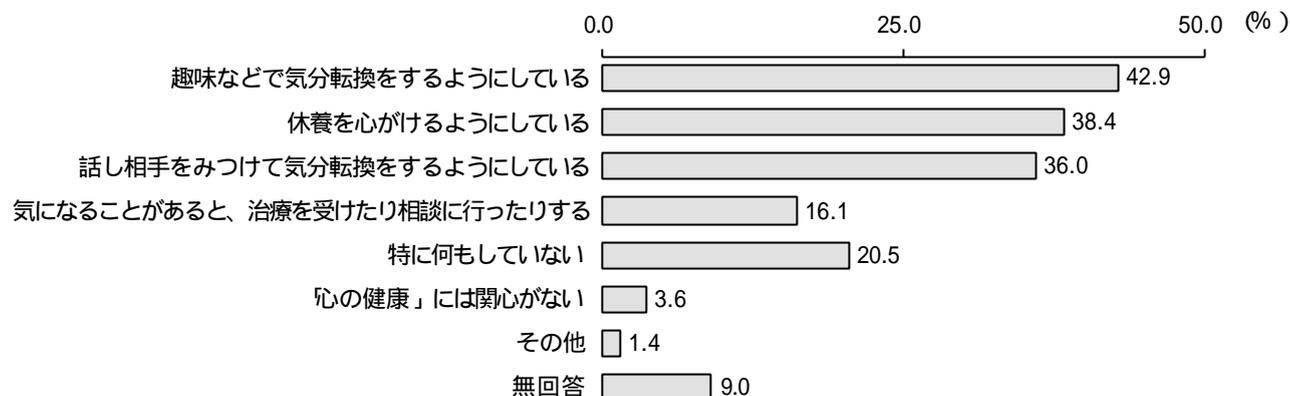


表 2 - 3 「心の健康」のために気をつけていること

	総数	趣味などで気分転換をするようにしている	話し相手を見つけて気分転換をするようにしている	休養を心がけるようにしている	気になることがあると、治療を受けたり相談に行ったりする	特に何もしていない	「心の健康」には関心がない	その他	無回答
<全体> (実数)	4,315	1,852	1,554	1,656	694	885	156	60	389
<全体> (構成比)		42.9	36.0	38.4	16.1	20.5	3.6	1.4	9.0
<性別>									
男性	1,590	47.6	23.8	39.7	13.6	21.1	4.2	1.4	9.6
女性	2,193	39.5	44.2	37.4	17.9	20.8	3.3	1.6	7.8
<年齢層別>									
65～69歳	1,129	52.0	36.8	41.5	14.3	18.6	2.8	1.3	5.0
70～74歳	1,112	46.3	38.7	41.5	18.2	15.8	4.0	1.7	8.9
75～79歳	912	44.2	39.4	40.6	19.3	16.8	3.0	1.0	9.6
80～84歳	577	31.5	31.4	35.7	15.8	27.6	3.6	1.9	11.3
85歳以上	401	23.7	23.9	22.9	9.7	37.9	6.0	1.0	13.7
前期高齢者	2,241	49.2	37.8	41.5	16.2	17.2	3.4	1.5	7.0
後期高齢者	1,890	36.0	33.7	35.3	16.2	24.6	3.8	1.3	11.0
<配偶者の有無別>									
配偶者あり	2,571	47.9	34.5	41.9	16.8	17.9	3.5	1.3	7.7
配偶者なし	1,591	34.8	37.6	33.1	15.0	25.3	4.0	1.6	10.6
<世帯類型別>									
単身世帯	298	41.9	41.3	32.2	14.1	21.8	3.4	1.3	10.1
夫婦のみ世帯	1,059	48.2	33.1	43.0	15.8	18.5	2.3	0.8	8.7
2世代同居世帯	1,095	39.5	34.1	36.6	15.3	22.6	4.3	1.3	9.3
うち本人と親の世帯	88	45.5	35.2	47.7	17.0	21.6	3.4	2.3	4.5
うち本人と子の世帯	1,007	39.0	34.0	35.7	15.2	22.6	4.4	1.2	9.7
3世代同居世帯	1,310	43.4	38.3	38.7	17.3	20.2	4.4	2.1	7.6
うち本人と親と子の世帯	51	45.1	27.5	47.1	13.7	21.6	2.0	3.9	3.9
うち本人と子と孫の世帯	1,259	43.3	38.8	38.4	17.4	20.2	4.4	2.1	7.8
その他世帯	392	36.7	34.9	35.5	16.8	22.2	4.1	1.0	11.2
<福祉圏域別>									
村上圏域	158	39.9	31.6	37.3	12.7	25.3	5.1	0.6	9.5
新発田圏域	523	47.0	40.2	40.2	18.9	18.7	3.6	1.7	6.7
新津圏域	409	41.8	38.1	42.5	17.6	22.7	2.7	1.7	7.1
新潟圏域	721	49.0	30.4	36.6	15.8	22.7	2.4	1.9	7.5
巻・三条圏域	433	41.3	36.3	37.0	16.4	18.7	6.0	0.7	10.6
長岡圏域	451	45.2	35.3	31.0	14.9	20.8	3.8	1.8	9.5
小出圏域	173	33.5	37.6	35.8	13.3	24.9	4.0	1.2	9.2
六日町圏域	128	38.3	40.6	39.1	14.8	18.0	4.7	2.3	12.5
十日町圏域	230	37.8	35.7	45.2	19.1	18.3	3.9	0.9	10.0
柏崎圏域	214	44.4	36.4	38.8	15.0	17.3	3.3	-	9.3
上越圏域	425	40.5	38.8	41.4	16.9	19.1	2.1	1.2	8.5
糸魚川圏域	95	42.1	35.8	46.3	8.4	21.1	3.2	3.2	8.4
佐渡圏域	135	37.8	31.9	44.4	14.8	19.3	5.2	1.5	9.6

	総数	趣味などで気分転換を するように している	話し相手を みつけて気 分転換をす るようにして いる	休養を心が けるようにし ている	気になるこ とがあると 治療を受け たり相談に 行ったりす る	特に何もし ていない	「心の健 康」には関 心がない	その他	無回答
<健康状態別>	219	45.2	37.4	34.2	13.2	25.1	5.9	1.4	5.5
	1,947	49.5	37.6	41.3	13.0	19.4	3.0	1.4	7.0
	1,325	45.2	39.2	42.3	21.6	15.6	2.6	1.4	7.9
	355	24.5	29.3	27.9	16.6	29.6	4.5	0.8	11.5
	128	10.2	20.3	14.1	9.4	50.0	6.3	2.3	11.7
	78	7.7	9.0	6.4	7.7	47.4	7.7	6.4	21.8
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>									
受けている	552	27.0	26.6	26.1	15.2	33.3	5.1	2.0	13.8
受けていない	3,390	46.5	37.6	41.1	16.0	18.7	3.4	1.3	7.1
<暮らし向き別>									
家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	424	45.8	36.8	35.8	14.4	22.6	4.0	1.2	9.0
家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	2,246	45.2	37.3	39.4	16.8	19.0	3.9	1.2	8.7
家計にゆとりがなく、多少心配である	1,112	40.9	33.7	38.4	15.2	21.5	3.1	1.2	7.9
家計が苦しく、非常に心配である	325	36.0	32.0	39.7	16.0	24.0	2.5	3.7	11.4
わからない	48	14.6	33.3	18.8	14.6	35.4	10.4	4.2	18.8
その他	11	54.5	27.3	54.5	36.4	18.2	-	-	-
<ふだんの過ごし方別>									
テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き	3,219	45.7	37.7	41.4	17.1	19.7	3.2	1.1	8.0
家族とのだんらん、孫と遊ぶ	931	49.5	44.8	45.4	21.2	16.1	4.2	1.2	6.0
仲間と集まったり、おしゃべりする	1,555	49.0	59.2	43.9	21.1	11.6	3.2	1.1	7.6
趣味・娯楽	1,255	76.7	39.9	45.7	16.8	11.0	3.3	1.3	6.5
学習・研究	194	75.3	45.9	53.1	25.8	12.4	4.1	2.1	4.1
健康維持のための活動・スポーツ	577	67.6	40.9	44.9	23.9	12.5	3.6	0.9	5.4
旅行・ドライブ・買い物など外出	1,358	56.8	44.5	46.8	19.5	12.9	3.5	1.6	6.9
地域行事や町内会 自治会の活動	390	64.4	43.8	47.4	22.1	12.8	4.9	1.3	5.4
老人クラブの活動	706	54.0	47.3	48.3	21.7	10.8	3.8	0.7	7.9
ボランティア活動	258	66.7	52.3	51.9	19.8	12.0	1.6	1.6	3.9
家族の介護	247	43.3	38.9	42.9	20.2	18.6	3.2	2.4	9.7
何もしないでゴロゴロしている	466	17.6	18.9	26.4	10.7	43.8	6.7	1.9	11.6
その他	339	34.5	28.9	31.3	16.5	29.5	4.7	5.9	10.6
<喜びや生活の張りを感じることで別>									
子どもや孫の成長	1,980	48.1	42.4	44.3	19.1	16.6	3.1	1.3	7.3
趣味・娯楽	1,304	80.2	42.6	45.9	17.6	9.4	3.1	1.1	5.3
学習・研究	196	79.1	45.9	53.1	25.5	11.2	2.6	1.5	2.0
健康維持のための活動・スポーツ	547	68.2	41.7	47.2	23.2	11.0	3.1	0.7	5.5
仕事	1,275	50.4	43.9	51.6	18.7	14.8	3.4	0.8	6.9
ボランティア活動	203	69.5	50.7	57.1	20.7	11.3	1.5	1.5	3.4
旅行・買い物	1,366	56.6	45.7	46.3	20.6	12.8	3.2	1.0	6.7
信仰・宗教活動	188	51.6	47.9	45.2	20.2	14.9	3.2	3.7	4.3
地域行事や町内会 自治会の活動	296	59.1	44.9	53.4	21.6	12.5	4.4	0.7	6.1
老人クラブの活動	524	55.2	52.5	51.1	24.6	9.0	3.4	0.8	8.6
仲間と集まったり、おしゃべりしたりすること	1,648	49.3	57.6	44.1	20.8	12.8	2.9	1.2	6.8
食事	940	48.3	43.1	49.9	22.2	18.3	4.6	1.6	6.8
特にならない	306	8.5	12.1	18.6	8.8	47.7	6.9	1.3	16.0
その他	149	34.9	31.5	34.2	16.1	25.5	2.7	10.1	10.1
<今後行いたい活動別>									
収入を得るための仕事	616	54.2	34.7	47.7	15.3	19.0	3.2	0.6	5.2
家の仕事	2,247	48.6	43.4	46.0	18.0	14.8	2.8	1.1	7.5
趣味・娯楽	1,457	75.8	41.0	46.5	17.4	10.6	2.8	1.0	5.0
学習・研究	249	77.9	44.6	53.8	25.3	11.6	3.6	2.8	2.0
健康維持のための活動・スポーツ	883	66.0	43.1	49.3	21.9	11.1	3.1	1.0	4.5
高齢者に関するボランティア	223	62.3	49.3	47.5	22.0	10.8	2.7	3.1	5.4
子どもに関するボランティア	176	61.4	53.4	60.8	25.6	9.1	0.6	1.1	4.0
障害者などに関するボランティア	70	78.6	52.9	55.7	20.0	10.0	-	2.9	4.3
環境美化に関するボランティア	383	61.6	51.2	54.3	24.3	13.1	2.3	1.0	4.2
地域の歴史、史跡などの伝承活動	170	73.5	44.1	51.2	17.6	8.2	5.3	1.2	4.7
地域行事や町内会 自治会の活動	315	61.9	47.3	48.3	22.9	11.4	2.9	1.0	6.0
老人クラブの活動	656	55.3	51.2	49.5	22.9	10.7	3.0	0.9	7.8
若い人に、自分の知識・経験・技術を伝えるような活動	272	63.6	51.5	54.8	25.7	8.1	2.9	1.5	6.3
特に何もしたいとは思わない	482	7.9	17.2	22.0	10.0	47.3	8.7	1.7	9.5
その他	124	29.8	26.6	25.8	14.5	29.8	5.6	8.9	14.5

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人できる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人できない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(6)「心の健康」についての相談相手 【MA】

「心の健康」が心配な時、誰に相談するかを聞いたところ、「家族・親戚」が57.9%で最も多く、「かかりつけの開業医又は病院(精神科や心療内科を除く)」が28.7%で続いた。「特に心配はしていない」は11.4%であった。

性別に見ると、男性、女性とも「家族・親戚」の割合が最も高いが、女性では61.2%と男性を7ポイント程度上回っている。また、「友人・知人」との回答も女性では2割以上見られた。一方、男性では「特に心配はしていない」が15.4%で、女性を上回っている。

年齢層別に見ると、「家族・親戚」、「友人・知人」は年齢が高まるにつれて割合が低下する傾向にある。また、60歳代、70歳代では「かかりつけの開業医又は病院」への回答が3割程度見られる。

配偶者の有無別では、「家族・親戚」、「かかりつけの開業医又は病院」などにおいて、配偶者がいる人の方がいない人に比べて割合が高くなっている。

世帯類型別に見ると、3世代同居世帯や夫婦のみ世帯で、「家族・親戚」へ回答する割合が特に高い。また、夫婦のみ世帯では「かかりつけの開業医又は病院」の割合が、単身世帯では「友人・知人」の割合がほかの世帯類型に比べて高い。

健康状態別に見ると、健康状態が良くない人ほど、「ケアマネージャー」の割合が高まっており、「～寝たきりである」という人は4人に1人が回答している。「かかりつけの開業医又は病院」については、「～外出も一人でできる」という人からの回答が35.8%となり、ほかの健康状態の人に比べて高い割合になっている。

本人の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、「家族・親戚」、「かかりつけの開業医又は病院」、「友人・知人」などについては、要支援・介護認定を受けていない人が回答する割合が、受けている人を上回っている。一方、要支援・介護認定を受けている人は、「ケアマネージャー」への回答が16.8%となり、受けていない人を大きく上回った。

図 2 - 7 「心の健康」についての相談相手
N=4,315

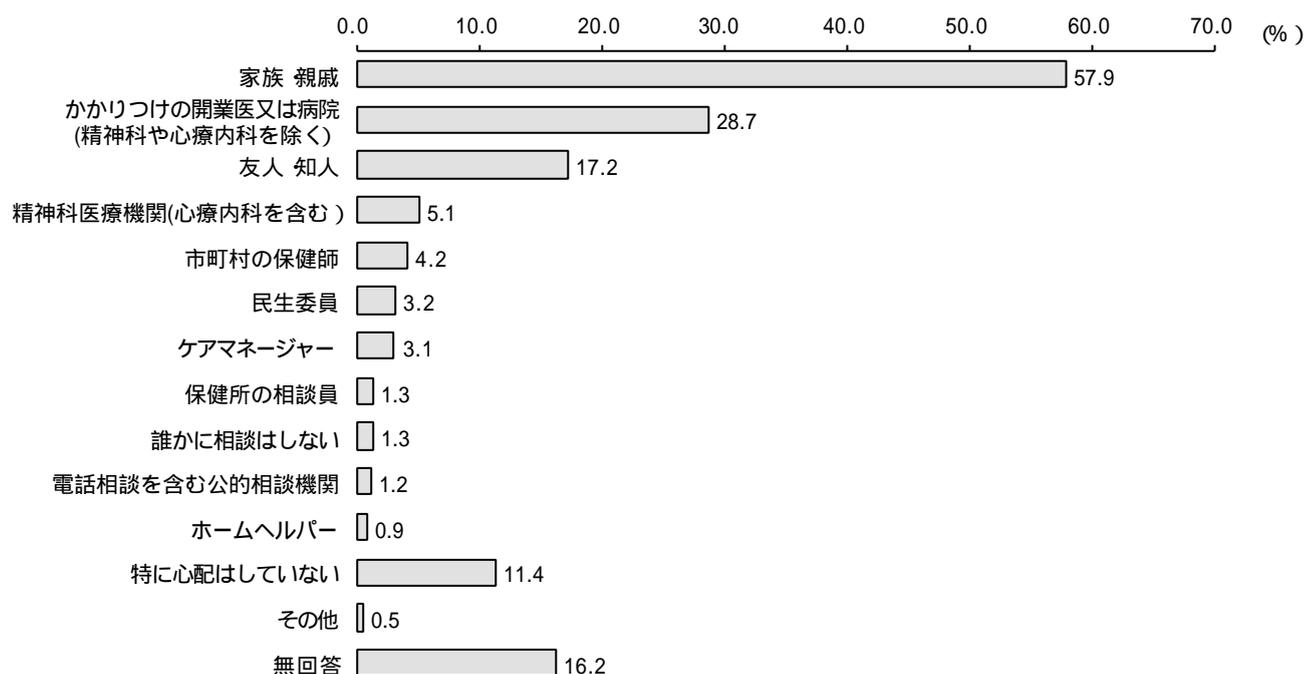


表2 - 4 「心の健康」についての相談相手

	総数	家族・親戚	友人知人	民生委員	かかりつけの開業医又は病院(精神科や心療内科を除く)	ケアマネジャー	ホームヘルパー	市町村の保健師	保健所の相談員	精神科医療機関(心療内科を含む)	電話相談を含む公的相談機関	誰かに相談しない	特に心配はしていない	その他	無回答	
<全体> (実数) (構成比)	4,315	2,499 57.9	743 17.2	139 3.2	1,240 28.7	133 3.1	40 0.9	183 4.2	58 1.3	218 5.1	51 1.2	58 1.3	491 11.4	23 0.5	698 16.2	
<性別>																
男性	1,590	54.3	11.7	3.2	27.5	2.1	0.8	4.4	1.1	5.8	1.6	1.4	15.4	0.6	17.2	
女性	2,193	61.2	21.6	3.1	29.8	3.7	1.0	4.2	1.6	4.8	0.9	1.2	8.7	0.5	15.0	
<年齢層別>																
65～69歳	1,129	60.2	23.6	2.5	29.5	1.5	0.6	4.6	1.4	6.6	2.0	1.6	11.9	0.4	12.4	
70～74歳	1,112	58.2	18.4	3.9	31.0	3.0	0.6	4.7	1.4	5.4	1.3	1.0	10.5	0.4	16.5	
75～79歳	912	58.6	14.9	4.1	30.7	2.2	0.5	5.2	1.6	5.7	0.7	1.5	10.9	0.4	16.8	
80～84歳	577	55.6	10.7	3.1	25.1	3.3	1.2	2.8	1.0	3.1	0.5	1.2	11.8	1.4	19.1	
85歳以上	401	54.4	8.2	2.2	23.2	9.0	3.2	2.0	1.2	1.2	0.7	1.0	13.2	0.2	19.2	
前期高齢者	2,241	59.2	21.1	3.2	30.3	2.2	0.6	4.6	1.4	6.0	1.7	1.3	11.2	0.4	14.5	
後期高齢者	1,890	56.8	12.2	3.4	27.4	4.0	1.3	3.8	1.4	4.0	0.6	1.3	11.6	0.7	18.0	
<配偶者の有無別>																
配偶者あり	2,571	59.5	17.6	3.2	31.2	2.6	0.6	5.2	1.3	5.8	1.5	1.4	11.5	0.4	15.2	
配偶者なし	1,591	55.8	16.4	3.2	25.5	3.9	1.6	2.6	1.5	3.6	0.8	1.1	11.0	0.8	17.6	
<世帯類型別>																
単身世帯	298	51.3	22.8	6.4	23.5	5.0	3.0	2.0	2.0	2.3	2.3	1.3	11.4	0.7	17.8	
夫婦のみ世帯	1,059	60.4	17.6	3.6	32.5	2.8	0.8	6.2	1.9	5.4	1.8	1.7	10.9	0.5	14.4	
2世代同居世帯	1,095	56.5	16.1	2.9	27.5	4.0	1.3	4.0	1.4	6.0	1.0	1.2	11.3	0.1	16.9	
3世代同居世帯	1,310	60.5	17.1	2.5	28.9	2.1	0.4	3.7	0.8	4.4	0.7	1.3	11.1	0.5	16.1	
その他世帯	392	53.3	15.1	2.8	27.6	2.6	0.8	2.8	1.3	4.6	1.0	0.5	13.3	2.0	17.3	
<福祉圏域別>																
村上圏域	158	60.8	19.0	3.2	25.3	1.3	0.6	5.1	-	2.5	1.3	2.5	8.9	0.6	15.8	
新発田圏域	523	62.0	18.0	2.9	30.6	2.7	1.3	5.5	1.3	3.6	1.1	1.3	10.7	0.6	14.7	
新津圏域	409	60.6	18.8	2.2	27.9	2.2	0.2	3.7	1.7	3.9	1.2	1.0	11.7	1.0	14.7	
新潟圏域	721	55.3	19.6	1.5	28.2	3.5	0.6	0.8	1.7	4.2	1.8	1.7	13.0	1.1	15.8	
巻・三条圏域	433	55.4	18.2	4.2	29.8	2.5	1.2	4.2	1.4	4.4	1.6	0.9	11.8	0.2	17.3	
長岡圏域	451	55.7	14.6	3.1	30.8	2.4	0.4	2.4	0.4	8.2	1.3	1.8	10.9	0.4	17.7	
小出圏域	173	51.4	15.0	2.3	23.7	2.3	0.6	5.8	0.6	5.2	-	1.2	12.7	-	16.8	
六日町圏域	128	60.9	19.5	5.5	22.7	0.8	0.8	6.3	-	8.6	0.8	-	7.8	-	20.3	
十日町圏域	230	57.0	13.0	3.9	27.0	1.7	0.4	8.7	2.2	6.5	1.3	-	10.4	0.4	20.0	
柏崎圏域	214	58.9	14.0	1.9	28.0	5.6	2.3	3.7	1.9	6.5	0.5	0.9	13.6	-	15.0	
上越圏域	425	59.8	16.2	6.4	32.7	5.4	1.6	6.6	2.6	4.2	0.7	1.4	10.6	0.7	13.6	
糸魚川圏域	95	65.3	18.9	3.2	27.4	4.2	-	3.2	1.1	5.3	-	2.1	10.5	-	16.8	
佐渡圏域	135	62.2	14.8	4.4	27.4	3.7	2.2	7.4	0.7	6.7	0.7	1.5	8.9	-	17.0	
<健康状態別>																
大変健康	219	56.2	17.8	1.4	13.7	0.9	0.9	5.9	1.8	3.7	0.9	0.5	15.1	0.9	19.2	
病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる	1,947	58.1	19.5	2.8	27.3	1.1	0.5	4.4	1.3	4.7	1.2	1.0	13.8	0.4	15.9	
病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない	1,325	59.1	18.0	3.9	35.8	1.7	0.4	3.7	1.0	6.1	1.7	1.8	8.9	0.5	14.5	
病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である	355	61.1	9.6	3.1	26.8	9.0	3.7	4.2	2.0	4.2	0.6	1.7	8.5	-	14.6	
病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである	128	56.3	7.0	1.6	21.9	18.0	4.7	2.3	2.3	4.7	-	1.6	12.5	3.1	14.8	
	78	48.7	3.8	2.6	15.4	24.4	3.8	3.8	1.3	2.6	-	3.8	11.5	2.6	16.7	
<本人の要支援 介護認定 の状況別>																
受けている	552	55.8	10.5	4.9	23.7	16.8	4.9	2.9	1.6	5.1	0.5	2.4	9.8	0.7	16.1	
受けていない	3,390	59.0	18.6	2.9	30.2	0.9	0.3	4.6	1.2	5.1	1.3	1.2	11.8	0.5	15.3	

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(7)うつ病についての知識 【MA】

うつ病についてどのようなことを聞いたことがあるかについては、「誰でもなる可能性がある病気である」が44.0%で最も多く、「うつ病と『なまけ』とは違うものである」が30.9%、「うつ病は自殺と関係がある」が29.5%などと続いた。「うつ病について特に聞いたことがない」は17.4%であった。

性別に見ると、全般的に女性が回答する割合の方が、男性を上回る傾向にある。

年齢層別に見ると、ほとんどの項目で、年齢が高まるにつれて回答する割合は低下している。逆に「うつ病について特に聞いたことがない」への回答は年齢とともに高まっている。

配偶者の有無別に見ると、「誰でもなる可能性がある病気である」がいずれも多いが、配偶者がいる人では49.0%となり、いない人を10ポイント以上上回っている。また、全般的に配偶者がいる人が回答する割合は、いない人に比べて高い。一方、「うつ病について特に聞いたことがない」は、配偶者がいない人では21.6%となり、いる人に比べて高かった。

世帯類型別に見ると、「誰でもなる可能性がある病気である」への回答は、特に夫婦のみ世帯で割合が高く、48.9%であった。また、それ以外への回答も全般的に夫婦のみ世帯からの割合が高い傾向にあった。

福祉圏域別に見ると、「うつ病について特に聞いたことがない」と回答した割合は佐渡圏域で最も高く、27.4%であった。

健康状態別では、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」、「～外出も一人でできる」という人については、「誰でもなる可能性がある病気である」の割合が特に高く、それぞれ45.8%、47.0%であった。これらの健康状態の人は割合が高い項目が多く見られる。一方、「うつ病について特に聞いたことがない」は、健康状態が良くない人の方で割合が高かった。

本人の「要支援・介護認定」の状況別では、全般的に要支援・介護認定を受けていない人の方で割合が高い傾向にあり、「誰でもなる可能性がある病気である」は47.1%と、受けている人に比べて10ポイント以上高かった。

図 2 - 8 うつ病についての知識
N=4,315

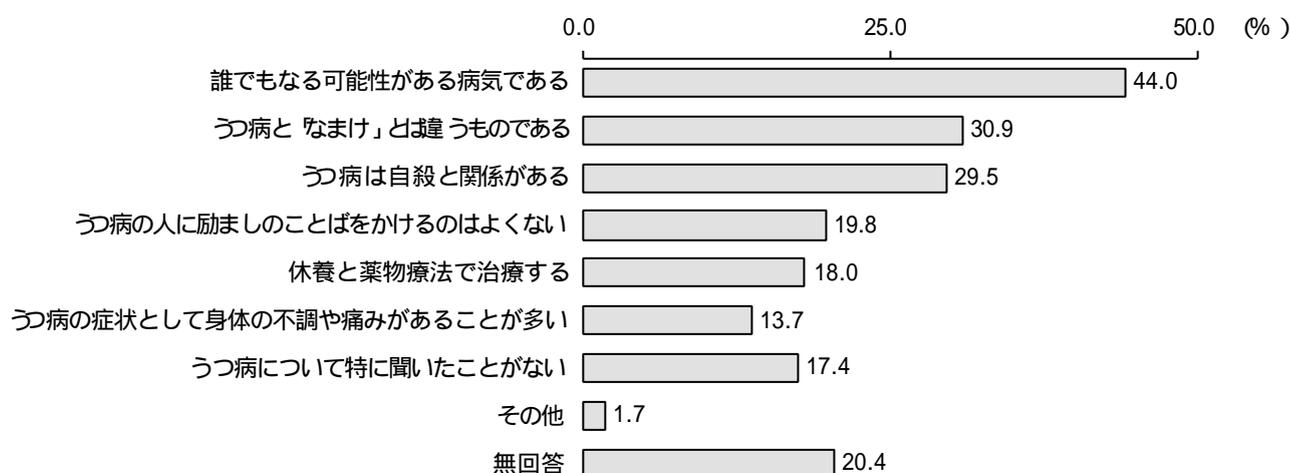


表2 - 5 うつ病についての知識

	総数	誰でもなる可能性のある病気である	うつ病と「なまけ」とは違うものである	うつ病の症状として身体の不調や痛みがあることが多い	うつ病の人に励ましのことはかけるとはよくない	休養と薬物療法で治療する	うつ病は自殺と関係がある	うつ病について特に聞いたことがない	その他	無回答
<全体> (実数) (構成比)	4,315	1,900 44.0	1,333 30.9	589 13.7	855 19.8	778 18.0	1,274 29.5	751 17.4	73 1.7	879 20.4
<性別>										
男性	1,590	45.6	29.8	12.6	16.6	16.6	28.8	17.9	1.1	19.6
女性	2,193	44.2	32.8	14.4	22.9	19.8	30.4	17.6	2.1	18.8
<年齢層別>										
65～69歳	1,129	54.1	41.9	18.0	28.2	23.0	39.8	11.7	1.2	11.6
70～74歳	1,112	45.6	31.4	15.5	20.3	18.1	29.5	17.0	1.7	19.9
75～79歳	912	40.0	28.6	12.1	18.3	18.4	28.0	16.3	1.3	24.5
80～84歳	577	37.1	22.5	8.7	12.7	14.0	20.6	23.2	2.3	26.5
85歳以上	401	31.4	18.0	8.2	10.5	9.0	17.5	28.9	3.0	25.9
前期高齢者	2,241	49.9	36.7	16.7	24.3	20.6	34.7	14.3	1.5	15.7
後期高齢者	1,890	37.3	24.5	10.2	14.9	15.1	23.5	21.1	2.0	25.4
<配偶者の有無別>										
配偶者あり	2,571	49.0	34.5	15.6	22.1	20.8	33.1	15.0	1.3	18.1
配偶者なし	1,591	36.5	25.5	10.3	16.3	13.6	23.7	21.6	2.3	23.3
<世帯類型別>										
単身世帯	298	37.9	29.2	14.1	24.8	14.8	26.2	18.1	3.0	20.1
夫婦のみ世帯	1,059	48.9	34.8	16.1	24.6	21.3	33.4	14.3	0.9	19.1
2世代同居世帯	1,095	43.3	28.6	13.2	17.7	16.9	28.4	19.5	0.8	20.5
3世代同居世帯	1,310	44.9	31.5	12.7	18.2	17.6	28.9	18.0	2.2	19.2
その他世帯	392	37.5	27.3	10.5	14.8	16.6	25.8	19.1	3.1	25.0
<福祉圏域別>										
村上圏域	158	39.2	28.5	5.7	23.4	15.2	30.4	19.6	0.6	20.9
新発田圏域	523	41.9	29.1	14.7	16.8	16.6	31.9	17.2	1.0	20.7
新津圏域	409	42.1	24.7	11.5	17.1	15.2	29.1	21.0	2.2	18.1
新潟圏域	721	47.9	37.7	17.1	28.4	22.9	31.3	14.1	2.2	18.4
巻・三条圏域	433	42.3	31.6	11.8	17.3	14.8	27.9	17.8	0.9	20.8
長岡圏域	451	46.8	34.1	16.6	22.2	18.2	31.7	16.2	1.8	20.0
小出圏域	173	41.6	28.9	12.7	16.8	22.5	24.3	19.7	1.2	21.4
六日町圏域	128	33.6	21.9	9.4	10.9	17.2	21.9	24.2	1.6	25.8
十日町圏域	230	48.7	31.3	13.5	19.1	21.3	33.9	13.9	2.2	22.6
柏崎圏域	214	50.9	33.6	14.0	21.0	18.7	28.5	15.0	3.7	15.9
上越圏域	425	45.9	31.5	13.2	18.1	16.9	27.8	18.1	1.9	20.5
糸魚川圏域	95	47.4	30.5	15.8	18.9	14.7	21.1	15.8	2.1	16.8
佐渡圏域	135	40.7	27.4	12.6	14.8	22.2	30.4	27.4	0.7	17.0
<健康状態別>										
219	41.6	30.6	11.0	21.9	14.6	27.4	18.7	1.4	21.5	
1,947	45.8	32.7	13.7	22.0	18.8	31.1	16.4	1.6	19.2	
1,325	47.0	32.6	14.8	20.2	20.3	31.6	17.1	1.3	18.0	
355	36.6	23.7	14.9	14.4	12.7	20.6	24.8	2.0	21.1	
128	37.5	23.4	15.6	18.0	14.8	24.2	21.9	4.7	19.5	
78	39.7	20.5	3.8	7.7	9.0	19.2	19.2	7.7	24.4	
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>										
受けている	552	36.6	21.0	10.9	11.6	12.7	24.5	20.5	4.2	24.6
受けていない	3,390	47.1	33.5	14.5	22.2	19.6	31.6	17.5	1.4	17.1

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人でできる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分でできているが、外出は一人でできない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

3 介護予防についての意向

(1)健康のために参加してみたい活動 【MA】

いつまでも健康でいきいきと暮らしていくために、今後（または今後とも）参加してみたい活動を聞いたところ、「転倒骨折予防教室(生活指導や運動指導)」が11.4%、「高齢者食生活改善教室」が11.2%、「生活習慣病予防のためのトレーニング教室(個人別メニューによる運動指導)」が10.6%であった。一方、「特にない」は49.7%と最も回答が多く、2人に1人が回答している。

性別に見ると、活動については、男性では「生活習慣病予防のためのトレーニング教室」が最も多く、女性では「転倒骨折予防教室」が最も多かった。

年齢層別に見ると、「特にない」は年齢が高まるにつれて割合が高まっており、85歳以上では63.8%に達した。それぞれの活動については、年齢とともに割合が低下している。65～69歳では「生活習慣病予防のためのトレーニング教室」が18.0%と活動への回答のなかでは最も割合が高く、70～74歳、80歳代以上では「転倒骨折予防教室」が、75～79歳では「高齢者食生活改善教室」が最も割合が高かった。

世帯類型別に見ると、「特にない」の割合は3世代同居世帯で特に高く、53.3%であった。活動について見ると、単身世帯では「高齢者食生活改善教室」の割合が、夫婦のみ世帯では「生活習慣病予防のためのトレーニング教室」が、2世代同居世帯、3世代同居世帯、その他世帯では「転倒骨折予防教室」が最も高かった。

福祉圏域別では、活動について見ると、村上圏域では「転倒骨折予防教室」の割合が高く、佐渡、糸魚川、六日町圏域では「高齢者食生活改善教室」が高い。また、新潟圏域では、「高齢者筋力向上トレーニング教室(トレーニングマシンを使った運動)」の割合が高かった。

健康状態別では、活動について見ると、「～外出は一人でできない」、「～日中もベッドの上での生活が主体である」、「～寝たきりである」人では、全般的に回答する割合が低くなっている。また、「～外出も一人でできる」人では、「転倒骨折予防教室」の割合が15.8%となり、ほかの健康状態に比べて高かった。

図3-1 健康のために参加してみたい活動

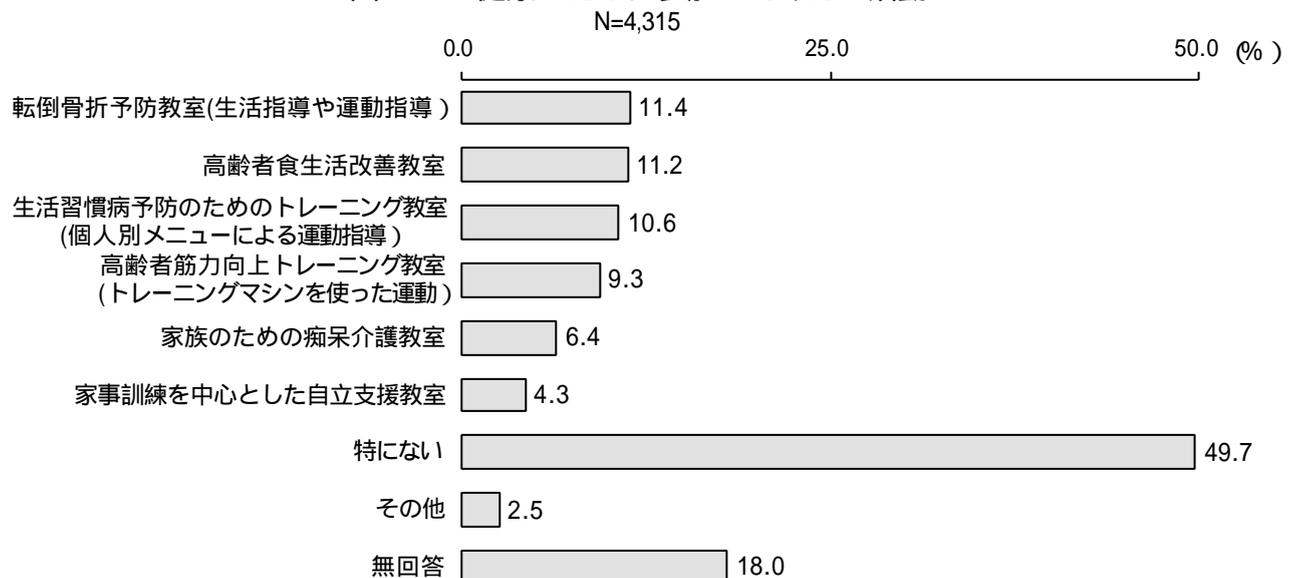


表 3 - 1 健康のために参加してみたい活動

	総数	転倒骨折 予防教室 (生活指導 や運動指 導)	家族のため の痴呆介 護教室	家事訓練を 中心とした 自立支援 教室	高齢者筋 力向上ト レーニン グ教室(ト レーニン グマシン を使った 運動)	高齢者食 生活改善 教室	生活習慣 病予防のた めのトレ ニング教室 (個人別メ ニューによ る運動指 導)	特にな い	その他	無回答
<全体> (実数) (構成比)	4,315	492 11.4	278 6.4	187 4.3	402 9.3	485 11.2	457 10.6	2,146 49.7	110 2.5	777 18.0
<性別>										
男性	1,590	8.4	5.7	5.7	11.5	9.6	11.9	51.2	2.7	16.2
女性	2,193	13.8	6.6	3.3	7.3	12.5	10.0	49.8	2.6	18.1
<年齢層別>										
65～69歳	1,129	13.6	8.6	5.9	13.8	14.8	18.0	46.4	2.0	10.9
70～74歳	1,112	12.4	6.4	4.2	11.3	12.0	11.2	46.0	3.4	18.8
75～79歳	912	11.2	6.7	4.5	6.7	11.6	7.1	50.4	1.8	21.4
80～84歳	577	9.5	5.5	3.3	4.7	7.5	5.4	55.8	2.8	20.5
85歳以上	401	5.0	2.5	1.5	3.0	4.0	3.7	63.8	3.2	20.0
前期高齢者	2,241	13.0	7.5	5.1	12.6	13.4	14.6	46.2	2.7	14.8
後期高齢者	1,890	9.4	5.4	3.5	5.3	8.7	5.9	54.9	2.4	20.8
<世帯類型別>										
単身世帯	298	10.7	1.0	3.4	9.1	13.8	9.1	47.0	2.0	23.5
夫婦のみ世帯	1,059	10.3	7.6	6.4	12.7	12.7	13.1	46.6	2.5	17.0
2世代同居世帯	1,095	12.8	6.7	4.5	8.7	11.8	9.0	50.9	2.6	15.4
3世代同居世帯	1,310	11.1	6.5	3.1	7.5	9.4	10.4	53.3	2.4	17.6
その他世帯	392	10.7	7.1	3.6	7.1	10.5	10.5	49.2	3.6	20.9
<福祉圏域別>										
村上圏域	158	17.1	6.3	5.1	8.2	13.3	12.7	51.3	1.9	14.6
新発田圏域	523	12.8	6.5	4.2	8.2	10.5	9.2	52.0	1.7	17.8
新津圏域	409	11.0	8.1	3.7	7.6	13.4	8.1	51.8	1.7	18.1
新潟圏域	721	7.4	4.6	4.3	13.0	10.4	12.5	52.1	3.5	15.3
巻・三条圏域	433	12.5	6.5	4.2	7.6	12.2	11.3	49.0	2.3	18.0
長岡圏域	451	13.3	6.0	4.0	9.8	8.6	11.8	49.9	3.3	15.3
小出圏域	173	13.3	5.8	3.5	6.9	13.3	13.3	44.5	2.3	23.1
六日町圏域	128	12.5	7.8	3.1	12.5	16.4	12.5	50.8	1.6	14.1
十日町圏域	230	10.4	7.4	3.9	9.1	11.3	11.3	50.0	3.0	16.5
柏崎圏域	214	13.1	6.5	4.2	8.9	10.7	11.7	51.9	1.9	17.3
上越圏域	425	11.1	8.0	6.6	8.5	8.2	9.4	49.2	2.4	18.8
糸魚川圏域	95	12.6	6.3	4.2	9.5	16.8	5.3	47.4	3.2	18.9
佐渡圏域	135	9.6	10.4	5.9	7.4	17.8	10.4	45.9	5.2	14.8
<健康状態別>										
	219	6.8	4.6	4.1	10.5	9.6	9.1	56.6	2.7	12.3
	1,947	11.0	7.2	4.6	10.7	13.0	12.3	52.0	2.6	13.3
	1,325	15.8	7.4	4.9	10.9	13.3	12.8	48.0	2.1	13.8
	355	9.0	3.9	4.5	3.7	5.9	4.2	60.8	2.5	18.6
	128	2.3	3.9	3.1	3.9	3.1	3.9	58.6	8.6	20.3
	78	1.3	3.8	1.3	2.6	3.8	1.3	55.1	6.4	25.6

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人で行えない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

4 高齢者の生きがい、社会参加活動

(1)ふだんの過ごし方 【MA】

仕事や家事以外のふだんの過ごし方を聞いてみると、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き」が圧倒的に多く、74.6%に達した。次いで「仲間と集まったり、おしゃべりをする」が36.0%、「旅行・ドライブ・買い物など外出」が31.5%などと続いた。

性別に見ると、男性、女性とも「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き」が最も多く、それぞれ77.2%、73.3%であった。次いで、男性は「旅行・ドライブ・買い物など外出」が34.9%、女性は「仲間と集まったり、おしゃべりをする」が49.6%と続いており、男女間で違いが見られる。

年齢層別に見ると、年齢が低いほど回答する割合が高い傾向にあるが、「老人クラブの活動」、「何もしないでゴロゴロしている」では、前期高齢者より後期高齢者の方で割合が高い。

配偶者の有無別に見ると、配偶者がいる人の方がいない人の割合を上回る項目が多く見られるが、「仲間と集まったり、おしゃべりをする」、「何もしないでゴロゴロしている」については、配偶者のいない人の方が割合が高い。

世帯類型別に見ても、いずれも「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き」の割合が最も高くなっている。次いで、夫婦のみ世帯では、「旅行・ドライブ・買い物など外出」が、それ以外の世帯では「仲間と集まったり、おしゃべりをする」の割合が高かった。単身世帯では、「旅行・ドライブ・買い物など外出」、「老人クラブの活動」、「地域行事や町内会・自治会の活動」が、ほかの世帯より割合が低くなっている。

また、2世代同居世帯、3世代同居世帯の内訳を見ると、子や孫と同居している世帯（本人と子の世帯、本人と子と孫の世帯）では、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き」に次いで、「仲間と集まったり、おしゃべりをする」の割合が高かった。3世代同居世帯では、本人と子と孫の世帯で、「家族とのだんらん、孫と遊ぶ」も多く見られた。一方、2世代同居世帯、3世代同居世帯とも、親と同居している世帯（本人と親の世帯、本人と親と子の世帯）では、「旅行・ドライブ・買い物など外出」の割合が高かったほか、「家族の介護」も高くなっている。

健康状態別に見ると、健康状態が良くない人では、「何もしないでゴロゴロしている」、あるいは「その他」の割合が高くなっており、それら以外の多くの項目では、健康状態が良好な人ほど割合が高まる傾向が見られる。

図4-1 ふだんの過ごし方

N=4,315

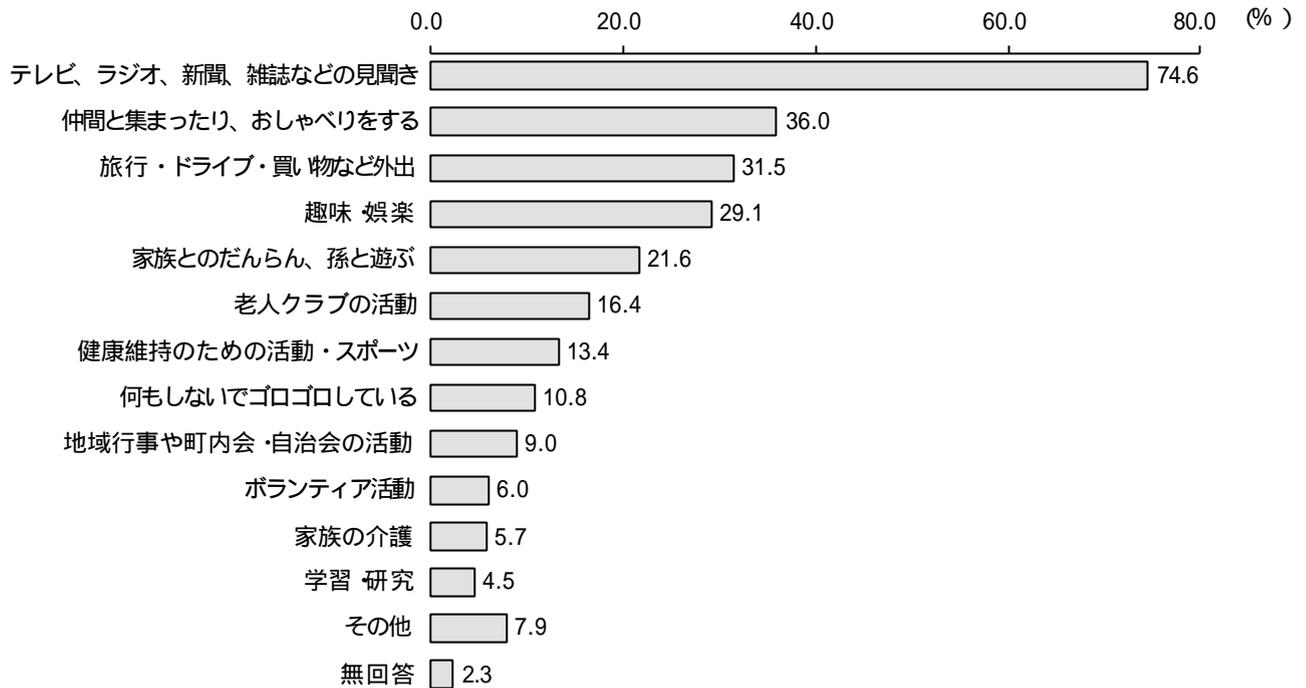


表4-1 ふだんの過ごし方

	総数	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き	家族とのだんらん、孫と遊ぶ	仲間と集まったり、おしゃべりをする	趣味 娯楽	学習 研究	健康維持のための活動・スポーツ	旅行・ドライブ・買い物など外出	地域行事や町内会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	家族の介護	何もしないでゴロゴロしている	その他	無回答
<全体> (実数)	4,315	3,219	931	1,555	1,255	194	577	1,358	390	706	258	247	466	339	101
<全体> (構成比)		74.6	21.6	36.0	29.1	4.5	13.4	31.5	9.0	16.4	6.0	5.7	10.8	7.9	2.3
<性別>															
男性	1,590	77.2	20.0	16.9	34.6	6.6	16.6	34.9	14.8	17.5	5.9	5.5	10.4	8.3	1.9
女性	2,193	73.3	23.1	49.6	26.1	3.0	11.4	29.7	4.9	15.4	6.0	6.2	11.4	8.3	2.3
<年齢層別>															
65～69歳	1,129	77.9	26.9	35.4	36.0	5.1	15.0	43.5	13.9	9.0	10.5	5.9	8.1	5.8	1.3
70～74歳	1,112	73.8	24.0	39.5	31.0	4.4	15.6	34.5	9.4	20.1	6.2	6.3	7.2	6.5	2.0
75～79歳	912	76.9	16.9	38.9	29.7	5.4	12.6	29.7	7.2	21.9	4.7	5.4	8.7	6.9	2.0
80～84歳	577	73.8	17.0	33.8	19.8	2.4	13.0	18.9	5.0	19.6	1.9	4.5	15.8	12.0	4.0
85歳以上	401	67.8	16.0	22.7	16.5	2.5	5.0	9.5	3.0	10.0	0.7	6.0	26.9	14.2	3.0
前期高齢者	2,241	75.9	25.5	37.4	33.6	4.8	15.3	39.0	11.7	14.5	8.3	6.1	7.7	6.1	1.7
後期高齢者	1,890	74.0	16.7	33.9	23.9	3.9	11.1	22.1	5.7	18.7	3.0	5.2	14.7	10.0	2.8
<配偶者の有無別>															
配偶者あり	2,571	77.7	22.2	32.6	33.2	5.3	16.1	36.2	11.6	17.0	7.1	6.3	8.4	7.0	2.1
配偶者なし	1,591	70.1	20.7	41.1	22.5	2.8	9.1	23.4	4.6	15.3	4.1	4.7	15.1	9.5	2.4
<世帯類型別>															
単身世帯	298	79.5	3.0	39.6	28.5	4.4	11.4	25.5	4.0	9.4	4.7	1.3	15.4	6.7	2.3
夫婦のみ世帯	1,059	76.5	12.4	28.8	33.3	6.3	17.6	35.6	12.1	14.0	6.4	5.6	7.7	5.9	2.4
2世代同居世帯	1,095	71.1	14.9	34.4	26.7	3.7	12.0	29.4	7.4	14.3	5.5	5.7	13.5	8.8	2.2
うち本人と親の世帯	88	65.9	14.8	29.5	27.3	8.0	12.5	34.1	10.2	19.3	6.8	27.3	11.4	3.4	3.4
うち本人と子の世帯	1,007	71.5	14.9	34.9	26.6	3.3	11.9	29.0	7.1	13.9	5.4	3.8	13.7	9.2	2.1
3世代同居世帯	1,310	76.3	35.3	41.9	29.1	3.5	12.8	32.0	9.2	21.6	6.3	4.2	9.7	8.9	1.9
うち本人と親と子の世帯	51	64.7	9.8	29.4	29.4	3.9	17.6	37.3	7.8	19.6	11.8	19.6	11.8	7.8	3.9
うち本人と子と孫の世帯	1,259	76.8	36.3	42.4	29.1	3.5	12.6	31.8	9.2	21.7	6.0	3.6	9.6	8.9	1.8
その他世帯	392	72.4	34.4	36.5	24.7	3.6	9.9	27.6	7.9	16.1	5.9	14.5	13.5	8.7	2.3
<健康状態別>															
大変健康	219	65.3	24.7	36.5	33.8	5.9	24.2	42.5	16.4	19.2	13.7	1.4	4.6	5.5	2.7
健康	1,947	76.7	25.0	40.9	35.0	5.1	16.5	38.9	11.2	19.1	8.0	5.2	6.1	5.6	1.8
要介護1	1,325	78.8	19.3	36.9	29.9	4.8	12.2	30.6	8.2	17.4	4.2	6.8	9.4	7.1	2.0
要介護2	355	78.3	17.7	21.7	10.7	2.0	3.4	7.3	1.4	5.9	0.3	5.1	30.7	10.4	1.4
要介護3	128	50.8	8.6	11.7	3.9	-	0.8	2.3	0.8	-	0.8	9.4	43.0	28.1	2.3
要介護4	78	25.6	6.4	3.8	2.6	-	1.3	2.6	-	-	-	1.3	20.5	46.2	9.0

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人できる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分でできているが、外出は一人できない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(2)喜びや生活の張りを感じること 【MA】

喜びや生活の張りを感じることを聞いたところ、「子どもや孫の成長」が45.9%で最も多く、次いで、「仲間と集ったりおしゃべりしたりすること」が38.2%、「旅行・買い物」が31.7%などと続いた。「特にない」は7.1%見られた。

前回調査と比較すると、「旅行・買い物」、「趣味・娯楽」、「健康維持のための活動・スポーツ」、「老人クラブの活動」などでは割合が上昇しており、上昇幅も大きい。逆に、「子どもや孫の成長」、「仲間と集ったりおしゃべりしたりすること」、「仕事」、「信仰・宗教活動」では、割合が低下している。

性別に見ると、男性は「子どもや孫の成長」が47.2%で最も多く、「趣味・娯楽」が続いている。一方、女性は「仲間と集ったりおしゃべりしたりすること」が51.8%で最も多く、「子どもや孫の成長」が続いた。

年齢層別では、いずれの層でも「子どもや孫の成長」が最も多かった。60歳代では、「旅行・買い物」が続いたが、それ以外の年齢層では「仲間と集ったりおしゃべりしたりすること」が次いで多く見られた。「趣味・娯楽」、「旅行・買い物」、「仕事」、「健康維持のための活動・スポーツ」などは年齢が高まるにつれて割合が低下している。85歳以上になると、「特にない」が2割近くにまで高まっている。

世帯類型別では、単身世帯、2世代同居世帯では「仲間と集ったりおしゃべりしたりすること」の割合が最も高く、夫婦のみ世帯、3世代同居世帯、その他世帯では「子どもや孫の成長」が最も高かった。

内訳を見ると、2世代同居世帯では本人と親の世帯で、3世代同居世帯では本人と子と孫の世帯で、「子どもや孫の成長」の割合が高くなっており、逆の傾向を示した。一方、2世代同居世帯、3世代同居世帯とも子や孫と同居している世帯（本人と子の世帯、本人と子と孫の世帯）で「仲間と集ったりおしゃべりしたりすること」の割合が高まっており、親と同居している世帯（本人と親の世帯、本人と親と子の世帯）では、「旅行・買い物」、「仕事」が高い傾向にある。

健康状態別に見ると、「大変健康」な人は、「子どもや孫の成長」に次いで、「仕事」との回答も多く、5割近く見られた。また、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」人や「～外出も一人でできる」人は、「仲間と集ったりおしゃべりしたりすること」や「旅行・買い物」、「趣味・娯楽」などへの回答も目立った。一方、健康状態が良くないほど、「特にない」との回答が高まっている。

本人の「要支援・介護認定」の状況別では、要支援・介護認定を受けていない人の方が、全般的に回答する割合が高い傾向にあるが、「特にない」は受けている人の方が高かった。

図 4 - 2 喜びや生活の張りを感じること (前回調査との比較)

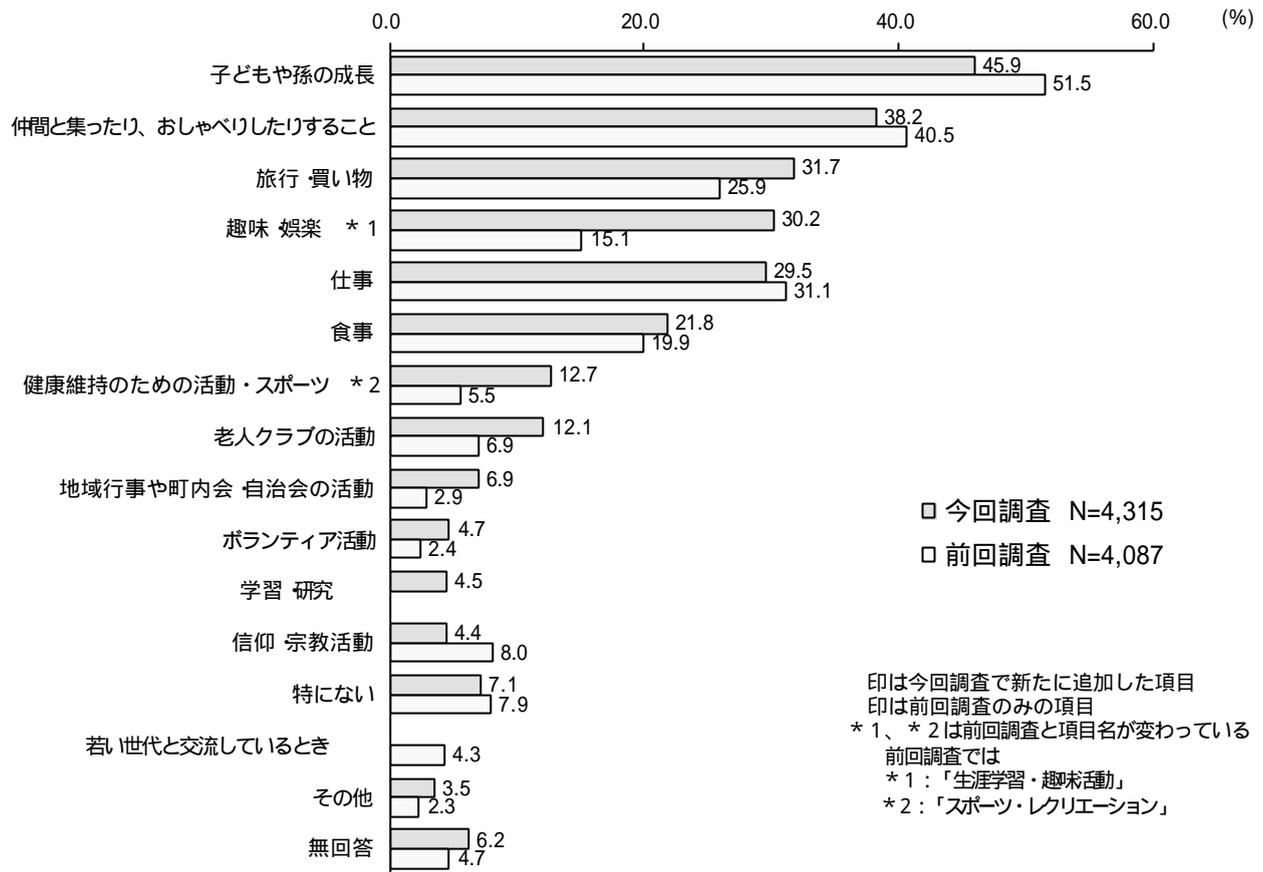


表 4 - 2 喜びや生活の張りを感じること

	総数	子どもや孫の成長	趣味・娯楽	学習・研究	健康維持のための活動・スポーツ	仕事	ボランティア活動	旅行・買い物	信仰・宗教活動	地域行事や町内会・自治会の活動	老人クラブの活動	仲間と集ったりおしゃべりしたりすること	食事	特にない	その他	無回答
<全体> (実数)	4,315	1,980	1,304	196	547	1,275	203	1,366	188	296	524	1,648	940	306	149	269
<全体> (構成比)		45.9	30.2	4.5	12.7	29.5	4.7	31.7	4.4	6.9	12.1	38.2	21.8	7.1	3.5	6.2
<性別>																
男性	1,590	47.2	35.9	7.2	17.0	31.0	5.2	31.6	3.6	11.2	12.7	19.6	18.4	7.2	2.8	6.2
女性	2,193	46.1	27.0	2.8	9.8	27.9	4.6	32.0	4.6	4.4	11.4	51.8	24.5	7.3	4.1	5.7
<年齢層別>																
65～69歳	1,129	52.2	38.4	5.7	14.6	35.7	8.2	40.3	3.6	9.4	6.0	38.2	21.3	4.8	2.0	4.3
70～74歳	1,112	49.4	31.6	4.0	15.2	33.4	5.1	37.3	3.5	8.4	14.0	39.7	21.8	5.2	2.5	5.0
75～79歳	912	43.9	30.2	5.3	12.4	28.5	3.5	30.5	5.7	5.8	17.4	41.2	20.7	6.0	3.9	5.8
80～84歳	577	40.0	21.3	3.1	9.5	22.9	1.7	19.9	4.3	4.2	14.2	36.0	20.8	9.9	5.7	7.8
85歳以上	401	30.9	16.5	2.7	4.5	12.2	0.2	9.0	4.2	2.2	8.0	30.2	24.7	18.5	5.0	13.5
前期高齢者	2,241	50.8	35.0	4.9	14.9	34.5	6.7	38.8	3.6	8.9	10.0	38.9	21.6	5.0	2.3	4.7
後期高齢者	1,890	39.9	24.6	4.1	9.8	23.3	2.3	22.7	5.0	4.6	14.4	37.3	21.6	9.8	4.7	8.0
<世帯類型別>																
単身世帯	298	34.6	29.9	3.7	10.7	21.1	2.7	27.5	6.0	4.0	5.7	40.6	21.8	10.4	5.4	6.7
夫婦のみ世帯	1,059	46.6	34.1	7.4	17.5	27.0	5.6	35.2	3.9	8.4	10.2	32.2	19.9	6.5	2.6	5.7
2世代同居世帯	1,095	32.7	27.5	3.4	10.2	27.1	4.2	29.2	3.7	6.1	10.1	36.2	22.3	9.6	3.7	7.9
うち本人と親の世帯	88	52.3	28.4	5.7	13.6	34.1	4.5	36.4	1.1	11.4	13.6	33.0	17.0	4.5	1.1	6.8
うち本人と子の世帯	1,007	31.0	27.4	3.2	9.9	26.5	4.2	28.6	4.0	5.7	9.8	36.4	22.7	10.0	4.0	7.9
3世代同居世帯	1,310	57.6	30.3	3.4	11.9	34.7	4.6	32.2	4.4	6.8	15.3	43.3	22.4	4.9	2.9	5.0
うち本人と親と子の世帯	51	37.3	29.4	3.9	15.7	39.2	11.8	35.3	-	5.9	9.8	33.3	25.5	3.9	3.9	7.8
うち本人と子と孫の世帯	1,259	58.5	30.3	3.4	11.8	34.6	4.3	32.1	4.5	6.8	15.5	43.7	22.2	4.9	2.9	4.9
その他世帯	392	49.5	27.8	3.6	9.7	28.8	4.8	27.8	4.8	7.4	15.6	41.3	21.7	8.2	5.4	6.9
<健康状態別>																
大変健康	219	51.1	32.4	7.8	20.1	47.5	10.0	37.0	6.8	11.4	16.9	35.6	18.3	2.7	5.0	3.2
たいした病気や障害などもなく、普通に生活している	1,947	49.5	35.7	5.4	15.9	36.6	6.7	38.1	4.1	9.3	13.9	42.3	21.5	3.7	2.4	4.3
病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人でできる	1,325	45.6	30.9	4.3	11.8	25.9	3.1	32.6	4.4	5.4	12.1	38.9	22.5	6.5	3.4	5.4
病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分でできているが、外出は一人でできない	355	39.2	14.9	1.7	2.8	10.7	-	8.7	5.4	0.6	3.7	27.3	20.8	20.0	5.6	12.4
病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である	128	25.0	7.0	-	0.8	3.1	0.8	1.6	1.6	0.8	0.8	13.3	21.9	21.9	10.9	23.4
病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである	78	26.9	6.4	-	-	3.8	-	2.6	-	2.6	1.3	12.8	17.9	25.6	7.7	14.1
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>																
受けている	552	32.6	14.9	1.3	4.5	13.4	0.9	10.5	3.8	1.3	6.7	27.5	22.8	17.6	7.6	13.8
受けていない	3,390	48.6	33.7	5.2	14.2	31.9	5.4	35.0	4.4	8.0	12.4	39.6	21.7	5.4	2.9	4.7

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人でできる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分でできているが、外出は一人でできない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(3)今後行いたい活動 【MA】

現在行っていることも含めて、今後行いたい活動は何かを聞いたところ、「家の仕事（家事・自給用の農作業など）」が最も多く、52.1%であった。次いで、「趣味・娯楽」が33.8%、「健康維持のための活動・スポーツ」が20.5%などと続いた。「特に何もしたいとは思わない」は11.2%であった。

性別に見ると、全般的に女性より男性の方で割合が高い傾向にあり、「健康維持のための活動・スポーツ」、「収入を得るための仕事」、「地域行事や町内会・自治会の活動」では、特に差が大きい。一方、「特に何もしたいとは思わない」は女性の方で割合が高かった。

年齢層別に見ると、「家の仕事」がいずれの年齢層でも最も回答が多く、85歳以上を除く年齢層では、次いで「趣味・娯楽」が多く見られた。全般的に、年齢が高い層で割合が低下する傾向にあるが、「特に何もしたいとは思わない」は年齢とともに上昇しており、85歳以上では36.9%となった。

世帯類型別に見ると、いずれの世帯でも「家の仕事」の割合が最も高いが、3世代同居世帯では6割を越えており、特に高かった。また、「趣味・娯楽」や「健康維持のための活動・スポーツ」は夫婦のみ世帯で特に割合が高くなっている。単身世帯では、「特に何もしたいとは思わない」の割合が2割近く見られた。

2世代同居世帯、3世代同居世帯の内訳を見ると、親と同居している世帯（本人と親の世帯、本人と親と子の世帯）の方で割合が高い項目が多く、「健康維持のための活動・スポーツ」、「収入を得るための仕事」などでは特に差が大きい。

健康状態別では、「大変健康」、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」、「～外出も一人でできる」人は、「家の仕事」への回答が最も多く、「趣味・娯楽」がこれに続く。一方、「～外出は一人でできない」、「～日中もベッドの上での生活が主体である」、「～寝たきりである」という健康状態が良くない人になると、「特に何もしたいとは思わない」の割合が最も高くなる。

家族の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、家族が要支援・介護認定を受けていない人の方が、ほとんどの項目で割合が高くなっている。家族が要支援・介護認定を受けている人の場合、「特に何もしたいとは思わない」の割合がを受けていない人に比べて高く、17.8%であった。

暮らし向き別に見ても、「家の仕事」への回答がいずれも最も多いが、家計にゆとりがあるほどその割合が高い。「趣味・娯楽」、「健康維持のための活動・スポーツ」なども同様に家計にゆとりがない世帯ほど割合が低下する。逆に、「収入を得るための仕事」あるいは「特に何もしたくない」は家計にゆとりがない世帯の方で割合が高まる。

図 4 - 3 今後行いたい活動
N=4,315

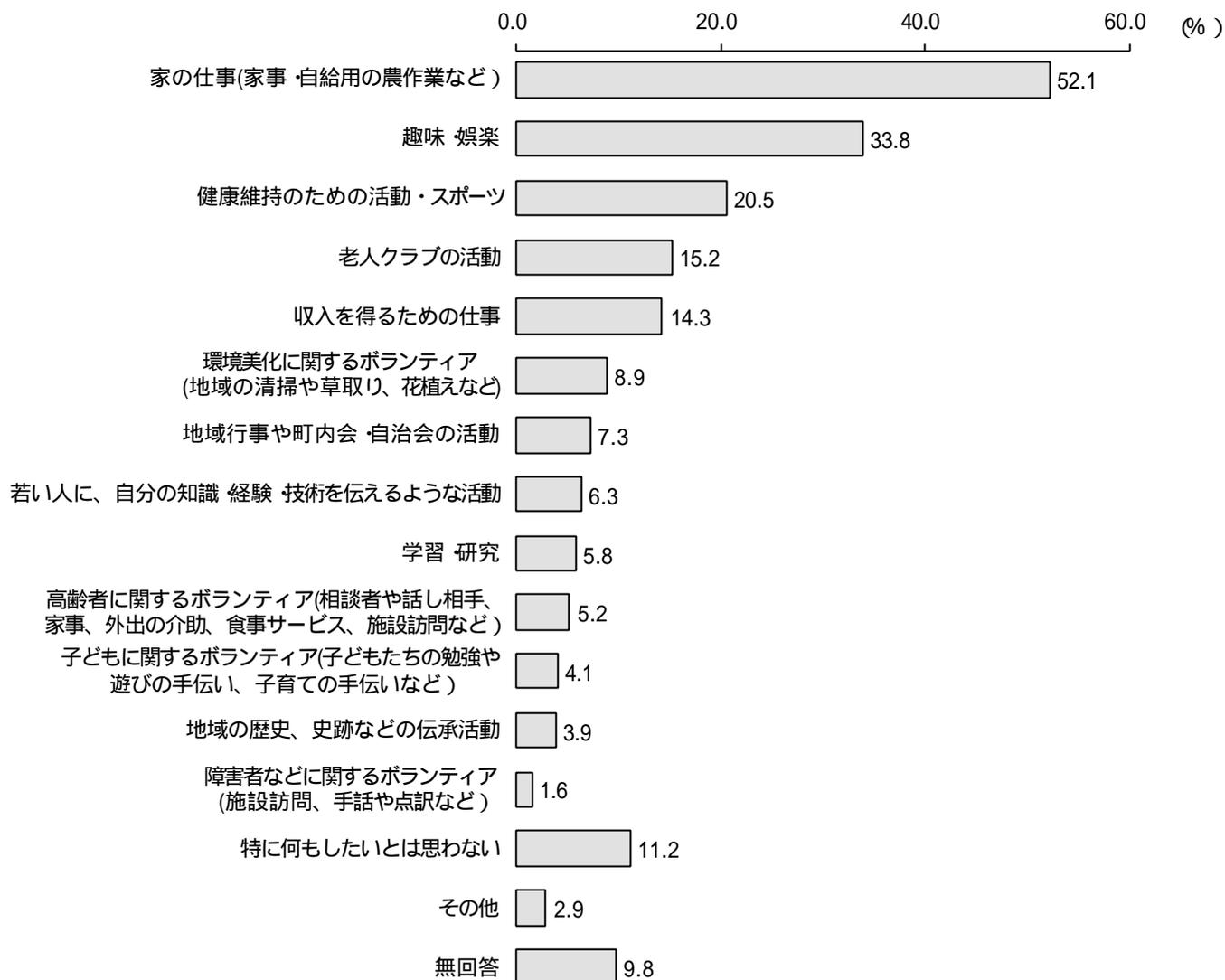


表4-3 今後行いたい活動

	総数	収入を得るための仕事	家の仕事(家事・自給用の農作業など)	趣味・娯楽	学習・研究	健康維持のための活動・スポーツ	高齢者に関するボランティア	子どもに関するボランティア	障害者などに関するボランティア	環境美化に関するボランティア	地域の歴史、史跡などの伝承活動	地域行事や町内会・自治会の活動	老人クラブの活動	若い人に自分の知識・経験・技術を伝えるような活動	特に何もしたいとは思わない	その他	無回答
<全体> (実数) (構成比)	4,315 14.3	616 14.3	2,247 52.1	1,457 33.8	249 5.8	883 20.5	223 5.2	176 4.1	70 1.6	383 8.9	170 3.9	315 7.3	656 15.2	272 6.3	482 11.2	124 2.9	425 9.8
<性別>																	
男性	1,590	22.7	52.7	37.4	8.4	26.2	4.3	4.1	1.6	10.6	6.6	11.9	16.5	8.9	8.6	1.8	7.1
女性	2,193	8.1	52.7	31.9	4.1	16.8	5.6	4.0	1.8	7.7	2.1	4.3	14.3	4.4	13.7	3.9	11.0
<年齢層別>																	
65～69歳	1,129	27.7	55.7	45.3	7.4	28.6	9.0	6.8	3.5	11.8	3.7	11.0	10.1	7.2	5.0	1.6	6.1
70～74歳	1,112	15.6	59.6	34.8	6.1	23.7	5.1	4.2	1.6	10.4	5.3	8.9	18.3	6.3	5.8	2.6	7.6
75～79歳	912	8.6	55.5	33.3	6.4	16.9	3.3	2.5	0.5	8.0	4.1	5.6	20.4	5.7	10.3	2.7	9.9
80～84歳	577	3.5	43.7	21.1	2.8	14.6	2.9	1.7	0.5	4.3	3.1	2.8	16.8	5.9	18.0	4.0	17.2
85歳以上	401	0.7	24.4	19.0	2.2	7.0	1.5	1.5	0.7	3.0	1.7	2.2	7.5	5.5	36.9	6.2	15.5
前期高齢者	2,241	21.7	57.7	40.1	6.8	26.1	7.1	5.5	2.5	11.1	4.5	10.0	14.1	6.7	5.4	2.1	6.8
後期高齢者	1,890	5.3	45.3	26.6	4.4	14.1	2.8	2.1	0.6	5.8	3.3	4.0	16.6	5.7	18.3	3.9	13.3
<世帯類型別>																	
単身世帯	298	11.4	33.9	32.9	5.7	16.1	4.7	2.0	2.0	5.7	5.0	3.4	7.4	3.0	19.5	3.0	13.4
夫婦のみ世帯	1,059	17.9	49.4	37.1	8.5	26.3	6.0	2.6	1.9	9.4	4.0	9.7	14.1	5.4	8.8	2.3	8.9
2世代同居世帯	1,095	14.5	51.1	31.4	5.0	18.8	5.0	3.7	1.5	8.3	4.3	7.0	12.5	5.9	12.6	3.3	11.1
うち本人と親の世帯	88	29.5	62.5	40.9	10.2	23.9	8.0	3.4	3.4	12.5	5.7	8.0	17.0	13.6	3.4	1.1	9.1
うち本人と子の世帯	1,007	13.2	50.1	30.6	4.6	18.4	4.8	3.7	1.3	7.9	4.2	7.0	12.1	5.3	13.4	3.5	11.3
3世代同居世帯	1,310	11.5	60.6	35.6	4.4	19.8	4.6	4.7	1.4	9.8	3.7	6.9	19.1	7.9	9.5	2.4	7.6
うち本人と親と子の世帯	51	27.5	64.7	39.2	5.9	35.3	7.8	3.9	-	13.7	2.0	9.8	15.7	11.8	3.9	-	9.8
うち本人と子と孫の世帯	1,259	10.9	60.4	35.5	4.3	19.2	4.4	4.8	1.4	9.6	3.7	6.8	19.2	7.8	9.7	2.5	7.5
その他世帯	392	14.3	46.4	26.5	4.1	15.1	4.6	6.9	1.8	7.4	2.6	5.6	18.9	6.6	14.5	4.6	13.5
<健康状態別>																	
大変健康	219	25.6	60.3	36.1	9.6	27.4	8.2	7.3	3.7	16.0	5.0	10.5	18.7	8.2	3.2	1.8	5.5
たいした病気や障害などもなく、普通に生活している	1,947	18.8	60.6	39.8	7.0	26.6	6.2	4.8	2.1	10.5	4.0	9.4	18.4	6.4	5.0	1.4	7.2
病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人でできる	1,325	10.7	52.1	35.5	5.7	18.4	4.5	3.5	1.4	8.5	4.6	6.4	14.7	7.5	9.8	1.9	9.7
病気や障害などがあって、家の中の生活はおおむね自分でできているが、外出は一人でできない	355	3.7	29.0	14.4	1.7	4.5	1.7	1.1	-	1.7	1.7	0.3	3.7	3.1	36.6	5.6	16.3
病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である	128	0.8	7.0	7.0	-	1.6	3.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2.3	46.9	14.1	21.1
病気や障害などがあって、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである	78	5.1	10.3	9.0	-	2.6	1.3	-	-	-	-	2.6	3.8	-	34.6	26.9	15.4
<家族の「要支援」「介護認定」の状況別>																	
受けている	517	10.3	43.7	29.8	6.0	16.8	4.8	3.7	1.9	6.4	3.1	4.8	13.2	7.4	17.8	5.0	13.2
受けていない	3,358	15.3	53.6	35.7	6.1	21.6	5.4	4.3	1.5	9.4	4.3	8.1	15.0	6.2	10.2	2.6	8.4
<暮らし向き別>																	
家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	424	10.4	50.2	40.3	9.2	23.6	5.2	4.0	1.2	7.8	5.9	7.1	15.1	6.6	11.1	3.3	10.4
それほど心配なく暮らしている	2,246	11.0	56.4	36.5	5.7	22.1	5.6	4.0	1.8	10.0	3.9	8.2	17.5	6.5	9.8	2.4	8.7
家計にゆとりがなく、多少心配である	1,112	19.2	49.6	30.4	5.2	19.3	5.1	4.1	1.5	7.9	3.4	6.8	13.5	6.1	12.5	3.1	10.0
家計が苦しく、非常に心配である	325	25.5	38.2	23.7	4.0	12.9	2.2	2.8	0.9	5.2	3.4	3.4	8.3	4.9	14.8	3.7	13.8
わからない	48	6.3	31.3	6.3	-	4.2	2.1	-	2.1	6.3	-	-	6.3	-	31.3	6.3	14.6
その他	11	27.3	18.2	45.5	-	-	18.2	9.1	18.2	-	18.2	9.1	9.1	36.4	18.2	27.3	9.1

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人でできる

病気や障害などがあって、家の中の生活はおおむね自分でできているが、外出は一人でできない

病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあって、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(4)特に何もしたいとは思わない理由 【MA】

今後の活動を「特に何もしたいとは思わない」と考えている人にその理由を聞いたところ、「健康・体力に自信がないから」が60.0%で圧倒的に多く、「自分が何をやりたいのか、何をやったらよいのかわからないから」が24.7%、「興味・関心がないから」が18.9%で続いた。

性別に見ると、男性、女性とも「健康・体力に自信がないから」が最も多く、特に女性の方で割合が高かった。

年齢層別に見ると、いずれの年齢層でも「健康・体力に自信がないから」の回答が最も多く、特に70歳代では割合が高かった。80歳代では、「自分が何をやりたいのか～」が他の年齢層に比べて割合が高かったほか、85歳以上では、「興味・関心がないから」へも4人に1人が回答している。前期高齢者では、「拘束されたくないから(わずらわしい)」、「家庭の事情(病人・家事・介護)があるから」への回答も目立っている。

世帯類型別では、いずれの世帯でも「健康・体力に自信がないから」が最も多く、「自分が何をやりたいのか～」が続いている。また、単身世帯では「拘束されたくないから」を多く選ぶ傾向にあり、3世代同居世帯、2世代同居世帯では、「興味・関心がないから」の割合が高まっている。

健康状態別では、「大変健康」な人を除き、「健康・体力に自信がないから」への回答が多く見られたが、健康状態が良くないほど割合が高まるような傾向は見られていない。一方、「大変健康」な人は、「興味・関心がないから」の割合が最も高く、57.1%であった。

図 4- 4 特に何もしたいとは思わない理由

N=482

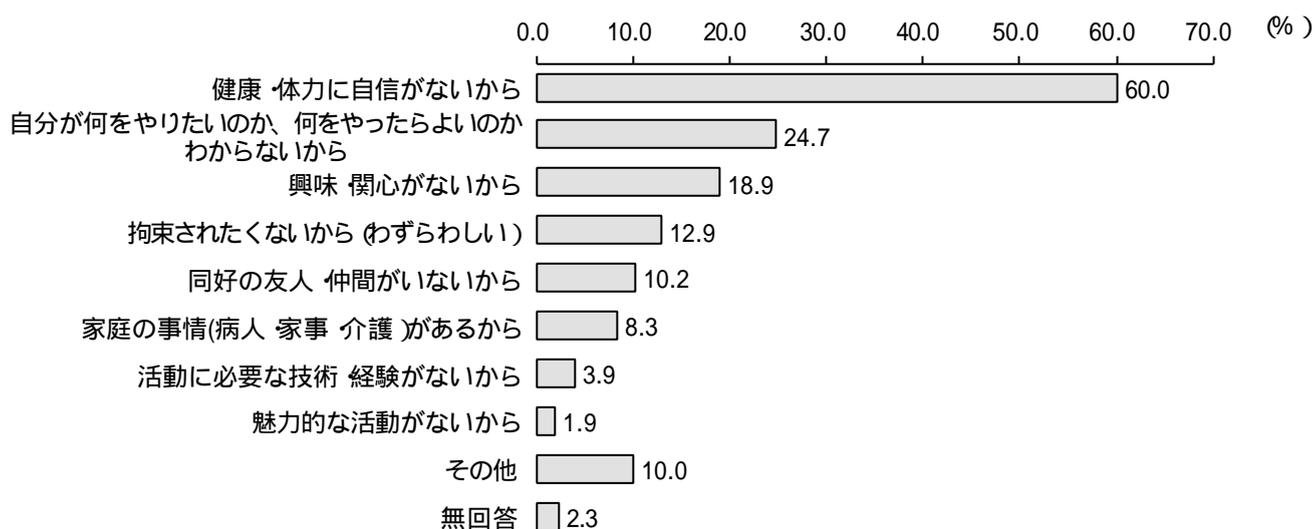


表4 - 4 特に何もしたいとは思わない理由

	総数	自分が何をやりたいのか、何をやってほしいのかわからないから	同好の友人・仲間がいらないから	健康 体力に自信がないから	魅力的な活動がないから	活動に必要な技術・経験がないから	家庭の事情(病人・家事・介護)があるから	拘束されたくないから(わずらわしい)	興味 関心がないから	その他	無回答
<全体> (実数) (構成比)	482	119 24.7	49 10.2	289 60.0	9 1.9	19 3.9	40 8.3	62 12.9	91 18.9	48 10.0	11 2.3
<性別> 男性 女性	137 300	24.1 24.7	14.6 7.0	55.5 63.0	3.6 0.7	4.4 3.3	10.2 7.3	20.4 10.3	20.4 18.7	10.2 9.7	2.2 2.3
<年齢層別> 65～69歳 70～74歳 75～79歳 80～84歳 85歳以上	56 65 94 104 148	21.4 26.2 17.0 27.9 28.4	17.9 6.2 5.3 9.6 13.5	53.6 67.7 62.8 60.6 59.5	5.4 4.6 - 1.9 0.7	5.4 7.7 3.2 4.8 2.0	17.9 10.8 10.6 8.7 2.0	21.4 18.5 13.8 13.5 6.1	14.3 18.5 16.0 13.5 25.0	8.9 6.2 6.4 13.5 11.5	3.6 1.5 3.2 1.0 2.0
前期高齢者 後期高齢者	121 346	24.0 25.1	11.6 10.1	61.2 60.7	5.0 0.9	6.6 3.2	14.0 6.4	19.8 10.4	16.5 19.1	7.4 10.7	2.5 2.0
<世帯類型別> 単身世帯 夫婦のみ世帯 2世代同居世帯 3世代同居世帯 その他世帯	58 93 138 124 57	24.1 29.0 25.4 22.6 22.8	10.3 9.7 10.9 8.1 14.0	63.8 55.9 61.6 62.1 57.9	3.4 3.2 2.2 0.8 -	3.4 7.5 3.6 2.4 3.5	1.7 10.8 10.1 4.8 15.8	20.7 16.1 14.5 7.3 8.8	15.5 11.8 21.0 24.2 17.5	3.4 12.9 9.4 10.5 10.5	5.2 1.1 0.7 3.2 1.8
<健康状態別> 大変健康 たいした病気や障害などもなく、普通に生活している 病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる 病気や障害などあって、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない 病気や障害などあって、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(仮とん)の上での生活が主体である 病気や障害などあって、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである	7 98 130 130 60 27	42.9 29.6 27.7 16.2 23.3 25.9	14.3 14.3 12.3 3.8 13.3 3.7	- 43.9 66.2 73.1 63.3 48.1	14.3 2.0 3.8 0.8 - -	- 3.1 9.2 0.8 1.7 3.7	- 13.3 10.8 6.2 6.7 -	- 21.4 20.8 5.4 3.3 7.4	57.1 23.5 11.5 20.0 20.0 18.5	- 4.1 7.7 10.0 21.7 25.9	- 3.1 1.5 1.5 - -

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる

病気や障害などあって、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない

病気や障害などあって、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(仮とん)の上での生活が主体である

病気や障害などあって、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(5)社会・地域活動に参加するために県や市町村は何をすればよいか 【MA】

高齢者が今以上に社会や地域での活動に参加するために、県や市町村は何をすればよいかを聞いたところ、「情報をもっと提供する」が26.2%で最も多く、「参加を呼びかけてくれる世話役の確保や養成」が24.8%、「一緒に活動する仲間を作る機会を提供する」が22.9%などと続いた。「特にない」は16.4%、「わからない」は10.9%見られた

性別に見ると、男性は「情報をもっと提供する」が33.8%で最も多く、女性は「参加を呼びかけてくれる～」が23.6%で最も多かった。また、「経験・知識・技術を活かして活動する場、働く場を確保する」については、男性の方で割合が高く、女性との差が大きい。全般的に、男性の方が女性より割合が高い傾向にあった。

年齢層別に見ると、60歳代、70歳代では、「情報をもっと提供する」への回答が最も多く、65～69歳では35.6%と割合が最も高かった。80歳以上になると、「特にない」や「わからない」への回答が目立つようになる。

世帯類型別では、その他世帯を除き、「情報をもっと提供する」への回答が最も多かった。なかでも、夫婦のみ世帯では32.3%となり、最も割合が高かった。全般的に、夫婦のみ世帯は他の世帯に比べ、割合が高い傾向にある。

福祉圏域別に見ると、新潟、巻・三条、上越、新津、新発田、十日町圏域では、「情報をもっと提供する」の割合が、佐渡、糸魚川、柏崎、六日町、小出、村上、長岡圏域では、「参加を呼びかけてくれる～」が最も高かった。

健康状態別では、健康状態が良好な人の方では、「情報をもっと提供する」、「参加を呼びかけてくれる～」、「一緒に活動する仲間～」への回答が目立っている。一方、「～寝たきりである」人では、「活動のための施設を整備したり、利用しやすくする」の割合が最も高い。

本人の「要支援・介護認定」の状況別では、要支援・介護認定を受けていない人は「情報をもっと提供する」、「参加を呼びかけてくれる～」、「一緒に活動する仲間～」の割合が高い。一方、要支援・介護認定を受けている人は「わからない」の割合が最も高かった。

ふだんの過ごし方別により比較すると、多くが「情報をもっと提供する」の割合が最も高く、特に「学習・研究」をしている人は51.5%が、「地域行事や町内会・自治会の活動」、「ボランティア活動」では49.2%と半数前後の人が回答している。また、これらの過ごし方をしている人は、全般的に回答する割合が高い傾向にあった。一方、「何もしないでゴロゴロしている」という人は、「わからない」や「特にない」が多く見られた。

今後行いたい活動の別に見ると、「学習・研究」、「地域行事や町内会・自治会の活動」、「地域の歴史、史跡などの伝承活動」を行いたい人などで、「情報をもっと提供する」へ回答する割合が最も高かった。一方、「家の仕事」および「高齢者、子ども、障害者、環境美化それぞれのボランティア活動」を行いたいと考えている人からの回答は、「参加を呼びかけてくれる～」の割合が最も高かった。

図4 - 5 社会・地域活動に参加するために県や市町村は何をすればよいか
N=4,315

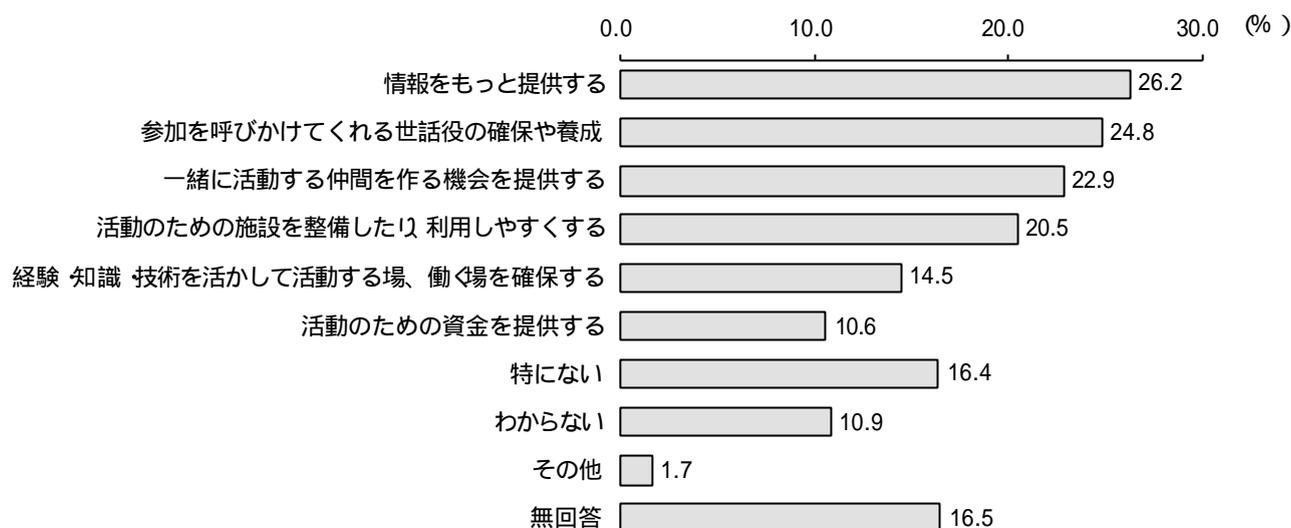


表4 - 5 社会・地域活動に参加するために県や市町村は何をすればよいか

	総数	情報をもっと提供する	参加を呼びかけてくれる世話役の確保や養成	一緒に活動する仲間を作る機会を提供する	経験・知識・技術を活かして活動する場、働く場を確保する	活動のための施設を整備したり 利用しやすくする	活動のための資金を提供する	特にな	わからない	その他	無回答
<全体> (実数)	4,315	1,132	1,071	987	624	885	459	709	471	73	711
(構成比)		26.2	24.8	22.9	14.5	20.5	10.6	16.4	10.9	1.7	16.5
<性別>											
男性	1,590	33.8	27.2	23.6	22.3	23.3	13.3	14.2	7.2	1.8	13.3
女性	2,193	21.7	23.6	22.6	9.2	18.8	8.7	17.9	14.1	1.8	17.4
<年齢層別>											
65～69歳	1,129	35.6	30.6	31.4	24.1	27.1	13.2	12.6	6.9	1.2	9.4
70～74歳	1,112	27.4	26.3	23.9	15.6	21.3	13.0	15.7	8.7	2.0	16.5
75～79歳	912	25.9	23.9	19.8	10.2	17.0	10.2	18.5	9.8	1.8	19.7
80～84歳	577	16.1	17.2	16.1	5.2	15.1	5.2	19.9	15.9	2.3	21.3
85歳以上	401	13.0	16.7	11.5	7.0	16.0	5.2	18.2	24.7	1.2	20.9
前期高齢者	2,241	31.5	28.5	27.7	19.9	24.2	13.1	14.1	7.8	1.6	12.9
後期高齢者	1,890	20.2	20.3	16.9	8.0	16.2	7.6	18.9	14.8	1.8	20.5
<世帯類型別>											
単身世帯	298	23.2	22.8	21.1	9.1	19.1	5.7	15.4	15.1	3.4	18.5
夫婦のみ世帯	1,059	32.3	27.4	25.5	18.0	21.4	10.1	16.1	7.7	1.5	13.3
2世代同居世帯	1,095	25.5	24.6	21.9	13.9	20.0	10.6	16.7	11.9	1.2	16.3
3世代同居世帯	1,310	25.1	24.4	22.3	13.4	21.3	11.2	16.6	10.5	2.2	16.4
その他世帯	392	19.4	21.4	20.2	13.8	18.1	13.8	16.3	15.8	1.0	21.4
<福祉圏域別>											
村上圏域	158	24.7	25.9	23.4	17.1	25.3	10.1	16.5	10.8	1.9	17.1
新発田圏域	523	25.4	21.6	20.5	13.2	22.8	13.8	18.5	11.7	2.3	15.1
新津圏域	409	25.9	21.0	23.0	12.7	19.3	10.5	17.4	13.4	1.0	14.4
新潟圏域	721	31.5	26.4	24.1	14.4	21.6	8.9	15.0	9.7	1.7	16.0
巻・三条圏域	433	29.6	24.2	25.4	15.0	23.8	11.1	16.2	11.1	0.9	16.6
長岡圏域	451	23.9	24.6	23.5	16.4	19.1	7.5	15.1	11.8	2.4	16.9
小出圏域	173	19.1	26.6	22.0	13.3	16.8	10.4	20.8	11.0	0.6	16.2
六日町圏域	128	25.0	27.3	25.8	14.1	14.8	15.6	17.2	8.6	1.6	20.3
十日町圏域	230	24.3	21.7	20.4	17.0	17.4	12.6	17.0	10.9	3.0	15.2
柏崎圏域	214	23.8	29.4	23.4	15.0	24.3	8.9	12.1	11.7	0.5	15.0
上越圏域	425	27.8	26.8	22.4	12.7	19.5	12.7	16.9	9.6	2.1	15.3
糸魚川圏域	95	17.9	31.6	25.3	20.0	20.0	11.6	9.5	13.7	1.1	16.8
佐渡圏域	135	29.6	34.1	23.0	16.3	18.5	7.4	18.5	7.4	4.4	12.6

	総数	情報を もっと提 供する	参加を呼 びかけて くれる世 話役の確 保や養成	一緒に活 動する仲 間を作る 機会を提 供する	経験・知 識・技術 を活かし て活動す る場、働 く場を確保 する	活動のた めの施設 を整備し たり、利 用しやす くする	活動のた めの資金 を提供す る	特にな い	わから ない	その他	無回答
<健康状態別>											
	219	26.9	28.3	28.8	21.5	17.8	12.3	16.4	7.3	3.2	14.2
	1,947	30.3	27.1	26.6	18.6	23.1	12.6	15.2	8.3	1.3	14.2
	1,325	26.5	25.9	22.9	11.5	20.0	9.8	17.8	10.5	1.4	16.8
	355	14.1	16.9	11.0	5.6	13.8	6.2	21.4	19.4	3.7	20.0
	128	11.7	14.8	9.4	5.5	15.6	6.3	14.8	30.5	2.3	18.8
	78	16.7	14.1	10.3	10.3	26.9	6.4	7.7	23.1	1.3	17.9
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>											
受けている	552	16.8	17.6	14.5	8.2	16.8	5.6	16.5	21.6	2.5	19.0
受けていない	3,390	28.9	26.8	24.7	16.2	21.9	11.7	16.4	9.2	1.7	14.5
<ふだんの過ごし方別>											
テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き	3,219	29.4	27.6	25.3	15.5	21.9	11.2	16.4	9.3	1.6	15.5
家族とのだんらん、孫と遊ぶ	931	32.9	30.0	29.1	18.0	24.9	15.4	16.0	8.2	1.6	14.8
仲間と集まったり、おしゃべりをする	1,555	28.6	28.9	28.4	13.7	23.3	12.3	15.9	8.6	1.2	16.9
趣味・娯楽	1,255	39.0	36.7	33.1	23.3	30.3	15.7	11.1	4.6	1.9	11.4
学習・研究	194	51.5	37.6	37.1	41.2	42.3	26.8	4.1	1.5	2.6	10.3
健康維持のための活動・スポーツ	577	43.0	36.4	38.8	25.3	36.6	19.6	7.1	3.6	2.8	9.7
旅行・ドライブ・買い物など外出	1,358	39.1	34.6	33.0	20.6	27.4	13.8	13.1	5.4	2.0	12.8
地域行事や町内会・自治会の活動	390	49.2	44.9	42.8	31.0	45.4	26.2	6.4	2.1	3.6	5.9
老人クラブの活動	706	30.6	35.3	34.7	16.6	29.0	20.5	10.9	5.0	2.5	14.7
ボランティア活動	258	49.2	45.7	41.9	31.4	42.2	29.1	5.0	1.9	1.9	7.4
家族の介護	247	28.7	27.1	21.9	13.8	22.7	15.4	12.6	13.4	3.6	18.6
何もしないでゴロゴロしている	466	14.8	13.9	12.9	6.4	12.9	6.4	19.5	25.3	2.1	19.3
その他	339	22.1	23.0	19.8	17.1	22.4	9.7	15.3	17.1	4.7	14.5
<今後行いたい活動別>											
収入を得るための仕事	616	43.7	33.6	29.5	39.1	24.8	19.6	8.4	3.1	1.8	10.9
家の仕事	2,247	30.0	30.7	27.5	17.1	23.5	13.2	15.7	7.5	1.4	13.9
趣味・娯楽	1,457	39.1	37.9	35.6	22.6	30.3	16.8	10.6	3.8	2.0	10.4
学習・研究	249	59.8	41.8	39.8	43.8	40.6	28.9	3.2	0.8	3.6	5.2
健康維持のための活動・スポーツ	883	46.1	41.8	41.1	25.7	37.4	20.8	5.7	3.3	2.0	8.9
高齢者に関するボランティア	223	52.5	53.4	43.9	32.3	41.7	25.1	3.6	1.8	2.7	8.1
子どもに関するボランティア	176	46.6	47.2	38.1	37.5	39.2	24.4	6.8	1.7	5.1	5.7
障害者などに関するボランティア	70	60.0	62.9	55.7	47.1	45.7	27.1	1.4	5.7	1.4	4.3
環境美化に関するボランティア	383	42.6	49.1	45.4	27.7	39.2	24.8	4.2	2.6	3.1	7.3
地域の歴史、史跡などの伝承活動	170	51.2	49.4	45.3	38.2	36.5	27.1	4.7	1.8	5.9	4.1
地域行事や町内会・自治会の活動	315	54.9	50.2	46.7	29.8	46.0	27.9	4.4	1.9	4.1	3.2
老人クラブの活動	656	33.4	38.7	39.3	16.0	31.9	20.7	10.2	3.8	1.8	13.1
若い人に、自分の知識・経験・技術を伝えるような活動	272	47.1	45.6	44.5	42.6	35.3	24.3	3.7	3.3	2.6	9.2
特に何もしたいとは思わない	482	8.1	10.0	6.4	3.5	12.2	5.0	27.6	31.5	1.7	13.7
その他	124	20.2	15.3	16.1	8.9	16.9	6.5	12.1	17.7	12.9	20.2

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる

病気や障害などがあって、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない

病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあって、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

5 日常不自由に感じること

(1)日常不自由に感じること 【MA】

日常不自由に感じることは、「特にない」が最も多く、38.2%と約10人に4人が回答した。次いで、「家の管理(庭の手入れ、簡単な修理、雪おろしなど)が大変」が21.3%、「日常の買い物が大変」、「病院や理美容などへ出かけるのが困難・不便」がそれぞれ11.7%などと続いた。

性別に見ると、「特にない」は、男性では44.0%となり、女性を10ポイント程度上回った。また、男性、女性とも「家の管理が大変」が次いで多く見られたが、これも男性の方で割合が高かった。一方、「日常の買い物が大変」、「病院や理美容などへ〜」、「食事づくりが面倒」などは女性の方で割合が高かった。

年齢層別に見ると、「特にない」がいずれの年齢層でも最も多かったが、65～69歳で46.6%と特に割合が高く、70～74歳でも40.0%見られた。「家の管理が大変」は、85歳以上以外では2番目に回答が多く見られた。85歳以上では、「お茶を飲んだり、おしゃべりをするなど、気軽に出かけて楽しめるところが身近にない」の割合がほかの年齢層に比べて高くなっている。「病院や理美容などへ〜」は年齢とともに割合が高まっている。

配偶者の有無別では、いずれも「特にない」が最も多いが、配偶者がいる人の方で割合が高く、4割を越えた。「家の管理が大変」も配偶者がいる人の方で割合が高かったが、それ以外の項目は配偶者がいない方で高いか、あるいはほぼ同程度の回答であった。

世帯類型別に見ると、単身世帯では「家の管理が大変」が38.3%で最も多かったが、それ以外の世帯では「特にない」の割合が最も高かった。単身世帯では、多くの項目で、ほかの世帯に比べ不自由に感じると回答した割合が高くなっている。

2世代同居世帯、3世代同居世帯の内訳を見ると、「家の管理が大変」は親と同居している世帯(本人と親の世帯、本人と親と子の世帯)の方で割合が高かった。また、2世代同居世帯では、本人と親の世帯で「特にない」が45.5%となり、本人と子の世帯を大きく上回った。

福祉圏域別に見ると、「家の管理が大変」は多くの圏域で割合が高かったが、佐渡圏域ではほかに比べ低い割合であった。一方、「～気軽に出かけて楽しめるところが身近にない」は、佐渡圏域でほかの圏域に比べて割合が高かった。

健康状態別に見ると、「～外出は一人でできない」、「～日中もベッドの上での生活が主体である」人は、「病院や理美容などへ〜」の割合が高く、3割を越えている。それ以外の人は「特にない」の割合が最も高く、「大変健康」な人では5割を超える回答が見られた。

本人の「要支援・介護認定」の状況別では、いずれも「特にない」の割合が最も高くなっており、要支援・介護認定を受けていない人では41.1%と受けている人を10ポイント以上上回った。要支援・介護認定を受けている人では、「病院や理美容などへ〜」の割合が24.6%となり、受けていない人を15ポイント程度上回っている。

暮らし向き別に比較すると、家計にゆとりがある人ほど「特にない」の割合が高い傾向にあった。逆に、「家の管理が大変」、「日常の買い物が大変」、「病院や理美容などへ〜」など多くの項目において、家計にゆとりがないほど割合が高まっている。

住居で使いにくいところへの回答別(P49～50参照)に比較すると、住居で「特に困ったり不便を感じているところはない」や「その他」と回答した人以外は「家の管理が大変」への回答が最も多く、特に「台所」、「玄関や廊下の幅」などを使いにくいと感じている人では割合が高かった。一方、住居で「特に困ったり不便を感じているところはない」人は「特にない」の割合が高く、49.2%であった。

図 5 - 1 日常不自由に感じること
N=4,315

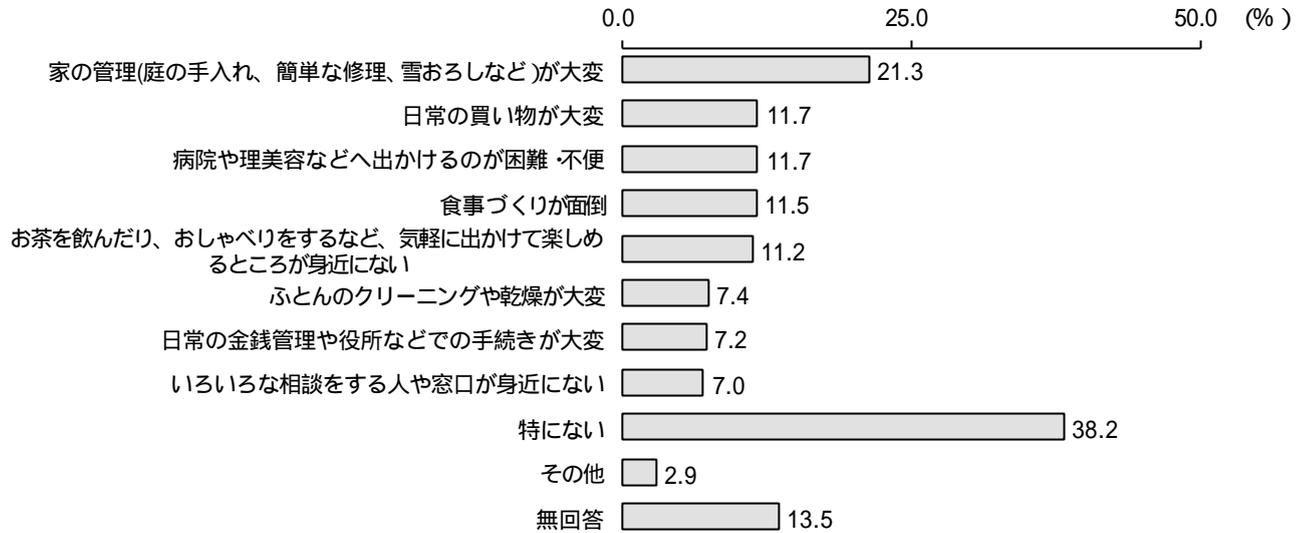


表 5 - 1 日常不自由に感じること

	総数	食事づくりが面倒	日常の買い物が大変	病院や理美容などへ出かけるのが困難・不便	ふとんのクリーニングや乾燥が大変	家の管理(庭の手入れ、簡単な修理、雪おろしなど)が大変	日常の金銭管理や役所などでの手続きが大変	いろいろな相談をする人や窓口が身近にない	お茶を飲んだり、おしゃべりをするなど、気軽に出かけて楽しめるところが身近にない	特にない	その他	無回答
<全体> (実数 (構成比))	4,315	495 (11.5)	505 (11.7)	506 (11.7)	320 (7.4)	919 (21.3)	312 (7.2)	301 (7.0)	483 (11.2)	1,648 (38.2)	126 (2.9)	582 (13.5)
<性別>												
男性	1,590	7.5	6.2	8.0	4.4	23.9	7.1	7.1	11.6	44.0	2.5	11.9
女性	2,193	14.5	16.1	14.8	9.6	19.7	7.8	7.1	11.1	34.5	3.5	13.6
<年齢層別>												
65～69歳	1,129	8.4	8.0	6.6	5.8	20.5	6.6	8.1	11.9	46.6	2.7	8.6
70～74歳	1,112	11.2	10.9	10.3	7.1	22.0	6.4	6.7	9.3	40.0	2.3	14.6
75～79歳	912	13.9	14.3	14.7	8.9	26.2	6.7	6.3	10.7	30.7	2.5	14.3
80～84歳	577	13.9	14.2	16.6	11.3	20.3	9.5	8.0	11.4	31.5	3.5	17.3
85歳以上	401	11.0	13.2	17.0	5.7	13.2	9.2	5.0	16.2	37.9	5.5	13.5
前期高齢者	2,241	9.8	9.4	8.5	6.4	21.3	6.5	7.4	10.6	43.3	2.5	11.6
後期高齢者	1,890	13.3	14.0	15.8	8.9	21.6	8.1	6.5	12.1	32.5	3.4	15.0
<配偶者の有無別>												
配偶者あり	2,571	10.0	10.9	10.2	7.4	22.7	7.2	7.3	11.2	41.3	2.6	11.6
配偶者なし	1,591	14.0	13.0	14.6	7.9	19.0	7.4	6.3	11.0	33.7	3.6	15.9
<世帯類型別>												
単身世帯	298	21.8	22.5	16.4	13.8	38.3	12.1	8.1	11.1	20.8	3.7	11.1
夫婦のみ世帯	1,059	11.5	12.3	10.8	8.9	27.5	8.5	8.2	10.9	37.1	2.6	11.1
2世代同居世帯	1,095	12.7	13.9	12.5	7.1	20.7	7.0	7.3	11.8	37.8	2.8	12.3
うち本人と親の世帯	88	11.4	14.8	9.1	3.4	25.0	8.0	10.2	10.2	45.5	1.1	9.1
うち本人と子の世帯	1,007	12.8	13.8	12.8	7.4	20.4	7.0	7.1	11.9	37.1	3.0	12.6
3世代同居世帯	1,310	9.5	8.1	11.5	6.2	14.9	6.0	5.6	10.9	43.0	3.0	15.1
うち本人と親と子の世帯	51	9.8	7.8	11.8	-	19.6	3.9	2.0	11.8	41.2	-	15.7
うち本人と子と孫の世帯	1,259	9.5	8.1	11.5	6.4	14.7	6.0	5.7	10.9	43.1	3.1	15.1
その他世帯	392	6.9	7.7	10.7	5.6	14.8	5.6	6.1	11.0	41.6	3.3	17.1

	総数	食事づくり が面倒	日常の買 い物が大変	病院や理 美容など へ出かける のが困難・不便	ふとんのク リーニング や乾燥が大 変	家の管理 (庭の手入 れ、簡単 な修理、 雪おろし など)が大 変	日常の金 銭管理や 役所など での手続 きが大変	いろいろ な相談を する人や 窓口が身 近にない	お茶を飲 んだり、お しゃべりを するなど、 気軽に 出かけて 楽しめる ところが 身近に ない	特にな い	その他	無回答
<福祉圏域別>												
村上圏域	158	8.2	10.1	12.7	5.1	21.5	5.7	10.8	12.0	41.8	2.5	9.5
新発田圏域	523	10.3	11.5	13.0	6.7	24.1	9.2	8.4	10.1	36.5	2.1	14.1
新津圏域	409	9.5	10.8	16.6	8.6	24.4	7.1	8.3	8.3	37.4	2.7	13.0
新潟圏域	721	12.8	12.1	7.8	10.4	18.3	8.7	7.2	12.9	38.3	4.4	11.2
巻・三条圏域	433	12.2	10.9	9.2	8.1	20.8	5.1	4.6	11.5	40.6	2.8	15.7
長岡圏域	451	12.9	8.9	8.6	7.5	22.2	6.2	6.4	12.4	39.5	3.3	11.5
小出圏域	173	12.1	12.1	16.2	6.4	24.9	6.4	6.4	6.4	41.0	1.2	11.6
六日町圏域	128	11.7	13.3	14.8	6.3	20.3	11.7	10.9	13.3	32.8	0.8	17.2
十日町圏域	230	10.9	13.9	11.7	7.8	23.5	5.2	4.3	12.6	40.0	2.6	11.7
柏崎圏域	214	11.2	15.9	12.6	6.1	23.8	9.8	7.9	9.3	36.0	1.4	13.1
上越圏域	425	10.1	11.1	14.1	6.1	20.5	5.6	5.4	10.8	40.2	3.3	15.1
糸魚川圏域	95	11.6	11.6	8.4	5.3	18.9	5.3	5.3	11.6	40.0	8.4	15.8
佐渡圏域	135	13.3	12.6	16.3	8.9	11.9	6.7	11.1	15.6	37.8	3.0	13.3
<健康状態別>												
	219	4.1	7.3	2.3	2.7	13.2	4.1	2.3	9.1	51.6	1.8	18.3
	1,947	9.8	8.1	5.7	5.1	18.8	4.4	5.6	8.5	47.5	1.8	13.1
	1,325	12.7	13.8	12.5	9.6	27.8	9.8	9.4	13.7	30.6	2.0	11.5
	355	19.4	26.2	38.3	13.8	21.1	12.4	7.9	16.3	18.9	5.6	11.0
	128	14.8	17.2	31.3	10.9	17.2	14.8	8.6	14.1	25.8	14.1	14.1
	78	10.3	6.4	16.7	6.4	7.7	10.3	5.1	11.5	24.4	20.5	21.8
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>												
受けている	552	17.6	17.8	24.6	11.2	19.0	12.5	7.8	15.4	29.2	8.2	13.0
受けていない	3,390	10.4	10.8	9.8	7.0	21.8	6.4	6.7	10.5	41.1	2.2	12.1
<暮らし向き別>												
家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	424	8.7	8.0	9.0	4.5	15.8	4.7	3.8	8.0	48.8	2.6	14.6
家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	2,246	10.6	11.0	10.6	7.0	20.7	5.0	6.1	10.0	40.6	2.3	14.3
家計にゆとりがなく、多少心配である	1,112	11.4	12.6	13.2	9.0	23.7	10.4	8.8	13.1	34.0	3.2	11.2
家計が苦しく、非常に心配である	325	20.6	17.5	19.4	10.8	28.3	15.7	9.5	16.6	24.3	4.6	11.1
わからない	48	4.2	8.3	10.4	4.2	10.4	6.3	14.6	12.5	33.3	6.3	22.9
その他	11	36.4	45.5	18.2	9.1	18.2	-	-	-	18.2	45.5	-
<住居で使いにくいところ別>												
玄関と床・道路との段差	442	21.7	22.9	31.0	16.3	34.2	16.1	12.2	17.6	17.9	6.1	8.6
玄関や廊下の幅	152	19.7	19.7	21.1	17.1	41.4	16.4	10.5	15.8	21.7	7.2	7.9
階段の勾配	290	23.1	22.1	22.8	18.3	38.3	13.8	10.7	17.6	19.0	3.8	9.7
敷居など、廊下と部屋との段差	344	18.9	22.1	26.5	14.8	35.5	17.2	10.2	15.7	20.1	5.5	11.0
トイレ	312	18.3	19.2	21.8	14.4	32.4	12.2	9.6	15.4	26.3	5.4	8.3
浴室	328	22.0	22.0	24.7	17.1	33.2	18.3	12.5	16.5	20.7	7.3	9.1
台所	220	26.4	22.7	22.7	20.5	45.0	16.8	15.5	17.7	18.2	5.5	7.3
寝室	136	24.3	21.3	25.0	19.9	40.4	14.7	11.0	17.6	20.6	9.6	10.3
特に困ったり、不便を感じているところはない	2,460	8.4	8.2	7.6	4.3	16.2	4.6	5.3	8.8	49.2	2.1	11.8
その他	92	14.1	14.1	12.0	12.0	25.0	7.6	7.6	15.2	28.3	16.3	9.8

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人できる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分でやっているが、外出は一人できない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

6 住居改修の意向

(1)住居で使いにくいところ 【MA】

現在の住居で使いにくいところを聞いたところ、「特に困ったり、不便を感じているところはない」が57.0%と圧倒的に多かった。使いにくいところとしては、「玄関と床・道路との段差」が10.2%、「敷居など、廊下と部屋との段差」が8.0%などの順であった。

年齢層別に見ると、いずれの層でも「特に困ったり、不便を感じているところはない」の割合が最も高かったが、年齢が高まるとともに低下している。逆に、「玄関と床・道路との段差」、「敷居など、廊下と部屋との段差」、「浴室」、「トイレ」は、年齢が上がるにつれて割合が高まる傾向にある。

世帯類型別では、いずれの世帯でも「特に困ったり、不便を感じているところはない」の割合が最も高いが、3世代同居世帯では6割を越えて最も高く、単身世帯は51.3%で最も低かった。

本人の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、要支援・介護認定を受けていない人では、「特に困ったり、不便を感じているところはない」に対して6割を越える回答があった。また、「玄関と床・道路との段差」、「敷居など、廊下と部屋との段差」、「浴室」、「トイレ」などへの回答は、要支援・介護認定を受けている人の方が受けていない人に比べて割合が高く、差も大きい。

暮らし向き別では、「特に困ったり、不便を感じているところはない」は、家計にゆとりがある人ほど割合が高まっている。逆に、使いにくいところがあるとの回答は、いずれの場所についても、家計にゆとりがない世帯ほど割合が高くなっている。

図 6- 1 住居で使いにくいところ
N=4,315

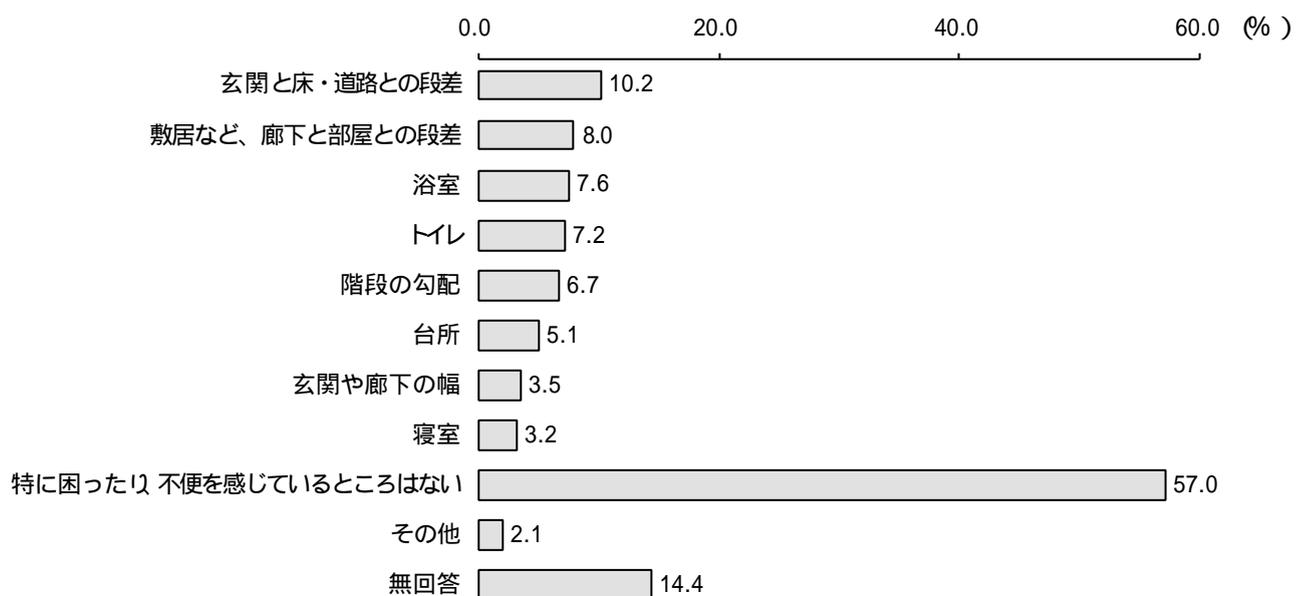


表6-1 住居で使いにくいところ

	総数	玄関と床 道路との 段差	玄関や廊 下の幅	階段の勾 配	敷居な ど、廊下と 部屋との 段差	トイレ	浴室	台所	寝室	特に困っ たり、不便 を感じて いるところ はない	その他	無回答
<全体> (実数) (構成比)	4,315	442 10.2	152 3.5	290 6.7	344 8.0	312 7.2	328 7.6	220 5.1	136 3.2	2,460 57.0	92 2.1	620 14.4
<性別>												
男性	1,590	9.3	4.8	6.8	7.2	7.6	7.9	5.0	3.1	58.9	2.2	13.0
女性	2,193	11.9	3.1	7.2	9.0	7.2	8.2	5.2	3.2	55.7	2.1	13.9
<年齢層別>												
65～69歳	1,129	7.1	4.0	6.1	5.4	5.9	7.1	6.8	3.3	63.3	2.5	9.8
70～74歳	1,112	8.6	3.7	7.1	7.4	7.8	6.7	6.4	3.2	56.8	1.9	15.5
75～79歳	912	11.1	4.3	8.0	8.4	6.3	6.8	4.5	3.3	56.9	1.6	15.0
80～84歳	577	12.7	2.9	7.1	10.4	8.5	9.4	2.8	3.3	52.3	2.3	16.8
85歳以上	401	19.5	2.2	4.2	12.7	10.7	13.0	2.2	3.0	50.4	2.2	14.2
前期高齢者	2,241	7.9	3.8	6.6	6.4	6.9	6.9	6.6	3.3	60.1	2.2	12.6
後期高齢者	1,890	13.3	3.4	6.9	9.9	7.9	8.9	3.5	3.2	54.1	2.0	15.4
<世帯類型別>												
単身世帯	298	13.8	2.7	6.0	7.4	6.7	10.7	5.7	2.0	51.3	3.7	16.1
夫婦のみ世帯	1,059	9.0	4.9	8.3	8.2	8.0	8.7	5.9	3.3	56.4	2.5	13.5
2世代同居世帯	1,095	12.1	3.8	8.4	9.0	7.2	8.7	5.7	3.7	54.5	1.6	14.7
3世代同居世帯	1,310	9.7	3.0	4.9	7.3	6.7	6.3	3.7	3.4	61.8	2.3	12.5
その他世帯	392	9.4	2.3	4.8	7.4	7.4	5.1	5.6	2.0	55.6	0.8	17.1
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>												
受けている	552	23.9	4.9	7.1	16.3	13.4	18.5	5.6	4.5	40.4	3.4	14.7
受けていない	3,390	8.2	3.4	6.8	6.7	6.5	6.1	5.3	3.1	60.9	2.0	12.6
<暮らし向き別>												
家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	424	5.4	1.4	4.2	4.2	3.3	3.8	2.6	1.9	68.9	1.9	14.2
家計にゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	2,246	9.2	3.1	6.5	6.7	5.4	6.3	4.1	2.6	61.5	2.1	13.6
家計にゆとりがなく、多少心配である	1,112	12.1	4.2	6.7	10.5	9.3	9.6	6.7	3.9	51.0	2.1	14.0
家計が苦しく、非常に心配である	325	18.5	8.0	12.9	12.6	19.1	16.0	9.5	6.8	37.5	2.5	14.2
わからない	48	10.4	-	2.1	12.5	4.2	4.2	4.2	2.1	43.8	2.1	33.3
その他	11	9.1	-	-	9.1	-	27.3	9.1	9.1	45.5	9.1	18.2

(2)住居の改修予定の有無 【SA】

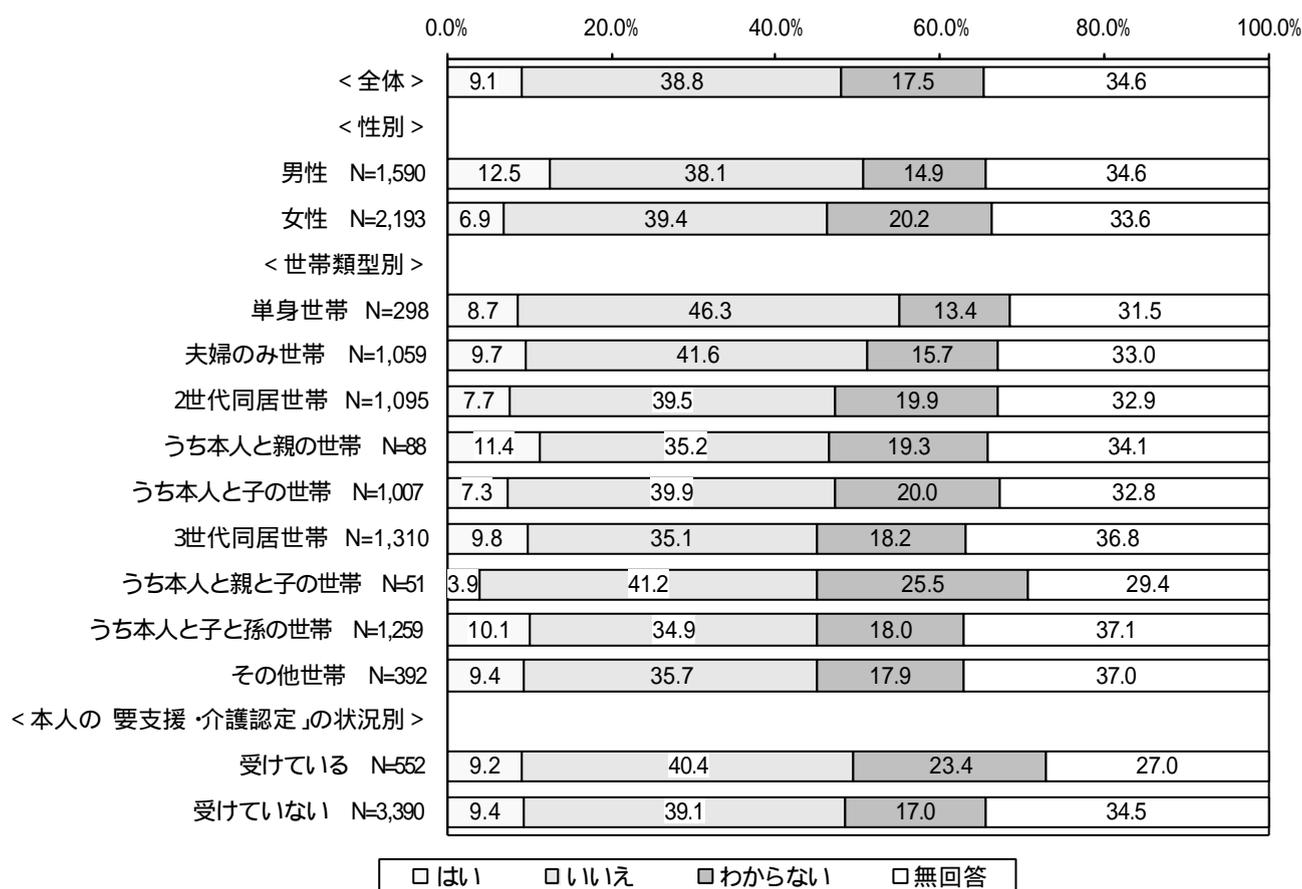
現在の住居で使いにくい部分の改修予定があるかどうか聞いたところ、「はい」が9.1%、「いいえ」が38.8%、「わからない」が17.5%となり、改修予定がない人が4割近くを占めた。

性別に見ると、男性の方が「はい」の割合が高く、12.5%と女性の倍近くであった。「わからない」は女性の方で多く、20.2%と男性を5ポイント以上上回った。

世帯類型別では、単身世帯で「いいえ」の割合が最も高く、46.3%となり、逆に3世代同居世帯では35.1%で最も低かった。2世代同居世帯、3世代同居世帯、その他世帯では、「わからない」が2割近く見られた。

2世代同居世帯の内訳を見ると、本人と親の世帯の方が、本人と子の世帯に比べ「はい」の割合が高くなっている。一方、3世代同居世帯の内訳を見ると、本人と親と子の世帯の方で「はい」の割合が低く、「いいえ」の割合が高くなっている。

図 6 - 2 住居の改修予定の有無
N=4,315



(3)改修予定のない理由 【SA】

現在の住居で使いにくい部分の改修予定があるかどうかについて、「いいえ」と回答した人に住宅の改修予定のない理由を聞いたところ、「改修費用がないため」が40.0%で最も割合が高く、「その他」が34.7%で続いた。改修予定のない理由としては、これら2つが大方を占めている。「その他」の内容としては、「不自由していない・満足しているから」、「新築したばかり」、「改修したばかり」などの回答が多く見られた。

性別に見ると、男性は「改修費用がないため」への回答が4割を越えており、女性の割合を上回っている。

福祉圏域別では、六日町、小出圏域で、「改修費用がないため」の割合が特に高かった。また、「持ち家でないため」は、全く回答がない圏域がある一方、新潟圏域では1割を超えているほか、新発田圏域でも8.5%見られた。

本人の「要支援・介護認定」の状況別では、要支援・介護認定を受けていない人は「改修費用がないため」の割合が最も高かったが、受けている人は「その他」への回答の方が多かった。

暮らし向き別では、家計にゆとりがない人ほど「改修費用がないため」と回答した割合が高くなっており、増加幅も大きい。また、「持ち家でないため」も徐々に上昇している。一方、「その他」への回答は家計にゆとりがある人の方で割合が高い。

図 6 - 3 改修予定のない理由

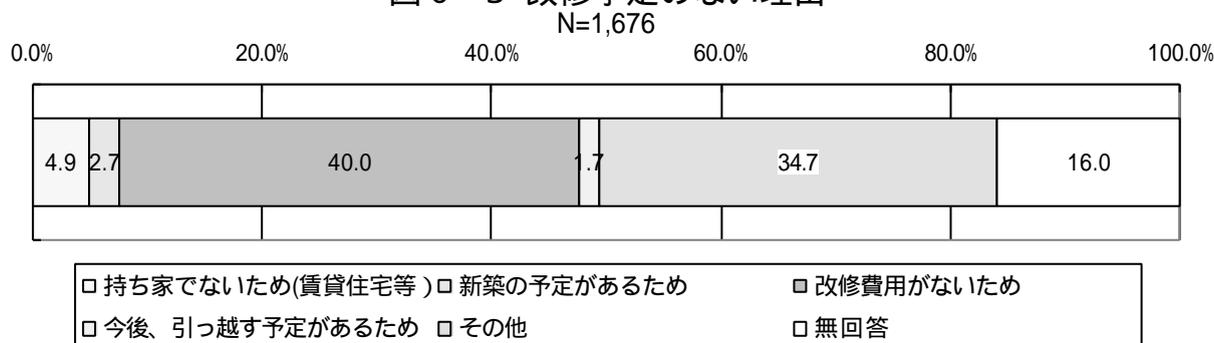


表6-2 改修予定のない理由

	総数	持ち家でないため(賃貸住宅等)	新築の予定があるため	改修費用がないため	今後、引越す予定があるため	その他	無回答
<全体> (実数) (構成比)	1,676	82 4.9	46 2.7	670 40.0	28 1.7	582 34.7	268 16.0
<性別>							
男性	605	5.0	2.3	42.6	1.8	35.9	12.4
女性	863	5.1	2.5	38.4	1.6	35.3	17.0
<福祉圏域別>							
村上圏域	45	2.2	2.2	35.6	2.2	44.4	13.3
新発田圏域	213	8.5	3.3	42.3	0.5	30.0	15.5
新津圏域	160	4.4	1.9	40.6	1.3	37.5	14.4
新潟圏域	321	10.9	3.4	34.9	1.9	34.0	15.0
巻・三条圏域	161	2.5	4.3	46.6	1.2	32.9	12.4
長岡圏域	174	2.9	4.0	35.6	1.7	40.2	15.5
小出圏域	63	-	-	50.8	3.2	31.7	14.3
六日町圏域	42	-	-	52.4	-	31.0	16.7
十日町圏域	93	1.1	3.2	38.7	1.1	39.8	16.1
柏崎圏域	84	-	-	39.3	3.6	36.9	20.2
上越圏域	159	6.3	2.5	43.4	1.3	32.1	14.5
糸魚川圏域	36	-	-	27.8	5.6	47.2	19.4
佐渡圏域	41	-	2.4	48.8	2.4	34.1	12.2
<本人の「要支援」「介護認定」の状況別>							
受けている	223	5.4	2.2	36.8	1.8	40.8	13.0
受けていない	1,326	4.4	2.7	41.1	1.7	35.1	14.9
<暮らし向き別>							
家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	156	3.2	7.1	4.5	2.6	53.2	29.5
家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	778	3.1	3.0	28.4	1.9	44.7	18.9
家計にゆとりがなく、多少心配である	491	5.9	1.6	61.1	1.2	21.6	8.6
家計が苦しく、非常に心配である	169	10.7	1.2	71.0	0.6	8.3	8.3
わからない	11	9.1	-	27.3	-	54.5	9.1
その他	7	42.9	-	-	-	57.1	-

7 痴呆症になった場合の生活

(1)痴呆症になった場合に必要ことから 【MA】

自分や家族が痴呆症になった場合、安心して暮らしていくために今後必要になることから聞いたところ、「緊急時や介護に疲れたときなどに短期間預かってくれる施設(日中も夜間も通して)」が51.8%で最も多く、「家族や親族の理解と協力」が41.3%、「日中預かってくれる施設」が39.1%、「介護を手伝ってくれるホームヘルパー」、「診断・治療をしてくれる医療機関」がそれぞれ34.1%で続いた。「特別養護老人ホームのような大きな施設」は26.1%となり、在宅支援型サービスの方で割合が高いものが多く見られた。

性別に見ると、男女間で大差は見られないものの、男性の方で「特別養護老人ホームのような～」、「経済的支援」などの割合が高い。逆に、「～短期間預かってくれる施設」、「家族や親族の理解と協力」、「介護を手伝ってくれるホームヘルパー」などは、女性の方で割合が高かった。

年齢層別に見ると、大方の項目で、年齢が低いほど割合が高くなっている。「～短期間預かってくれる施設」では、60歳代では61.6%の回答が見られたが、85歳以上になると43.6%となっている。

世帯類型別に見ると、単身世帯では、他の世帯類型に比べて、「将来、財産管理や生活面でサポートしてくれる人～」の割合は高かったものの、それ以外の項目では低くなっている。「～短期間預かってくれる施設」は、単身世帯以外では5割前後の回答が見られるが、なかでも3世代同居世帯は57.1%と最も多かった。また、「介護を手伝ってくれるホームヘルパー」は、夫婦のみ世帯で最も割合が高い。「家族や親族の理解と協力」は、3世代同居世帯で特に割合が高く、47.3%であった。

2世代同居世帯、3世代同居世帯の内訳を見ると、2世代同居世帯では、いずれの項目でも、本人と親の世帯での割合が本人と子の世帯を上回っており、特に「～短期間預かってくれる施設」、「経済的支援」、「特別養護老人ホームのような～」では、差が大きい。本人と親の世帯では、3世代同居世帯に比べても割合が高い項目が多く、特にニーズが高い様子がうかがえる。3世代同居世帯の内訳は、本人と親と子の世帯の方が本人と子と孫の世帯に比べて割合が低い項目が多い。「～ケアマネージャー」については、本人と親と子の世帯の方が10ポイント以上上回っている。

健康状態別では、「家族や親族の理解と協力」、「介護を手伝ってくれるホームヘルパー」、「悩みを聞いたり相談にのってくれる窓口」は、健康状態が良い人の方で割合が高い傾向にある。一方、「～寝たきりである」という人では回答する割合が低くなっているが、「特別養護老人ホームのような～」は他の状態の人よりも高い。

本人の「要支援・介護認定」の状況別では、要支援・介護認定を受けていない人の方が一般的に割合が高い傾向にあるが、「～短期間預かってくれる施設」、「介護を手伝ってくれるホームヘルパー」、「家族や親族の理解と協力」においては特に差が見られた。

家族の「要支援・介護認定」の状況別では、要支援・介護認定を受けている家族がいる人の方が、「～短期間預かってくれる施設」、「日中預かってくれる施設」、「～ケアマネージャー」、「特別養護老人ホームのような～」などで割合が高い。

本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別に比較すると、本人が要支援・介護認定を受けておらず家族が受けている人において、ほとんどの項目で割合が高くなっている。「～短期間預かってくれる施設」では68.8%に達している。

図 7 - 1 痴呆症になった場合に必要ことがら

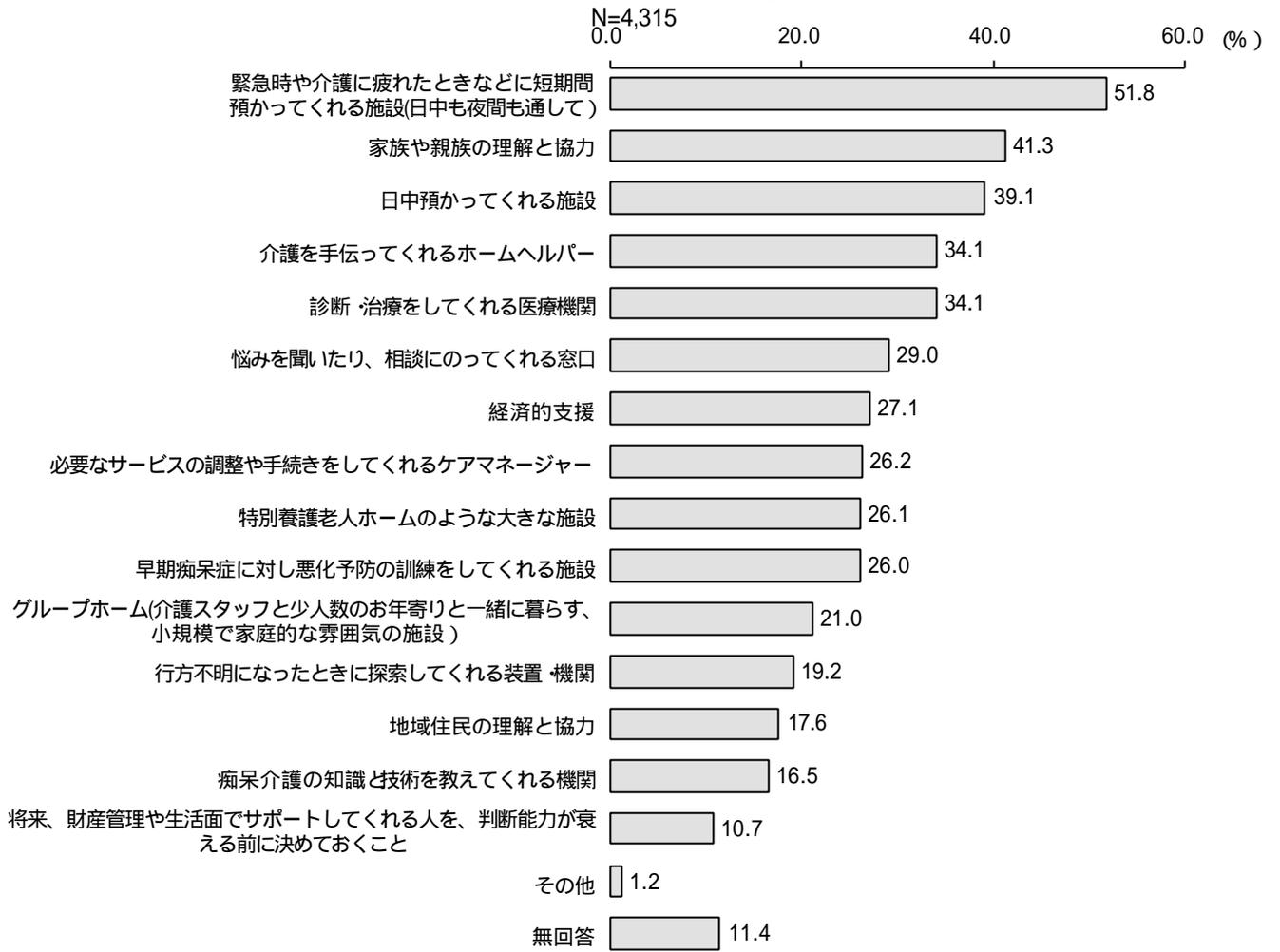


表7-1 痴呆症になった場合に必要ことから

	総数	日中預かってくれる施設	緊急時や介護に疲れたときなどに短期間預かってくれる施設(日中も夜間も通して)	介護を手伝ってくれるホームヘルパー	悩みを聞いたり、相談にのってくれる窓口	必要なサービスの調整や手続きをしてくれるケアマネジャー	診断 治療をしてくれる医療機関	グループホーム(介護スタッフと人数のお年寄りと一緒に暮らす、小規模で家庭的な雰囲気の施設)	特別養護老人ホームのような大きな施設
<全体> (実数、 構成比)	4,315	1,687 39.1	2,236 51.8	1,471 34.1	1,253 29.0	1,131 26.2	1,472 34.1	906 21.0	1,125 26.1
<性別>									
男性	1,590	39.8	51.9	33.3	27.5	26.1	35.0	19.2	28.9
女性	2,193	39.9	53.4	36.1	29.9	27.5	34.5	22.6	24.2
<年齢層別>									
65～69歳	1,129	40.7	61.6	40.5	34.0	34.9	39.0	26.4	26.0
70～74歳	1,112	38.3	52.3	35.6	30.1	24.6	34.0	20.0	27.8
75～79歳	912	39.0	51.6	33.0	28.5	22.1	34.3	20.5	26.2
80～84歳	577	37.4	41.4	28.9	23.9	22.0	32.1	17.3	24.6
85歳以上	401	40.1	43.6	24.2	18.7	21.2	24.4	15.5	25.4
前期高齢者	2,241	39.5	57.0	38.1	32.1	29.8	36.5	23.2	26.9
後期高齢者	1,890	38.8	46.8	29.9	25.0	21.9	31.5	18.5	25.6
<世帯類型別>									
単身世帯	298	29.5	29.2	31.9	24.2	24.5	27.2	20.5	22.8
夫婦のみ世帯	1,059	38.8	54.8	40.9	31.2	29.8	37.5	22.9	25.7
2世代同居世帯	1,095	41.2	52.0	32.0	29.6	24.6	32.7	20.6	27.2
うち本人と親の世帯	88	44.3	67.0	38.6	30.7	29.5	35.2	22.7	43.2
うち本人と子の世帯	1,007	40.9	50.6	31.4	29.5	24.1	32.5	20.5	25.8
3世代同居世帯	1,310	40.3	57.1	33.6	28.5	26.4	35.4	20.0	26.9
うち本人と親と子の世帯	51	27.5	58.8	23.5	19.6	37.3	27.5	17.6	31.4
うち本人と子と孫の世帯	1,259	40.8	57.0	34.0	28.8	26.0	35.7	20.1	26.8
その他世帯	392	37.2	45.9	27.0	24.5	21.9	29.6	19.4	24.7
<福祉圏域別>									
村上圏域	158	42.4	51.3	33.5	30.4	22.8	27.2	19.6	17.1
新発田圏域	523	39.8	53.0	31.9	29.6	25.4	36.1	20.7	30.2
新津圏域	409	40.1	50.1	31.8	28.1	24.2	36.2	19.3	24.0
新潟圏域	721	43.0	54.5	38.6	33.6	30.8	39.0	22.3	30.7
巻・三条圏域	433	37.9	52.7	33.3	23.3	24.9	32.6	21.5	27.5
長岡圏域	451	40.4	53.9	31.9	28.6	27.3	30.8	19.7	21.5
小出圏域	173	33.5	53.8	34.1	26.0	24.3	31.2	20.8	29.5
六日町圏域	128	42.2	46.9	36.7	25.8	25.0	39.8	16.4	19.5
十日町圏域	230	36.5	45.2	30.9	26.1	22.2	37.4	20.0	25.2
柏崎圏域	214	42.1	52.8	37.4	29.4	26.6	32.2	20.6	25.7
上越圏域	425	32.7	53.9	36.7	29.9	28.7	30.4	23.5	27.5
糸魚川圏域	95	37.9	56.8	29.5	27.4	23.2	28.4	24.2	18.9
佐渡圏域	135	38.5	51.9	36.3	25.2	27.4	31.9	23.7	23.0
<健康状態別>									
	219	41.1	49.8	38.8	27.4	23.7	30.1	22.8	28.3
	1,947	38.2	52.9	33.6	29.4	26.3	34.5	21.7	25.7
	1,325	42.3	55.1	37.5	32.2	28.0	37.7	22.7	25.7
	355	40.3	47.9	29.0	23.7	27.3	30.1	15.5	24.8
	128	33.6	46.9	30.5	21.9	25.8	29.7	18.8	31.3
	78	38.5	44.9	17.9	15.4	24.4	24.4	14.1	39.7
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>									
受けている	552	37.9	44.9	28.6	25.0	27.5	29.9	17.9	29.3
受けていない	3,390	40.7	54.7	36.0	30.5	26.9	36.1	22.0	26.3
<家族の「要支援・介護認定」の状況別>									
受けている	517	44.9	57.4	33.7	29.8	33.7	33.7	18.4	34.0
受けていない	3,358	39.6	52.8	35.3	29.8	25.8	35.5	21.8	25.7
<本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別>									
本人：受けている	225	40.4	44.9	25.3	27.6	24.4	30.2	17.3	32.0
家族：受けている	268	38.1	47.0	30.2	22.8	31.7	29.5	17.9	29.5
本人：受けていない	276	49.3	68.8	40.2	32.2	42.0	37.0	19.6	36.2
家族：受けていない	3,054	39.9	53.7	35.9	30.5	25.6	36.2	22.3	25.5

	経済的支援	将来、財産管理や生活面でサポートしてくれる人を、判断能力が衰える前に決めておくこと	痴呆介護の知識と技術を教えてくれる機関	家族や親族の理解と協力	地域住民の理解と協力	早期痴呆症に対し悪化予防の訓練をしてくれる施設	行方不明になったときに探索してくれる装置・機関	その他	無回答
<全体> (実数) (構比)	1,169 27.1	463 10.7	710 16.5	1,782 41.3	760 17.6	1,121 26.0	830 19.2	52 1.2	491 11.4
<性別>									
男性	29.5	9.7	17.8	40.2	18.0	23.8	17.0	1.1	11.2
女性	26.6	11.7	16.1	43.5	18.1	27.9	21.5	1.1	10.5
<年齢層別>									
65～69歳	33.7	12.8	20.3	45.2	20.6	32.1	22.8	0.1	6.0
70～74歳	28.0	11.5	16.2	42.3	17.9	28.2	19.2	1.0	10.6
75～79歳	23.5	10.6	16.7	39.7	17.7	24.0	19.2	0.9	13.2
80～84歳	22.9	8.0	14.7	39.2	15.9	20.5	17.3	3.1	15.9
85歳以上	22.2	6.0	9.5	36.4	12.0	15.5	13.5	3.0	15.2
前期高齢者	30.8	12.1	18.3	43.7	19.3	30.2	21.0	0.5	8.3
後期高齢者	23.0	8.8	14.6	38.8	15.9	21.1	17.4	2.0	14.4
<世帯類型別>									
単身世帯	19.1	16.1	7.0	27.5	13.8	15.4	12.8	4.0	17.1
夫婦のみ世帯	26.8	14.3	20.0	38.5	20.0	26.1	21.1	0.4	10.2
2世代同居世帯	30.6	9.1	16.1	40.7	16.3	26.2	16.8	1.0	12.1
うち本人と親の世帯	44.3	12.5	17.0	45.5	21.6	33.0	22.7	-	6.8
うち本人と子の世帯	29.4	8.8	16.0	40.3	15.8	25.6	16.3	1.1	12.5
3世代同居世帯	27.3	7.3	16.3	47.3	18.8	28.5	22.1	1.3	9.7
うち本人と親と子の世帯	29.4	17.6	9.8	45.1	11.8	29.4	15.7	-	7.8
うち本人と子と孫の世帯	27.2	6.8	16.6	47.3	19.1	28.4	22.4	1.4	9.8
その他世帯	25.5	11.0	15.1	42.3	16.3	23.7	16.8	1.8	12.8
<福祉圏域別>									
村上圏域	24.1	8.9	17.7	43.0	19.0	31.0	19.0	-	10.8
新発田圏域	31.9	8.8	16.1	47.0	20.1	24.7	21.4	1.1	8.6
新津圏域	26.7	9.3	14.9	40.6	16.4	23.7	19.6	2.2	11.0
新潟圏域	29.4	14.1	19.8	39.9	16.8	27.6	24.7	1.4	10.4
巻・三奈圏域	25.6	8.5	15.7	44.6	16.4	24.0	18.5	1.2	11.8
長岡圏域	27.5	12.6	15.7	38.6	15.3	25.7	18.8	1.1	12.0
小出圏域	24.3	6.9	13.9	39.3	15.0	20.8	17.3	0.6	13.9
六日町圏域	30.5	10.2	19.5	42.2	19.5	35.9	14.8	0.8	15.6
十日町圏域	26.5	10.4	15.7	43.5	19.1	27.8	18.7	0.4	13.5
柏崎圏域	26.2	9.3	18.2	41.1	16.8	25.7	15.4	1.9	10.7
上越圏域	24.9	10.4	15.1	39.1	20.2	24.9	16.0	1.6	10.6
糸魚川圏域	27.4	13.7	12.6	44.2	14.7	23.2	15.8	-	10.5
佐渡圏域	25.9	15.6	18.5	39.3	27.4	28.9	20.0	0.7	7.4
<健康状態別>									
	20.1	8.7	14.2	41.1	16.4	24.2	19.2	2.3	10.5
	26.9	11.0	16.8	42.9	18.9	27.6	18.4	1.0	10.3
	30.7	12.1	17.8	42.2	17.7	27.5	21.2	0.9	10.0
	23.9	8.2	12.4	38.3	14.1	17.7	19.2	1.4	12.7
	29.7	13.3	16.4	35.2	14.8	25.0	16.4	3.9	10.9
	25.6	1.3	9.0	32.1	11.5	12.8	16.7	7.7	14.1
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>									
受けている	23.9	8.7	14.9	35.1	15.4	19.9	15.9	3.4	12.9
受けていない	28.6	11.3	17.4	43.5	18.4	27.9	20.2	0.9	9.3
<家族の「要支援・介護認定」の状況別>									
受けている	29.8	11.2	18.4	40.2	17.0	28.0	18.2	1.7	9.5
受けていない	27.8	10.8	17.0	42.7	18.1	26.5	19.7	1.1	9.6
<本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別>									
本人：受けている	22.7	8.9	15.6	34.2	12.4	23.6	14.2	2.7	12.0
本人：受けている	26.1	7.1	14.6	36.2	17.5	15.3	17.2	4.1	10.8
本人：受けていない	35.9	12.7	21.0	46.7	21.7	32.2	22.1	1.1	6.9
本人：受けていない	28.1	11.3	17.4	43.5	18.3	27.6	20.0	0.8	9.3

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人でできる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

8 介護を受けたい場所

(1)介護が必要となった場合、介護を受けたい場所 【MA】

今後介護が必要となった場合、介護を受けたい場所を聞いたところ、「自宅で」が最も多く、52.5%であった。次いで、「ケアハウスで(低料金で、食事や入浴などのサービスを受けられる高齢者用の集合住宅)」が35.8%、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」が34.4%で続いた。

性別に見ると、女性に比べ男性の方が「自宅で」と回答する割合が高く、57.4%であったが、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」においても、男性の方で割合が高かった。

年齢層別に見ると、「ケアハウスで」、「グループホームで」は年齢層の低い方で割合が高く、年齢とともに低下している。「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」はいずれの年齢層においても3割以上の回答が見られるが、特に60歳代と85歳以上で割合が高かった。

配偶者の有無別に見ると、「自宅で」との回答は、配偶者がいる人の方で割合が高い。さらに、「ケアハウスで」、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」、「グループホームで」など施設への回答も配偶者がいる人の方で割合が高くなっている。

世帯類型別に見ると、「自宅で」と回答した割合は、3世代同居世帯において58.4%と最も高く、単身世帯において36.2%と最も低かった。

2世代同居世帯の内訳を見ると、「ケアハウスで」、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」など施設への回答は、いずれも本人と親の世帯の方で、本人と子の世帯を上回った。また、3世代同居世帯においても、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」に対して、本人と親と子の世帯の方が本人と子と孫の世帯より割合が高くなっている。

健康状態別に見ると、「～外出は一人でできない」、「～日中もベッドの上での生活が主体である」人は、「自宅で」の割合が高い。「ケアハウスで」、「グループホームで」、「有料老人ホームで」は健康状態が良好な人ほど割合が高く、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」は健康状態が良くない人の方で割合が高い傾向にある。

本人の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、いずれも「自宅で」の割合が高いが、要支援・介護認定を受けていない人の方で、より高くなっている。同様に、「ケアハウスで」、「グループホームで」もを受けていない人の方が割合が高い。逆に、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」は、要支援・介護認定を受けている人の方で割合が高くなっている。

家族の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、「自宅で」は家族が要支援・介護認定を受けていない人の方が割合が高く、57.2%であった。逆に、「ケアハウスで」、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」などは、家族が要支援・介護認定を受けている人の方が割合が高くなっている。

本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別に比較すると、本人も家族も要支援・介護認定を受けていない場合、ほかの状況に比べ「自宅で」と回答する割合が最も高くなっている一方、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」は、最も割合が低くなっている。本人が要支援・介護認定を受けておらず、家族が受けている場合では、他の状況の人たちと比べ、「自宅で」の割合が低く、「ケアハウスで」、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」、「グループホームで」など施設の割合が高くなっている。

暮らし向き別に見ると、「自宅で」、「有料老人ホームで」の割合は、家計にゆとりがある方で高い傾向にある。一方、「ケアハウスで」は家計にゆとりがない、あるいは家計が苦しい人で4割前後となり、高くなっている。「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」はいずれも3割程度の回答が見られたが、家計にゆとりがないという人は37.2%となり、最も割合が高かった。

日常生活に感じる不便により比較すると、いずれも「自宅で」と回答した割合が最も高く、概ね5割超であったが、不自由に感じるものが「特になし」人は55.2%と最も高かった。また、不自由に感じるものが「特になし」人は、施設で介護を受けたいと考える割合がほかに比べて低い。

自宅での生活の継続に必要な支援（P66～68参照）により比較すると、「介護をしてくれる家族がいること」と考える人においては、「自宅で」介護を受けたいとする割合が高く、70.6%であった。また、「自宅を改修するための資金提供を受けられること」と考えている人も、「自宅で」が63.4%と高かった。一方、自宅での生活の継続には「夜間の介護を安心して任せられるサービスを受けられること」と考える人については、施設で介護を受けたいと考える割合が高い。

介護保険制度の理解度（P69～70参照）により比較すると、理解度が高いほど「自宅で」介護を受けたいとする割合が高く、介護保険制度を「わかる」と回答した人は、62.0%が「自宅で」と回答した。また、介護保険制度を「わからない」とした人は、「自宅で」の割合が低かったほか、施設でと回答した割合も低い傾向にある。

自宅での介護保険サービスの利用状況（P72参照）により比較すると、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」は、サービスを利用している人の方で割合が高かったが、「自宅で」、「ケアハウスで」、「グループホームで」においては、利用していない人の方が高かった。

自宅での介護保険サービスの満足度（P73参照）により比較すると、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」はサービスに満足している人の方で割合が高いが、「自宅で」、「ケアハウスで」などについては、逆に満足していない人の方で割合が高くなっている。

「特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」介護を受けたいと回答した人がほかに何を選んだかという結果を見てみると、「自宅で」と回答する人は4割程度見られたが、全体における割合に比べて低く、「ケアハウスで」や「有料老人ホームで」を選択した割合は高くなっている。

図 8-1 介護が必要となった場合、介護を受けたい場所

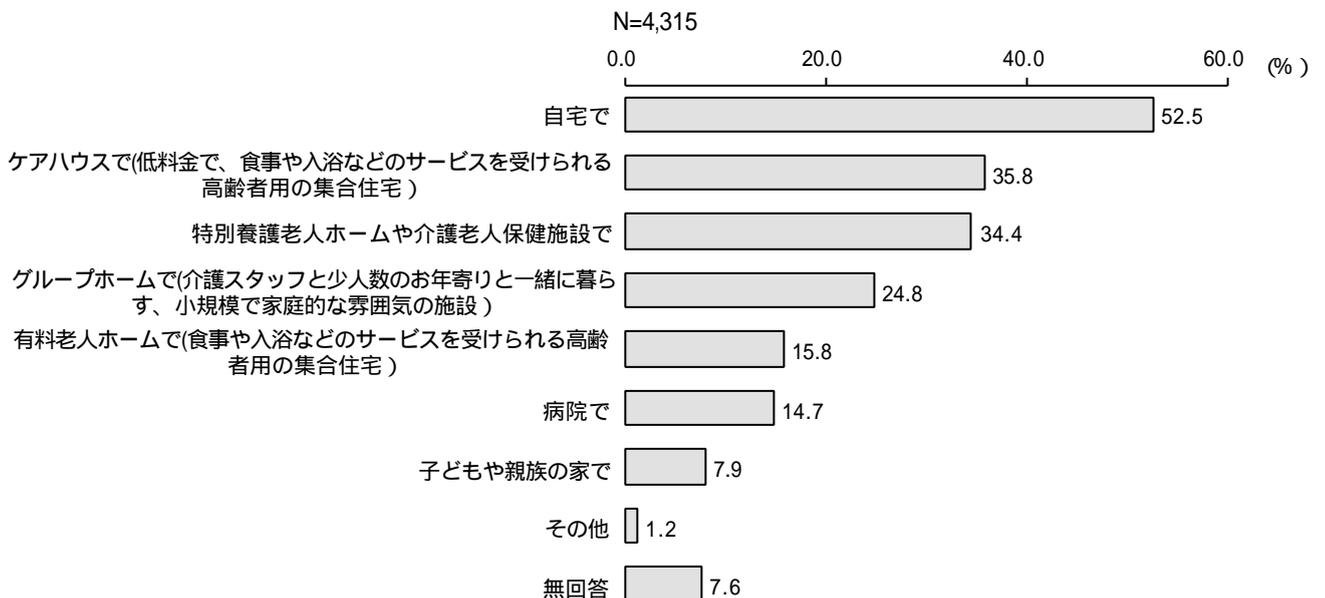


表8-1 介護が必要となった場合、介護を受けたい場所

	総数	自宅で	子どもや親族の家で	有料老人ホームで(食事や入浴などのサービスを受けられる高齢者用の集合住宅)	ケアハウスで(低料金で、食事や入浴などのサービスを受けられる高齢者用の集合住宅)	グループホームで(介護スタッフと少人数のお年寄りと一緒に暮らす、小規模で家庭的な雰囲気施設)	特別養護老人ホームや介護老人保健施設で	病院で	その他	無回答
<全体> (実数) (構成比)	4,315	2,266 52.5	340 7.9	683 15.8	1,544 35.8	1,072 24.8	1,483 34.4	636 14.7	51 1.2	326 7.6
<性別>										
男性	1,590	57.4	7.5	15.8	36.9	23.8	37.5	15.7	1.2	6.0
女性	2,193	50.1	8.3	15.4	35.2	25.9	32.4	14.8	1.1	7.3
<年齢層別>										
65～69歳	1,129	53.0	8.1	16.0	43.2	32.1	37.5	13.3	1.0	3.8
70～74歳	1,112	51.5	7.7	16.9	38.8	24.5	33.2	16.0	1.3	8.1
75～79歳	912	52.4	8.4	17.8	30.8	24.2	34.3	15.8	1.5	6.9
80～84歳	577	55.6	6.4	13.2	29.5	21.7	30.7	14.9	1.0	9.9
85歳以上	401	54.4	9.0	10.0	25.9	11.7	37.9	13.5	1.0	10.2
前期高齢者	2,241	52.3	7.9	16.5	41.0	28.3	35.3	14.6	1.1	5.9
後期高齢者	1,890	53.8	7.9	14.7	29.4	20.8	34.0	15.0	1.3	8.5
<配偶者の有無別>										
配偶者あり	2,571	55.5	7.1	16.3	38.7	26.4	36.3	15.4	1.0	5.3
配偶者なし	1,591	48.6	9.2	14.3	31.2	21.9	31.7	13.8	1.5	10.4
<世帯類型別>										
単身世帯	298	36.2	11.4	16.4	33.9	23.8	34.6	16.1	2.0	10.1
夫婦のみ世帯	1,059	52.5	7.9	18.2	37.2	26.5	35.8	16.1	1.0	5.1
2世代同居世帯	1,095	52.9	7.2	13.4	34.5	25.4	34.8	13.5	1.1	7.8
うち本人と親の世帯	88	52.3	6.8	25.0	44.3	31.8	47.7	12.5	1.1	6.8
うち本人と子の世帯	1,007	52.9	7.2	12.4	33.7	24.8	33.7	13.6	1.1	7.8
3世代同居世帯	1,310	58.4	8.5	14.8	35.8	23.7	33.6	16.0	0.9	7.0
うち本人と親と子の世帯	51	56.9	2.0	9.8	35.3	23.5	43.1	13.7	3.9	5.9
うち本人と子と孫の世帯	1,259	58.5	8.7	15.0	35.8	23.7	33.2	16.0	0.8	7.1
その他世帯	392	48.5	5.4	16.3	36.5	21.7	33.4	10.7	2.0	10.5
<健康状態別>										
	219	53.0	6.4	21.0	34.2	25.1	33.3	15.1	2.3	3.7
	1,947	53.3	8.2	16.3	37.1	26.1	33.3	13.3	1.1	6.5
	1,325	52.6	7.9	16.2	38.9	27.5	37.4	16.8	0.8	6.2
	355	56.3	8.5	11.3	27.9	17.2	31.3	19.2	1.1	8.2
	128	56.3	8.6	9.4	23.4	16.4	39.8	13.3	2.3	11.7
	78	44.9	7.7	7.7	28.2	10.3	48.7	9.0	5.1	9.0
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>										
受けている	552	51.4	8.3	16.1	32.2	17.9	40.4	16.3	1.6	4.9
受けていない	3,390	56.4	8.5	16.8	38.6	27.4	36.0	15.5	1.2	2.1
<家族の「要支援・介護認定」の状況別>										
受けている	517	49.5	7.2	20.7	40.2	23.2	43.1	15.3	1.5	3.1
受けていない	3,358	57.2	8.5	16.1	37.6	26.7	35.6	15.6	1.2	2.3
<本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別>										
本人：受けている	225	52.0	7.1	20.4	33.3	16.4	39.1	16.4	1.3	4.4
家族：受けている	268	53.0	9.3	12.7	32.1	19.0	42.9	15.7	2.2	4.1
本人：受けていない	276	47.1	7.6	21.0	46.0	28.6	47.1	14.5	1.8	1.4
家族：受けていない	3,054	57.7	8.4	16.4	38.1	27.4	35.1	15.7	1.1	2.0
<暮らし向き別>										
家族にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	424	58.0	9.2	24.3	23.1	21.9	29.5	14.2	1.4	5.2
家族にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	2,246	53.4	7.7	16.6	35.7	25.8	34.3	14.0	1.2	6.9
家族にゆとりがなく、多少心配である	1,112	52.2	7.3	12.2	40.7	24.4	37.2	16.1	0.6	7.0
家計が苦しく、非常に心配である	325	49.8	9.2	10.8	39.4	25.8	33.5	16.6	2.2	8.6
わからない	48	25.0	10.4	8.3	20.8	14.6	27.1	12.5	4.2	29.2
その他	11	27.3	-	-	27.3	-	72.7	45.5	-	-
<日常生活に感じる不便感別>										
食事づくりが面倒	495	54.7	9.9	21.2	36.4	22.4	38.6	16.2	1.2	7.1
日常の買い物が大変	505	54.7	8.5	18.4	37.0	25.0	38.8	18.0	1.0	5.9
病院や理美容などへ出かけるのが困難 不便	506	54.5	8.1	14.2	31.6	20.6	36.8	19.2	0.8	7.5
ふとんのクリーニングや乾燥が大変	320	49.7	7.8	19.7	41.9	30.0	40.6	18.8	1.9	5.3
家の管理(庭の手入れ、簡単な修理、雪おろしなど)が大変	919	51.0	9.5	19.3	40.6	29.2	38.4	15.5	0.9	7.2
日常の金銭管理や役所などでの手続きが大変	312	54.8	10.3	19.2	40.1	26.0	40.1	16.3	1.0	6.1
いろいろな相談をする人や窓口が身近にない	301	51.8	11.6	20.6	49.8	28.2	35.9	15.0	0.3	8.6
お茶を飲んだり、おしゃべりをするなど、気軽に話しかけて楽しめるところが身近にない	483	53.0	10.8	20.1	44.7	29.4	36.6	14.9	1.0	6.8
特になし	1,648	55.2	6.8	14.5	34.2	24.4	35.2	13.8	1.0	5.2
その他	126	50.8	9.5	15.1	27.0	21.4	38.9	11.9	5.6	7.9

	総数	自宅で	子どもや親族の家で	有料老人ホームで(食事や入浴などのサービスを受けられる高齢者用の集合住宅)	ケアハウスで(低料金の食事や入浴などのサービスを受けられる高齢者用の集合住宅)	グループホームで(介護スタッフと少人数のお年寄りと一緒に暮らす、小規模で家庭的な雰囲気の施設)	特別養護老人ホームや介護老人保健施設で	病院で	その他	無回答
<自宅での生活の継続に必要な支援別>										
ショートステイやデイサービスなどの介護サービスを必要とときに使えること	1,969	60.5	9.2	19.6	44.0	30.4	42.0	14.2	1.0	0.7
要介護度によって決められている金額を気にせず、必要な分だけ介護サービスを受けられること	1,824	55.7	9.6	21.5	44.8	33.2	41.6	15.9	1.1	0.7
通院などの際、送迎サービスを受けられること	1,867	56.7	9.7	20.5	44.8	31.8	41.4	19.0	1.1	0.7
夜間の介護を安心して任せられるサービスを受けられること	1,381	54.7	9.7	23.5	49.7	37.7	46.3	18.9	0.9	0.5
介護してくれる家族がいること	1,623	70.6	13.1	16.5	36.0	27.0	34.1	16.7	0.8	0.7
自宅を改修するための資金提供を受けられること	662	63.4	10.6	16.8	47.1	33.8	39.4	19.5	1.2	0.6
その他	36	38.9	8.3	13.9	16.7	11.1	38.9	8.3	19.4	-
<介護保険制度の理解度別>										
わかる	237	62.0	10.1	20.3	28.7	24.9	38.0	13.9	2.1	1.3
だいたいわかる	1,447	56.7	7.7	17.3	41.4	26.4	41.2	13.8	0.8	1.4
あまりわからない	1,241	55.8	9.0	17.6	39.9	29.4	37.2	18.0	1.5	1.5
わからない	667	52.2	9.0	13.9	33.3	21.4	30.6	15.3	1.8	4.0
<自宅での介護保険サービスの利用状況別>										
利用している	450	52.4	8.9	16.2	34.0	20.0	40.9	12.9	1.6	8.2
利用していない	3,378	54.2	8.1	16.0	37.4	26.5	35.0	15.5	1.1	5.1
<自宅での介護保険サービスの満足度別>										
満足している	338	51.2	8.6	17.5	33.7	20.1	43.5	11.5	1.8	8.3
満足していない	93	57.0	9.7	12.9	36.6	21.5	36.6	18.3	-	4.3
<特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたい人のみ>										
特別養護老人ホームや介護老人保健施設で	1,483	39.8	5.2	22.6	44.3	24.9	100.0	17.2	0.6	-

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(2)特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたい理由 【MA】

特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたいという人にその理由を聞いたところ、「設備やサービスが充実していそうだから」が60.2%で最も多く、「家にいると家族に迷惑がかかるから」が52.3%、「いざというとき安心だから」が51.8%で続いた。

性別に見ると、「設備やサービスが充実していそうだから」は、男性が65.6%となり女性を10ポイント上回っているほか、「いざというとき安心だから」、「金銭的負担が少ないと思うから」についても男性が女性を上回っている。一方、女性は「家にいると家族に迷惑がかかるから」、「在宅では介護してくれる人がいないから」の割合が男性に比べて高い。

年齢層別に見ると、「家にいると家族に迷惑がかかるから」は、60歳代、70歳代の方で割合が高い。

配偶者の有無別に見ると、「設備やサービスが充実していそうだから」は、配偶者がいる人では63.6%となり、いない人を10ポイント近く上回った。「いざというとき安心だから」、「金銭的負担が少ないと思うから」などでも、配偶者がいる人の方で割合が高かった。

世帯類型別に見ると、「設備やサービスが充実していそうだから」はいずれの世帯でも回答が多かったが、特に3世代同居世帯で割合が高かった。単身世帯では「在宅では介護してくれる人がいないから」が、その他世帯では「家にいると家族に迷惑がかかるから」が、それぞれほかの世帯に比べて高かった。一方、3世代同居世帯では、「在宅では介護してくれる人がいないから」の割合が、ほかの世帯に比べて低かった。

2世代同居世帯の内訳を見ると、「いざというとき安心だから」、「在宅では介護してくれる人がいないから」などで本人と親の世帯での割合が高い。また、3世代同居世帯では、「設備やサービスが充実していそうだから」、「家にいると家族に迷惑がかかるから」の割合が、本人と子と孫の世帯で高くなっている。一方、「在宅では介護してくれる人がいないから」は、本人と子と孫の世帯で割合が低い。

本人の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、「設備やサービスが充実していそうだから」、「家にいると家族に迷惑がかかるから」、「いざというとき安心だから」は、要支援・介護認定を受けていない人の方が割合が高かった。

家族の「要支援・介護認定」の状況別に見ても、同様の傾向が見られた。

本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別に比較すると、本人も家族も要支援・介護認定を受けていない場合、「設備やサービスが充実していそうだから」、「家にいると家族に迷惑がかかるから」の割合がほかに比べて高く、本人は受けていないが家族が受けている場合になると、「いざというとき安心だから」や「在宅では介護してくれる人がいないから」の割合が高くなっている。一方、本人、家族とも要支援・介護認定を受けている場合は、「家にいると家族に迷惑がかかるから」への回答が多く見られている。

暮らし向き別に比較すると、家計にゆとりがある人ほど「設備やサービスが充実していそうだから」、「いざというとき安心だから」の割合が高く、逆に家計にゆとりがないとする人は「家にいると家族に迷惑がかかるから」、「金銭的負担が少ないと思うから」、「在宅では介護してくれる人がいないから」へ回答する割合が高まる傾向にある。

自宅での介護保険サービスの利用状況により比較すると、「設備やサービスが充実していそうだから」、「家にいると家族に迷惑がかかるから」、「金銭的負担が少ないと思うから」などにおいて、利用していない人の方で割合が高かった。

図 8 - 2 特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたい理由

N=1,483

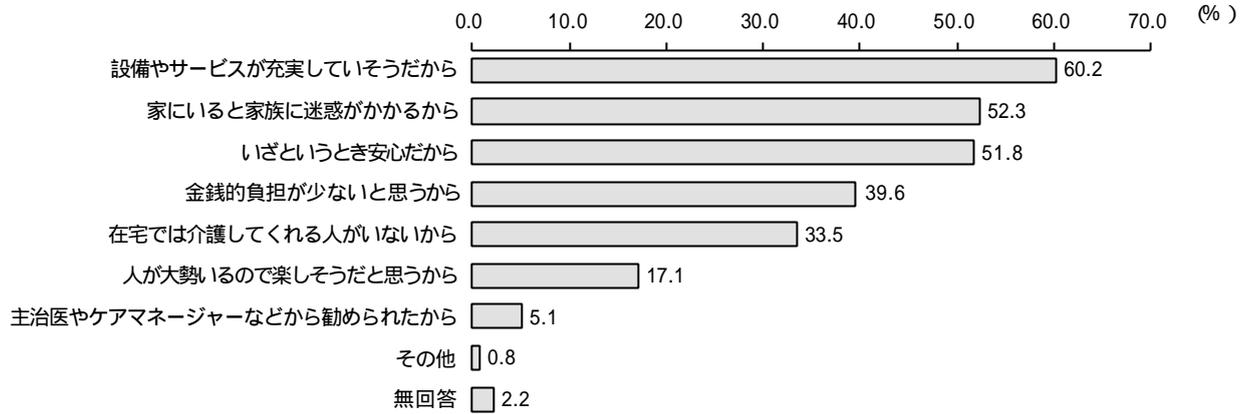


表 8 - 2 特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたい理由

	総数	設備やサービスが充実しているから	在宅では介護してくれる人がいないから	家にいると家族に迷惑がかかるから	いざというとき安心だから	金銭的負担が少ないと思うから	主治医やケアマネージャーなどから勧められたから	人が大勢いるので楽しそうだと思うから	その他	無回答
<全体> (実数)	1,483	893	497	776	768	588	75	253	12	32
(構成比)		60.2	33.5	52.3	51.8	39.6	5.1	17.1	0.8	2.2
<性別>										
男性	596	65.6	30.0	51.2	53.4	42.6	5.4	15.9	0.7	1.2
女性	710	55.5	37.2	53.8	50.8	36.6	4.9	17.0	1.1	2.8
<年齢層別>										
65～69歳	423	60.0	34.0	56.7	53.4	40.7	5.2	14.9	0.2	2.1
70～74歳	369	60.7	31.7	51.5	52.0	39.8	3.8	19.0	0.5	2.4
75～79歳	313	58.5	36.4	54.0	51.8	41.2	5.1	16.0	0.6	2.9
80～84歳	177	62.7	32.2	49.2	53.1	39.5	7.3	16.4	2.8	1.7
85歳以上	152	59.2	32.9	42.8	45.4	31.6	5.9	17.1	1.3	0.7
前期高齢者	792	60.4	33.0	54.3	52.8	40.3	4.5	16.8	0.4	2.3
後期高齢者	642	59.8	34.4	50.0	50.6	38.5	5.9	16.4	1.4	2.0
<配偶者の有無別>										
配偶者あり	933	63.6	32.2	52.6	55.1	42.8	5.3	16.1	0.4	1.5
配偶者なし	505	54.3	36.4	51.9	46.3	33.9	4.6	17.4	1.6	2.8
<世帯類型別>										
単身世帯	103	50.5	68.0	30.1	49.5	39.8	1.0	14.6	1.9	1.9
夫婦のみ世帯	379	61.5	42.0	42.7	57.5	43.3	2.9	16.6	-	1.1
2世代同居世帯	381	59.6	35.7	55.4	54.3	42.8	5.5	16.5	1.3	2.4
うち本人と親の世帯	42	61.9	57.1	54.8	61.9	35.7	7.1	11.9	-	-
うち本人と子の世帯	339	59.3	33.0	55.5	53.4	43.7	5.3	17.1	1.5	2.7
3世代同居世帯	440	64.1	19.1	59.3	47.7	36.4	6.1	16.6	0.9	3.0
うち本人と親と子の世帯	22	45.5	31.8	45.5	50.0	50.0	-	13.6	-	13.6
うち本人と子と孫の世帯	418	65.1	18.4	60.0	47.6	35.6	6.5	16.7	1.0	2.4
その他世帯	131	54.2	25.2	66.4	45.0	30.5	9.2	17.6	0.8	-
<本人の「要支援 介護認定」の状況別>										
受けている	223	53.8	36.3	48.4	47.1	30.9	7.2	16.1	2.7	2.2
受けていない	1,222	61.6	33.3	53.4	53.1	41.6	4.6	17.3	0.5	1.9
<家族の「要支援 介護認定」の状況別>										
受けている	223	57.0	40.4	49.8	51.6	38.1	9.4	19.3	1.3	1.8
受けていない	1,197	61.3	32.3	53.5	52.0	40.0	4.0	16.6	0.8	1.9
<本人と家族の「要支援 介護認定」の状況別>										
本人 受けている	88	54.5	35.2	52.3	45.5	34.1	8.0	18.2	2.3	2.3
家族: 受けている	115	53.9	35.7	47.0	47.8	27.8	4.3	12.2	3.5	2.6
本人 受けていない	130	59.2	44.6	48.5	56.9	42.3	10.8	19.2	0.8	1.5
家族: 受けていない	1,072	62.1	32.1	54.3	52.7	41.4	3.9	17.2	0.5	1.8
<暮らし向き別>										
家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	125	71.2	32.8	52.0	52.0	29.6	5.6	11.2	0.8	-
家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	770	60.6	31.7	52.6	53.1	33.6	5.5	17.9	0.8	2.6
家計にゆとりがなく、多少心配である	414	59.9	34.8	50.2	49.5	47.8	3.9	15.7	1.0	1.4
家計が苦しく、非常に心配である	109	52.3	42.2	59.6	49.5	59.6	6.4	14.7	0.9	1.8
わからない	13	46.2	38.5	61.5	46.2	38.5	7.7	30.8	-	7.7
その他	8	12.5	87.5	25.0	62.5	75.0	-	-	-	-
<自宅での介護保険サービスの利用状況別>										
利用している	184	53.3	34.8	45.7	49.5	32.6	7.1	16.3	1.6	3.3
利用していない	1,183	61.6	33.7	53.8	52.7	41.5	4.1	17.1	0.7	1.4

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人でできる

病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分でできているが、外出は一人でできない

病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

(3)特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたくない理由 【MA】

特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたくないという人にその理由を聞いたところ、「住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから」が50.7%で最も多く、「金銭的な負担が大きいから」が28.7%、「人間関係がわずらわしいから」が18.7%で続いた。

性別に見ると、男性の方が「住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから」、「人間関係がわずらわしいから」、「規則に縛られるから」の割合がやや高くなっている。

世帯類型別に見ると、いずれの世帯でも「住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから」が最も多いが、3世代同居世帯で57.6%と最も割合が高かった。また、「金銭的な負担が大きいから」は、2世代同居世帯、3世代同居世帯で割合が高く、いずれも3割を越えた。

本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、「住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから」は、本人、家族とも要支援・介護認定を受けていない場合に最も割合が高く、57.4%となっている。逆に、本人、家族とも要支援・介護認定を受けている場合は割合が最も低く、51.8%であった。また、「金銭的な負担が大きいから」については、本人が受けておらず、家族のみが受けている場合に最も割合が高い。

暮らし向き別に見ると、家計にゆとりがある人ほど「住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから」と考える人が多い傾向にある。逆に、「金銭的な負担が大きいから」は家計にゆとりがない人ほど回答する割合が高まる。

自宅での介護保険サービスの利用状況別に比較すると、利用していない人の方で「住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから」、「人間関係がわずらわしいから」などを回答する割合が高い。

図 8 - 3 特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたくない理由

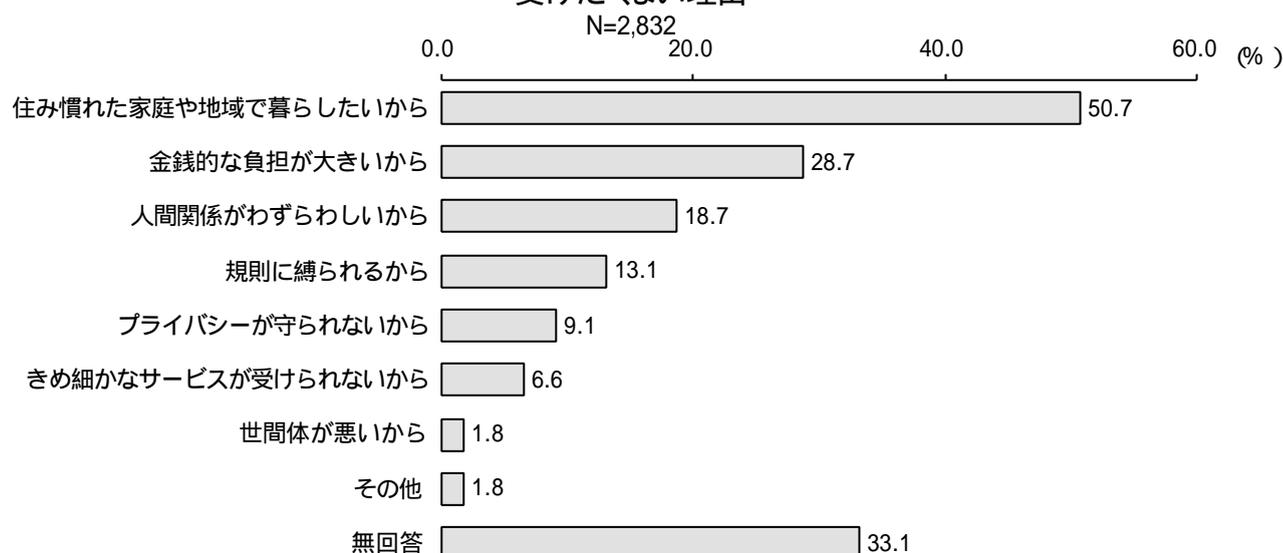


表 8 - 3 特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたくない理由

	総数	住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから	プライバシーが守られないから	規則に縛られるから	人間関係がわずらわしいから	きめ細かいサービスが受けられないから	金銭的な負担が大きいため	世間体が悪いから	その他	無回答
<全体> (実数) (構比)	2,832	1,436 50.7	258 9.1	372 13.1	529 18.7	188 6.6	814 28.7	51 1.8	51 1.8	938 33.1
<性別>										
男性	994	54.2	9.7	14.2	20.5	7.1	29.7	1.7	1.8	30.9
女性	1,483	51.0	9.7	12.4	18.6	6.6	29.5	1.9	1.8	32.2
<世帯類型別>										
単身世帯	195	39.5	11.3	9.2	17.4	8.2	20.5	-	2.1	41.5
夫婦のみ世帯	680	50.3	12.6	15.4	22.9	8.8	26.6	1.3	2.8	32.2
2世代同居世帯	714	49.4	8.4	12.6	18.1	7.7	32.4	1.8	1.7	32.5
3世代同居世帯	870	57.6	7.8	13.2	17.8	5.1	31.8	2.6	0.8	28.6
その他世帯	261	47.9	5.4	12.3	13.4	3.8	23.8	2.3	2.3	38.7
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>										
受けている	329	52.0	7.6	12.8	14.9	6.7	29.5	2.4	1.2	33.1
受けていない	2,168	56.7	10.6	14.9	21.5	7.5	32.1	1.8	2.1	25.2
<家族の「要支援・介護認定」の状況別>										
受けている	294	52.4	8.5	15.0	17.3	8.2	32.7	1.7	2.0	29.3
受けていない	2,161	57.0	10.4	14.6	21.4	7.4	31.5	1.9	1.9	25.5
<本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別>										
本人 受けている	137	51.8	5.8	12.4	14.6	5.1	29.9	0.7	1.5	34.3
家族：受けている	153	55.6	7.8	13.7	15.7	8.5	26.8	3.9	0.7	28.8
家族：受けていない	146	54.1	11.0	16.4	20.5	11.0	34.9	2.1	2.7	24.0
本人 受けていない	1,982	57.4	10.6	14.8	21.9	7.4	32.0	1.8	2.1	25.0
家族：受けている										
家族：受けていない										
<暮らし向き別>										
家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	299	57.5	10.7	14.7	19.4	10.4	8.0	2.3	1.3	32.4
家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	1,476	53.9	9.3	13.6	18.6	6.3	24.1	2.0	1.8	32.0
家計にゆとりがなく、多少心配である	698	47.4	9.3	11.6	19.6	6.6	41.5	1.6	1.6	32.5
家計が苦しく、非常に心配である	216	41.7	6.9	16.2	19.0	6.5	52.3	1.4	2.8	31.5
わからない	35	40.0	-	2.9	14.3	2.9	22.9	2.9	-	54.3
その他	3	33.3	-	-	33.3	-	100.0	-	-	-
<自宅での介護保険サービスの利用状況別>										
利用している	266	50.4	9.8	12.4	16.5	8.6	30.1	1.9	2.3	32.3
利用していない	2,195	54.0	10.1	14.4	20.8	7.2	30.3	1.8	1.9	29.2

9 自宅での生活の継続に必要な支援

(1)自宅での生活の継続に必要な支援 【MA】

自宅で暮らし続けるためにどのような支援があればいいか聞いたところ、「ショートステイやデイサービスなどの介護サービスを必要なときに使えること」が45.6%で最も多く、「通院などの際、送迎サービスを受けられること」が43.3%、「要介護度によって決められている金額を気にせずに、必要な分だけ介護サービスを受けられること」が42.3%で続いた。

性別に見ると、「ショートステイやデイサービス～必要な時に使えること」が女性の方が割合が高かったほかは、男性の方が女性の割合を上回っている。

年齢層別に見ると、65～69歳、および85歳以上では、「ショートステイやデイサービス～必要な時に使えること」の割合が最も高いが、それ以外の70～84歳については、「通院などの際、送迎サービス～」の割合が最も高かった。

配偶者の有無別に見ると、いずれの項目に対しても配偶者がいる人の方で割合が高くなっており、「ショートステイやデイサービス～必要な時に使えること」では49.8%と、配偶者がいない人を10ポイント上回っている。

世帯類型別に見ると、単身世帯では「通院などの際、送迎サービス～」の割合が最も高かった。それ以外の世帯では、「ショートステイやデイサービス～必要な時に使えること」への回答が最も多く見られ、特に夫婦のみ世帯では50.0%と最も割合が高かった。また、夫婦のみ世帯は、他の世帯に比べ「通院などの際、送迎サービス～」や「～必要な分だけ介護サービスを受けられること」などにおいても割合が最も高くなっている。一方、3世代同居世帯では、ほかの世帯に比べて「介護をしてくれる家族がいること」の割合が高く、44.4%であった。

2世代同居世帯の内訳を見ると、「介護をしてくれる家族がいること」を除いて、本人と親の世帯の方で割合が高くなっている。3世代同居世帯では、「介護をしてくれる家族がいること」、「夜間の介護を安心して任せられるサービスを受けられること」などで本人と親と子の世帯の方で割合が高い。

福祉圏域別に見ると、新潟圏域では他の圏域に比べ、「ショートステイやデイサービス～必要な時に使えること」、「～必要な分だけ介護サービスを受けられること」、「夜間の介護を～」の割合が高くなっている。また、糸魚川圏域では「ショートステイやデイサービス～必要な時に使えること」が、村上圏域では「通院などの際、送迎サービス～」が、佐渡圏域では「介護をしてくれる家族がいること」の割合が他の圏域に比べて高い。

健康状態別に見ると、「～外出も一人でできる」人は、ほかの状態の人に比べて「通院などの際、送迎サービス～」への回答が多かった。「～寝たきりである」という人は、他の状態の人に比べ「ショートステイやデイサービス～必要な時に使えること」、「～必要な分だけ介護サービスを受けられること」、「介護をしてくれる家族がいること」などの割合が高く、逆に「通院などの際、送迎サービス～」は低かった。

本人の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、「通院などの際、送迎サービス～」については、要支援・介護認定を受けていない人の回答が47.9%となり、受けている人を10ポイント以上上回った。

本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、本人が要支援・介護認定を受けておらず、家族が受けている場合、「ショートステイやデイサービス～必要な時に使えること」、「～必要な分だけ介護サービスを受けられること」の割合がほかの状況の人に比べて高くなっている。また、「介護をしてくれる家族がいること」は本人が要支援・介護認定を受けており、家族が受けていない場合に割合が高い。また、「通院などの際、送迎サービス～」については、本人が要支援・介護認定を受けていない場合、「家族が受けている・受けていない」に関わらず割合が高く、5割近くに達している。

自宅での介護保険サービスの利用状況により比較すると、サービスを利用している人は、「ショートステイやデイサービス～必要な時に使えること」への回答が多く、57.8%となり、利用していない人の割合を10ポイント以上上回った。

図9-1 自宅での生活の継続に必要な支援

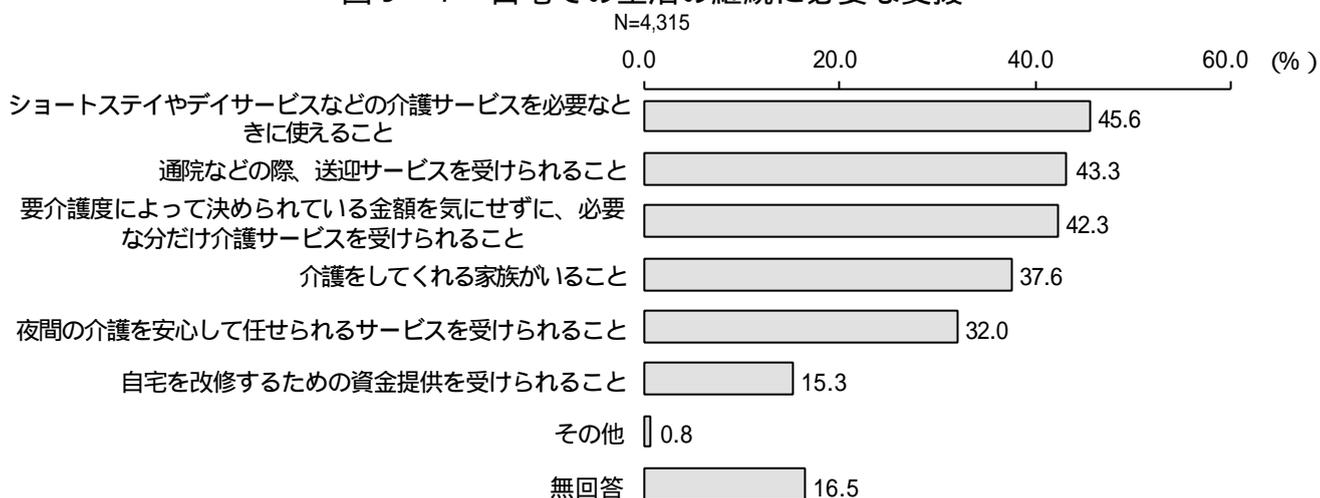


表9-1 自宅での生活の継続に必要な支援

	総数	ショートステイやデイサービスなどの介護サービスを必要とすること	要介護度によって決められている金額を気にせずに、必要な分だけ介護サービスを受けられること	通院などの際、送迎サービスを受けられること	夜間の介護を安心して任せられるサービスを受けられること	介護をしてくれる家族がいること	自宅を改修するための資金提供を受けられること	その他	無回答
<全体> (実数) (構成比)	4,315	1,969 45.6	1,824 42.3	1,867 43.3	1,381 32.0	1,623 37.6	662 15.3	36 0.8	714 16.5
<性別>									
男性	1,590	46.7	44.0	44.8	33.3	40.9	17.4	0.8	13.2
女性	2,193	48.3	42.1	44.3	32.3	36.9	14.9	0.9	16.4
<年齢層別>									
65～69歳	1,129	53.9	50.8	47.5	38.8	38.9	18.4	0.3	8.9
70～74歳	1,112	43.7	42.8	44.2	32.4	35.3	16.3	0.9	16.5
75～79歳	912	41.1	38.3	44.0	30.3	37.0	13.0	1.0	19.4
80～84歳	577	41.9	35.0	43.7	26.3	39.0	12.7	1.7	21.0
85歳以上	401	46.9	38.9	31.4	26.2	43.9	12.5	0.7	18.7
前期高齢者	2,241	48.8	46.9	45.8	35.6	37.1	17.4	0.6	12.7
後期高齢者	1,890	42.6	37.4	41.2	28.2	39.0	12.8	1.2	19.7
<配偶者の有無別>									
配偶者あり	2,571	49.8	45.5	46.7	35.4	39.4	16.1	0.6	12.9
配偶者なし	1,591	39.9	37.5	38.3	27.0	35.5	14.0	1.2	21.2
<世帯類型別>									
単身世帯	298	39.3	39.6	40.6	32.2	20.5	13.4	2.0	25.5
夫婦のみ世帯	1,059	50.0	46.3	47.3	39.3	34.5	14.6	0.7	13.5
2世代同居世帯	1,095	44.8	41.0	42.6	30.6	39.5	15.6	0.5	16.5
うち本人と親の世帯	88	54.5	48.9	50.0	47.7	34.1	20.5	-	10.2
うち本人と子の世帯	1,007	44.0	40.3	42.0	29.1	39.9	15.2	0.6	17.1
3世代同居世帯	1,310	46.6	41.7	43.1	30.8	44.4	16.9	0.6	14.3
うち本人と親と子の世帯	51	39.2	37.3	45.1	35.3	49.0	13.7	-	9.8
うち本人と子と孫の世帯	1,259	46.9	41.9	43.0	30.6	44.2	17.0	0.6	14.5
その他世帯	392	42.3	40.3	39.5	23.0	34.9	13.0	2.0	19.9
<福祉圏域別>									
村上圏域	158	33.5	37.3	48.1	27.8	33.5	15.8	1.9	16.5
新発田圏域	523	42.4	44.6	41.3	30.2	39.4	15.3	1.1	15.3
新津圏域	409	47.2	39.6	44.3	30.6	41.8	16.4	1.0	15.9
新潟圏域	721	53.7	52.1	46.5	39.4	37.2	15.1	1.2	12.1
巻 三糸圏域	433	46.7	43.0	42.7	34.6	40.2	17.3	0.7	15.0
長岡圏域	451	44.8	42.4	43.0	33.0	37.0	12.2	0.2	16.6
小出圏域	173	37.6	36.4	39.3	23.1	34.1	12.7	0.6	20.8
六日町圏域	128	45.3	39.1	44.5	28.1	39.8	20.3	-	16.4
十日町圏域	230	43.5	43.9	46.5	34.3	40.9	17.8	-	17.8
柏崎圏域	214	49.5	39.3	42.5	32.7	36.0	15.0	0.9	14.5
上越圏域	425	47.1	40.0	42.6	30.1	35.5	14.8	1.4	17.2
糸魚川圏域	95	53.7	36.8	41.1	20.0	41.1	13.7	-	16.8
佐渡圏域	135	45.2	32.6	43.0	35.6	43.7	16.3	-	17.0
<健康状態別>									
大変健康	220	31.4	31.8	35.9	23.2	24.5	14.5	0.5	34.1
たいした病気や障害などもなく、普通に生活している	219	44.3	38.4	37.0	31.1	38.4	11.9	1.4	19.6
病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人で行える	1,947	47.4	42.9	43.7	32.4	38.7	15.4	0.6	14.6
病気や障害などがあって、家の中の生活はおおむね自分でやっているが、外出は一人で行えない	1,325	46.0	44.9	48.2	34.5	35.5	16.2	0.8	15.5
病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である	355	42.3	39.4	41.4	29.3	40.0	15.8	0.8	17.2
病気や障害などがあって、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである	128	48.4	39.8	31.3	27.3	39.1	14.1	3.1	21.1
	78	56.4	46.2	28.2	25.6	46.2	19.2	5.1	11.5
<本人の「要支援・介護認定」の状況別>									
受けている	552	49.5	43.5	36.6	33.2	42.0	16.3	2.0	12.1
受けていない	3,390	49.1	45.8	47.9	34.8	40.4	16.8	0.7	10.4
<家族の「要支援・介護認定」の状況別>									
受けている	517	53.6	48.7	43.5	36.2	37.9	14.9	1.2	11.8
受けていない	3,358	48.6	45.0	47.1	34.5	41.1	16.9	0.8	10.4
<本人と家族の「要支援・介護認定」の状況別>									
本人：受けている < 家族：受けている	225	49.3	45.8	38.7	33.3	41.3	16.4	1.8	11.1
本人：受けている < 家族：受けていない	268	51.5	43.3	34.7	35.4	45.5	17.2	1.9	10.1
本人：受けていない < 家族：受けている	276	58.3	52.2	48.9	39.9	35.9	14.5	0.7	10.1
本人：受けていない < 家族：受けていない	3,054	48.6	45.4	48.2	34.6	41.0	17.0	0.8	10.2
<自宅での介護保険サービスの利用状況別>									
利用している	450	57.8	46.7	39.1	33.8	39.6	15.6	0.7	14.4
利用していない	3,378	47.2	44.0	46.0	33.5	39.2	16.5	0.9	13.2

健康状態

大変健康

たいした病気や障害などもなく、普通に生活している

病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人で行える

病気や障害などがあって、家の中の生活はおおむね自分でやっているが、外出は一人で行えない

病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である

病気や障害などがあって、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである

10 介護保険制度の理解度

(1)介護保険制度の理解度 【SA】

介護保険制度についてどのくらい知っているかを聞いたところ、「だいたいわかる」が33.5%と最も多く、「あまりわからない」が28.8%で次いで多かった。また、「わかる」は5.5%であったことから、「だいたいわかる」とあわせて39.0%の人が制度を概ね理解している。一方、「わからない」は15.5%となり、「あまりわからない」とあわせて44.3%の人があまり理解していないことになり、理解している人を5ポイント以上上回った。

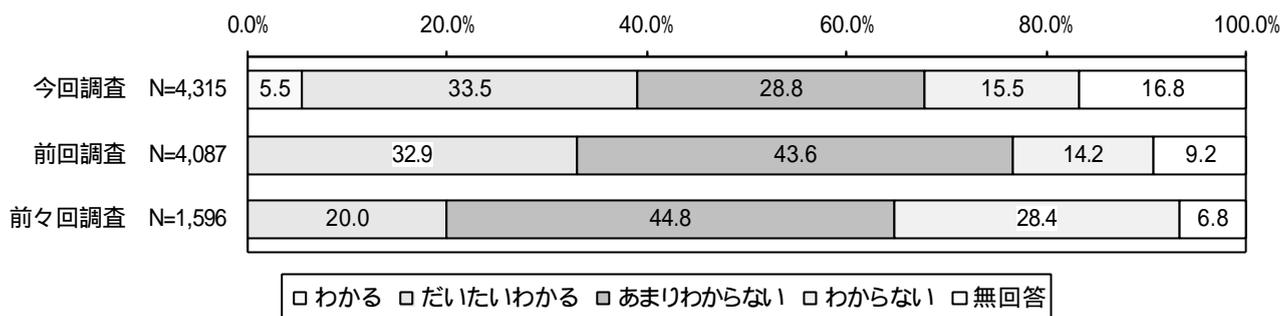
前回、前々回調査と比べると、介護保険制度を「だいたいわかる」とした人は、前々回が20.0%、前回は32.9%であり、今回は39.0%（「わかる」＋「だいたいわかる」）であったことから、徐々に理解度が高まっている様子がうかがえる。

性別に見ると、男性では、「わかる」が7.5%、「だいたいわかる」が40.1%となり、いずれも女性の割合を上回り、理解度が高い状況がうかがえる。女性は、「あまりわからない」が30.2%、「わからない」が18.3%となり、約半数の人があまり理解していないことになる。

年齢層別に見ると、年齢が高まるにつれて、「わかる」、「だいたいわかる」ともに低下する傾向にある。また、「あまりわからない」の割合は年齢とともに徐々に低下しているが、「わからない」の割合は高まっており、年齢が上がるにつれて理解度が低下している様子がうかがえる。

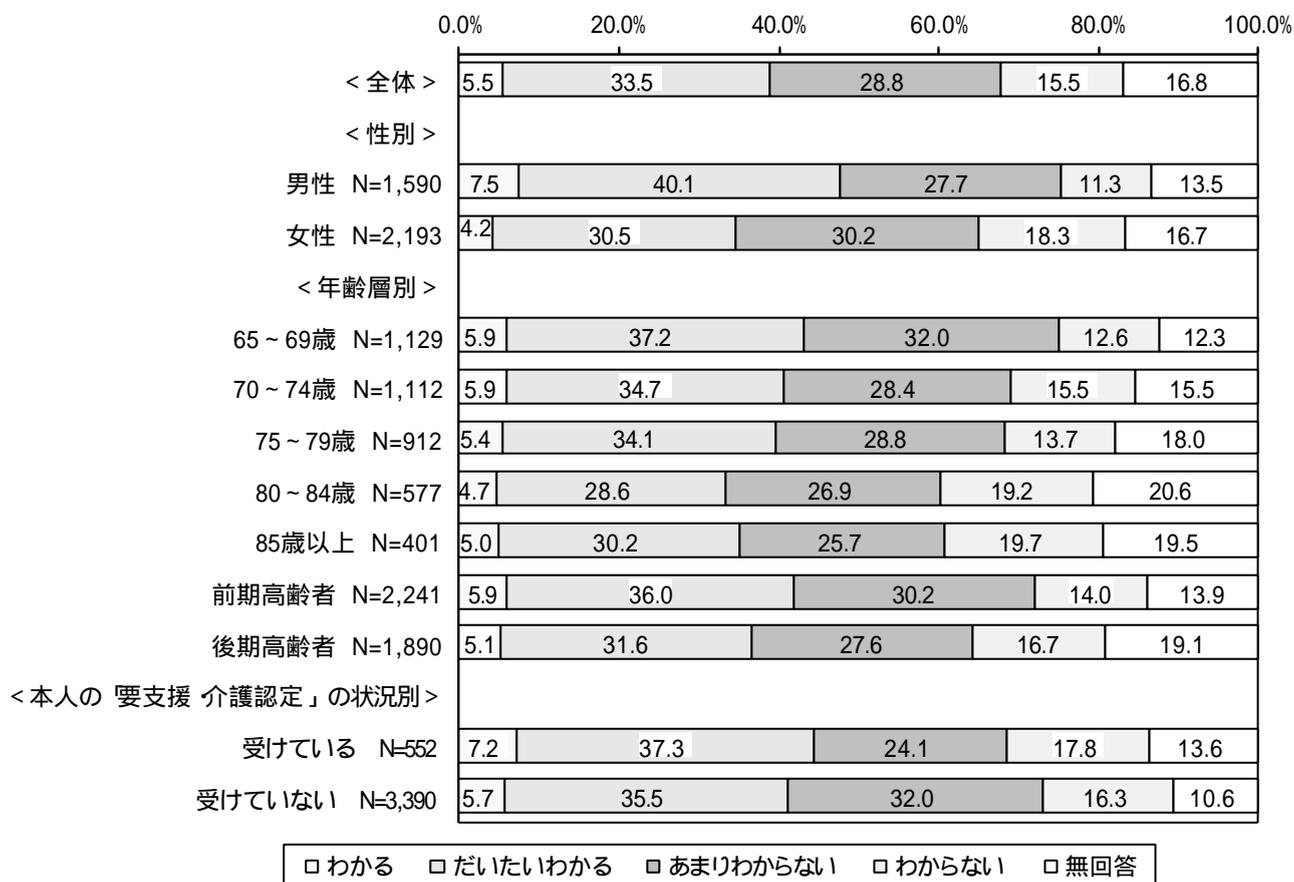
本人の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、要支援・介護認定を受けている人の方が、「わかる」、「だいたいわかる」とも受けていない人に比べて割合が高い。要支援・介護認定を受けていない人では、「あまりわからない」が32.0%、「わからない」が16.3%となり、あわせて48.3%が介護保険制度をあまり理解していないと考えられる。

図 10 - 1 介護保険制度の理解度 (前回、前々回調査との比較)



わかる」は今回調査で新たに追加した項目

図 10 - 2 介護保険制度の理解度
N=4,315



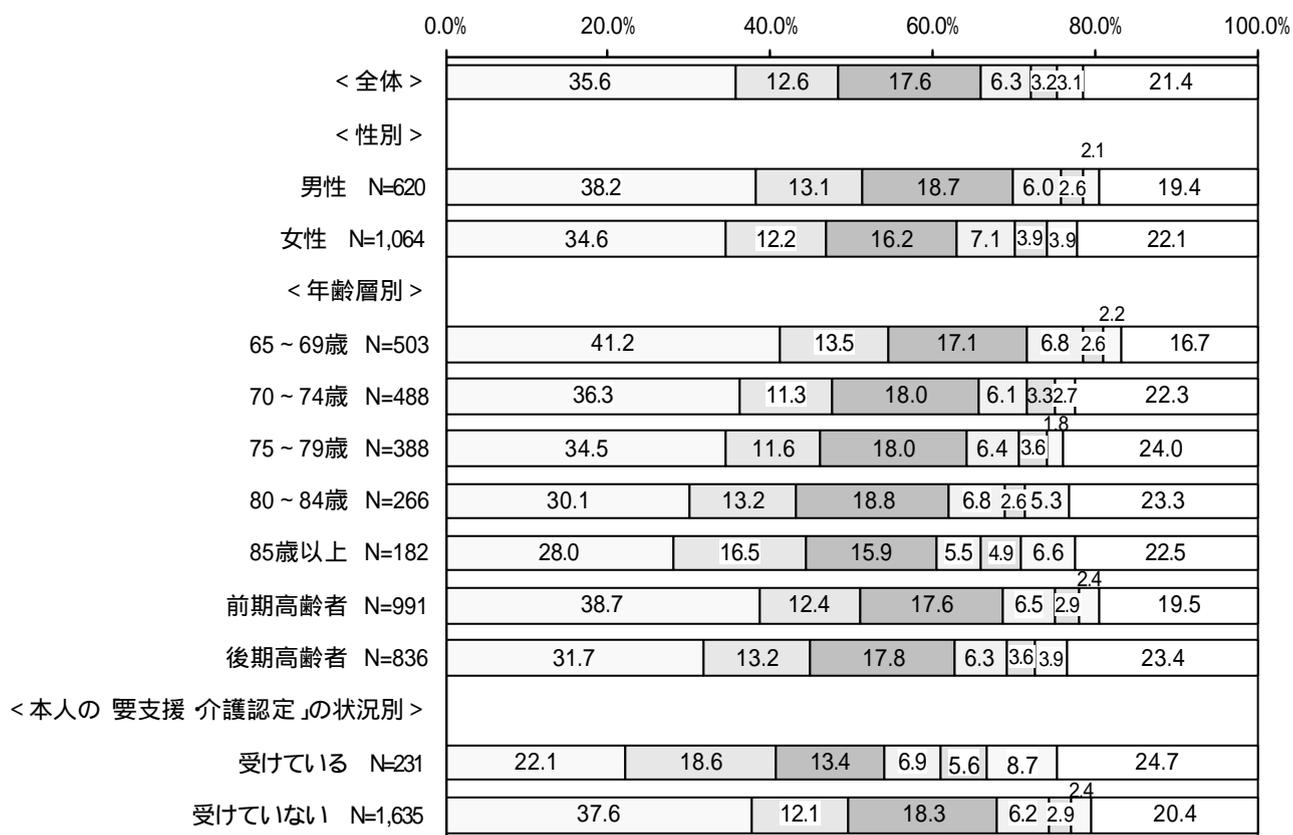
(2)介護保険制度でわかりにくい点 【SA】

介護保険制度について「あまりわからない」か「わからない」と回答した人に、制度や内容でどのようなことがわかりにくいと聞いたところ、「どんな人がサービスを受けられるか」が最も多く、35.6%であった。次いで、「サービスを受けるまでの手続き」が17.6%、「どのようなサービスがあるか」が12.6%で続いた。

年齢層別に見ると、65～69歳では「どんな人がサービスを受けられるか」の割合が41.2%と高いが、年齢の上昇とともにその割合は低下している。85歳以上になると、「どのようなサービスがあるか」の割合が高まり、「サービスを受けるまでの手続き」は低下している。

本人の「要支援・介護認定」の状況別に見ると、「どんな人がサービスを受けられるか」、「サービスを受けるまでの手続き」については、要支援・介護認定を受けていない人が受けている人に比べて割合が高く、それぞれ37.6%、18.3%であった。「どのようなサービスがあるか」については、要支援・介護認定を受けている人の方で割合が高かった。

図 10-3 介護保険制度でわかりにくい点
N=1,908



- どんな人がサービスを受けられるか
- サービスを受けるまでの手続き
- 保険料
- 無回答
- どのようなサービスがあるか
- サービスの利用料
- その他

11 自宅での介護保険サービスの利用状況と満足度

(1)自宅での介護保険サービスの利用状況 【SA】

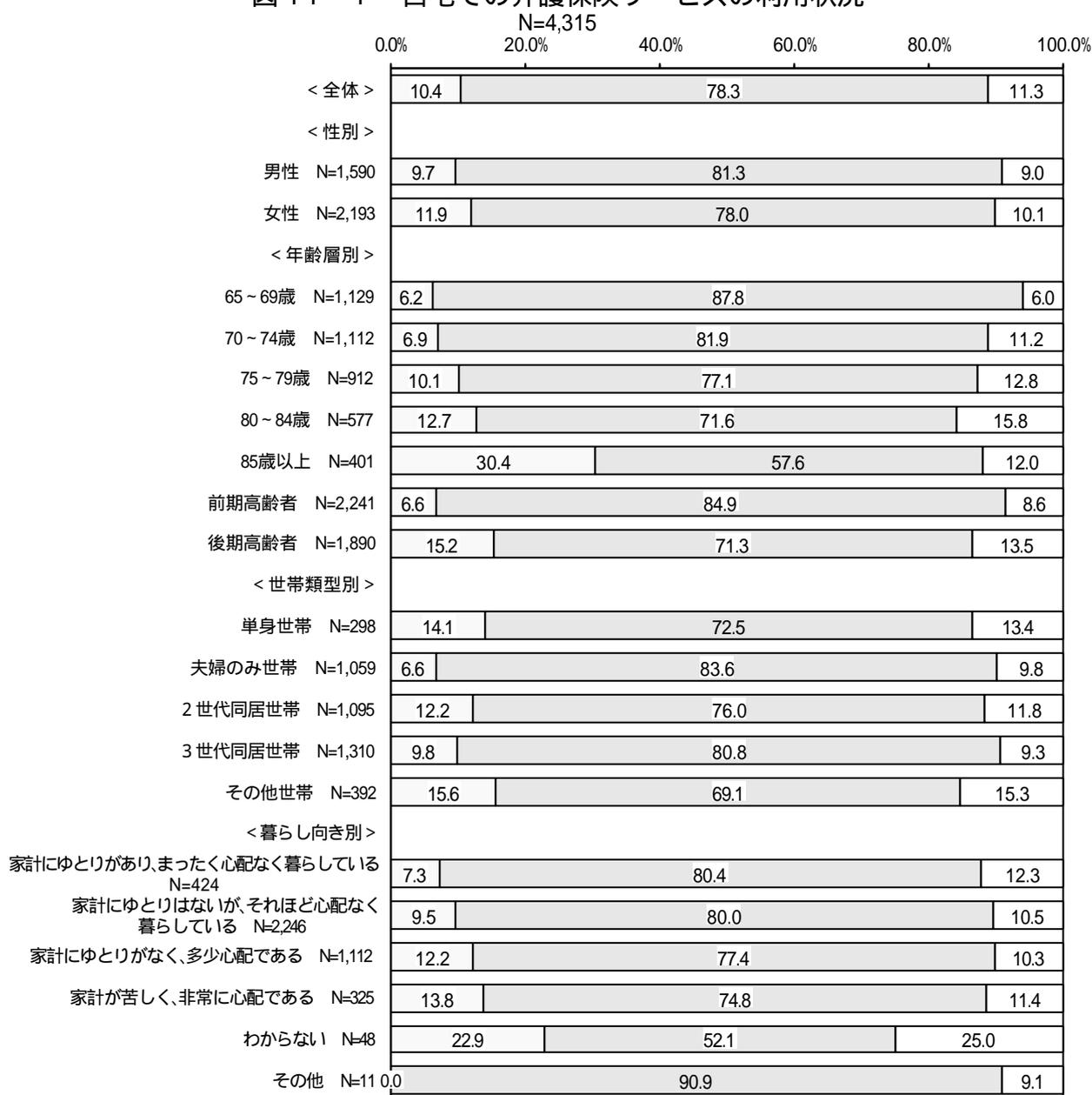
自分や家族が、自宅で介護保険サービスを利用しているかどうかを聞いたところ、「利用している」が10.4%と1割程度となり、「利用していない」が78.3%と圧倒的に多かった。

年齢層別に見ると、年齢が上昇するとともに「利用している」の割合が高まっており、85歳以上では急激に増え、30.4%に達している。このため、「利用している」は前期高齢者で6.6%であったが、後期高齢者では15.2%と高まっている。

世帯類型別に見ると、その他世帯、単身世帯で「利用している」割合が高くなっている。

暮らし向き別に見ると、家計にゆとりがない世帯ほど「利用している」の割合が高まっている。

図 11 - 1 自宅での介護保険サービスの利用状況



利用している
 利用していない
 無回答

(2)自宅での介護保険サービスに対する満足度 【SA】

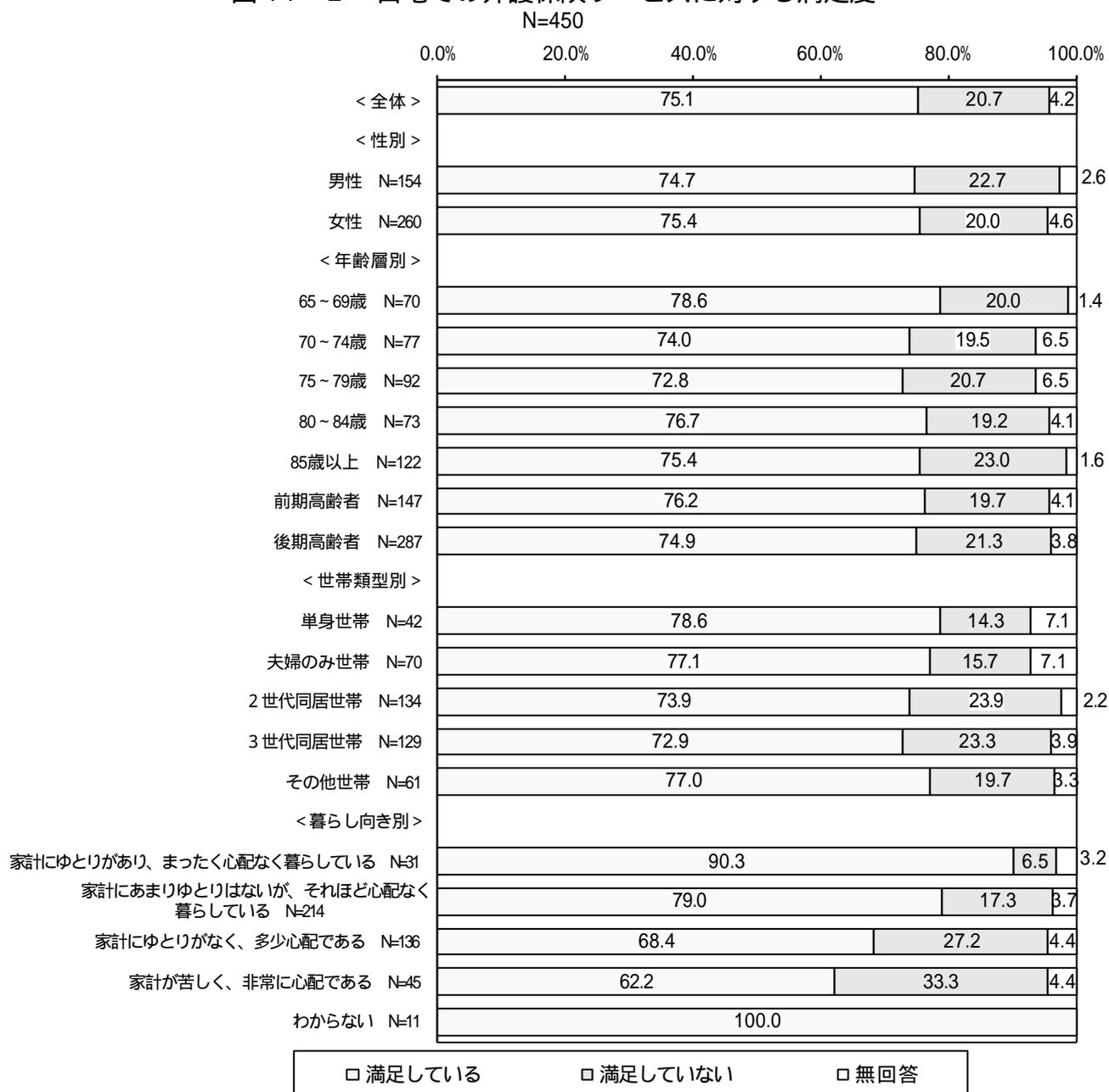
自宅で介護保険サービスを利用している人に対して、利用しているサービスに満足しているかどうかを聞いたところ、「満足している」が75.1%と全体の4分の3を占めた。「満足していない」は20.7%であった。

年齢層別に見ると、「満足している」の割合は65～69歳で最も高く、78.6%であった。逆に、「満足していない」は85歳以上で最も高く、23.0%であった。

世帯類型別に見ると、「満足している」は単身世帯で最も割合が高く78.6%となり、次いで、夫婦のみ世帯が77.1%が続いた。逆に、「満足していない」は、2世代同居世帯、3世代同居世帯で割合が高くなっている。

暮らし向き別に見ると、家計にゆとりがある世帯ほど満足度が高く、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」人では9割以上が「満足している」と回答している。家計にゆとりがない人になると、「満足していない」が高まる傾向にある。

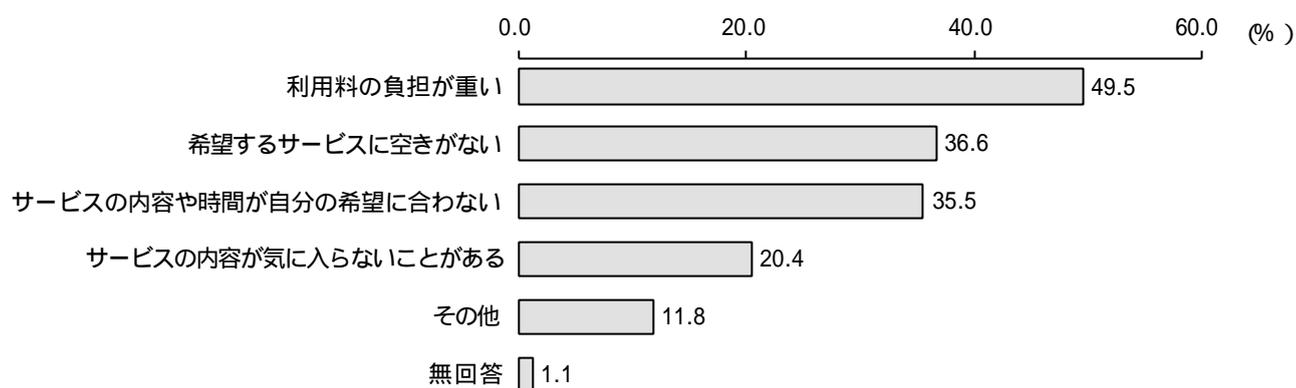
図 11- 2 自宅での介護保険サービスに対する満足度



(3)自宅での介護保険サービスに満足していない理由 【MA】

自宅での介護保険サービスに満足していない人に対して、その理由を聞いたところ、「利用料の負担が重い」が49.5%で最も多く、「希望するサービスに空きがない」が36.6%、「サービスの内容や時間が自分の希望に合わない」が35.5%で続いた。

図 11-3 自宅での介護保険サービスに満足していない理由
N=93



調查票

平成16年度 高齢者基礎調査

新潟県統計報告登録第 16 - 2 号

アンケート記入のお願い

(記入上のお願い)

- 1 このアンケートにご回答いただく方は、お送りした封筒の宛名に書いてある方ご本人にお願いします。
もし、ご本人が記入することができない場合は、どなたかが代わって記入していただいても結構ですが、回答の内容はお願いしているご本人の意見であるようにご配慮ください。
- 2 質問に対するお答えは、用意されている回答番号に 印を付けてください。
付けていただく の数は、質問ごとに「1つだけ」、「いくつでも」などと書いてありますので、その指示に従ってください。
- 3 回答の中で「その他」を選ばれた方は、()内に具体的な内容を記入してください。
- 4 質問の中のいくつかは、その前の質問の回答によってお答えいただく方と、回答が不要である方に分かります。そのような質問は、質問文の前に《問 で・・・と回答した方だけにお聞きします》と断っておりますので、その指示に従ってお答えください。
- 5 お答えの記入は、黒の鉛筆もしくは黒または青のボールペンでお願いします。
- 6 調査票に、お名前やご住所を記入していただく必要はありません。

(返送上のお願い)

ご記入いただきました調査票は、返信用封筒に入れて、平成16年7月26日(月)までにご投函くださるようお願いいたします。

なお、返信用封筒に切手を貼っていただく必要はありません。

また、返信用封筒にお名前やご住所を記入していただく必要はありません。

(ご質問などについて)

記入にあたって、ご不明な点やご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

(照会先)

新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 高齢化対策係

電話 025-280-5190(直通)

電話 025-285-5511(内線 2532・2533)

問6 ふだん、仕事や家事以外ではどのようなことをして過ごすことが多いですか。
(いくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き | 2 家族とのだんらん、孫と遊ぶ |
| 3 仲間と集まったり、おしゃべりをする | 4 趣味・娯楽 |
| 5 学習・研究 | 6 健康維持のための活動・スポーツ |
| 7 旅行・ドライブ・買い物など外出 | 8 地域行事や町内会・自治会の活動 |
| 9 老人クラブの活動 | 10 ボランティア活動 |
| 11 家族の介護 | 12 何もしないでゴロゴロしている |
| 13 その他 () | |

問7 どんなことに喜びや生活の張りを感じますか。(いくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 子どもや孫の成長 | 2 趣味・娯楽 |
| 3 学習・研究 | 4 健康維持のための活動・スポーツ |
| 5 仕事 | 6 ボランティア活動 |
| 7 旅行・買い物 | 8 信仰・宗教活動 |
| 9 地域行事や町内会・自治会の活動 | 10 老人クラブの活動 |
| 11 仲間と集ったり、おしゃべりしたりすること | |
| 12 食事 | 13 特にない |
| 14 その他 () | |

問8 現在行っていることも含めて、これからどのようなことをしたいと思いますか。
(いくつでも)

- | |
|--|
| 1 収入を得るための仕事 |
| 2 家の仕事(家事・自給用の農作業など) |
| 3 趣味・娯楽 |
| 4 学習・研究 |
| 5 健康維持のための活動・スポーツ |
| 6 高齢者に関するボランティア(相談や話し相手、家事、外出の介助、食事サービス施設訪問など) |
| 7 子どもに関するボランティア(子どもたちの勉強や遊びの手伝い、子育ての手伝いなど) |
| 8 障害者などに関するボランティア(施設訪問、手話や点訳など) |
| 9 環境美化に関するボランティア(地域の清掃や草取り、花植えなど) |
| 10 地域の歴史、史跡などの伝承活動 |
| 11 地域行事や町内会・自治会の活動 |
| 12 老人クラブの活動 |
| 13 若い人に、自分の知識・経験・技術を伝えるような活動 |
| 14 特に何もしたいとは思わない |
| 15 その他 () |

問9へお進みください。

問9 《問8で「14 特に何もしたいとは思わない」と回答した方だけにお聞きします》
「特に何もしたいとは思わない」のはどうしてですか。(いくつでも)

- 1 自分が何をやりたいのか、何をやったらよいかわからないから
- 2 同好の友人・仲間がないから
- 3 健康・体力に自信がないから
- 4 魅力的な活動がないから
- 5 活動に必要な技術・経験がないから
- 6 家庭の事情(病人・家事・介護)があるから
- 7 拘束されたくないから(わずらわしい)
- 8 興味・関心がないから
- 9 その他()

問10 高齢者の方が、今以上に社会や地域での活動に参加するためには、県や市町村は何をすればよいと思いますか。(いくつでも)

- 1 情報をもっと提供する
- 2 参加を呼びかけてくれる世話役の確保や養成
- 3 一緒に活動する仲間を作る機会を提供する
- 4 経験・知識・技術を活かして活動する場、働く場を確保する
- 5 活動のための施設を整備したり、利用しやすくする
- 6 活動のための資金を提供する
- 7 特にない
- 8 わからない
- 9 その他()

問11 日常、どのようなことに不自由を感じますか。(いくつでも)

- 1 食事づくりが面倒
- 2 日常の買い物が大変
- 3 病院や理美容などへ出かけるのが困難・不便
- 4 ふとんのクリーニングや乾燥が大変
- 5 家の管理(庭の手入れ、簡単な修理、雪おろしなど)が大変
- 6 日常の金銭管理や役所などでの手続きが大変
- 7 いろいろな相談をする人や窓口が身近にない
- 8 お茶を飲んだり、おしゃべりをするなど、気軽に出かけて楽しめるところが身近にない
- 9 特にない
- 10 その他()

問12 現在のお住まいについて、使いにくいところがありますか。
当てはまると思われるものをすべてお答えください。(いくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 玄関と床・道路との段差 | 2 玄関や廊下の幅 |
| 3 階段の勾配 | 4 敷居など、廊下と部屋との段差 |
| 5 トイレ | 6 浴室 |
| 7 台所 | 8 寝室 |
| 9 特に困ったり、不便を感じているところはない | |
| 10 その他() | |

問13 使いにくい部分の改修の予定はありますか。(1つだけ)

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 わからない |
|------|-------|---------|

問14 《問13で「2 いいえ」と回答した方だけにお聞きします》
改修の予定がないのは、なぜですか。(1つだけ)

- | |
|-------------------|
| 1 持ち家でないため(賃貸住宅等) |
| 2 新築の予定があるため |
| 3 改修費用がないため |
| 4 今後、引っ越す予定があるため |
| 5 その他() |

問15 現在のあなたの健康状態はいかがですか。次にあげた中で最も近いものをお答えください。(1つだけ)

- | |
|---|
| 1 大変健康 |
| 2 たいした病気や障害などもなく、普通に生活している |
| 3 病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える |
| 4 病気や障害などがあるが、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない |
| 5 病気や障害などがあるが、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である |
| 6 病気や障害などがあるが、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである |

問16 自分の健康のために意識していることや取り組んでいることがありますか。(1つだけ)

1 ある	2 ない
------	------

問17 《問16で「1 ある」と回答した方だけにお聞きします》

それはどのようなことですか。(いくつでも)

1 自分にあった量や質の食事をとるようにしている
2 外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にしている
3 健康補助食品などを食べている
4 歯や口の状態を観察している
5 定期的にお酒を飲まない日を設けている
6 健康のために意識して運動するようにしている
7 積極的に外出している
8 地域の活動(趣味、サークル活動等)に参加するようにしている
9 よく眠り休養するようにしている
10 その他()

問18 いつまでも健康でいきいきと暮らしていくために、現在参加しているものも含めて、次のどれに参加してみたいですか。(いくつでも)

1 転倒骨折予防教室(生活指導や運動指導)
2 家族のための痴呆介護教室
3 家事訓練を中心とした自立支援教室
4 高齢者筋力向上トレーニング教室(トレーニングマシンを使った運動)
5 高齢者食生活改善教室
6 生活習慣病予防のためのトレーニング教室(個人別メニューによる運動指導)
7 特にない
8 その他()

問19 今後、ご自分の健康の管理をしていくうえで、どのような保健情報が役立つと思いますか。(いくつでも)

1 寝たきりの予防方法について	2 痴呆の予防について
3 介護の方法について	4 がん・心臓病・脳卒中など生活習慣病について
5 健康診断の結果についての十分な説明	6 うつ病について
7 健康増進のための運動方法について	8 <small>こつそしょうしょう</small> 骨粗鬆症(転倒予防)について
9 食生活のあり方について	10 歯や口の健康について
11 薬の飲み方について	12 特にない
13 その他())

問20 「心の健康」のために、気をつけていることがありますか。(いくつでも)

- 1 趣味などで気分転換をするようにしている
- 2 話し相手をみつけて気分転換をするようにしている
- 3 休養を心がけるようにしている
- 4 気になることがあると、治療を受けたり相談に行ったりする
- 5 特に何もしていない
- 6 「心の健康」には関心がない
- 7 その他()

問21 あなたの「心の健康」が心配になったとき、どなたに相談しますか。(いくつでも)

- 1 家族・親戚
- 2 友人・知人
- 3 民生委員
- 4 かかりつけの開業医又は病院(精神科や心療内科を除く)
- 5 ケアマネジャー
- 6 ホームヘルパー
- 7 市町村の保健師
- 8 保健所の相談員
- 9 精神科医療機関(心療内科を含む)
- 10 電話相談を含む公的相談機関
- 11 誰かに相談はしない
- 12 特に心配はしていない
- 13 その他()

問22 うつ病について、どのようなことを聞いたことがありますか。(いくつでも)

- 1 誰でもなる可能性がある病気である
- 2 うつ病と「なまけ」とは違うものである
- 3 うつ病の症状として身体の不調や痛みがあることが多い
- 4 うつ病の人に励ましのことばをかけるのはよくない
- 5 休養と薬物療法で治療する
- 6 うつ病は自殺と関係がある
- 7 うつ病について特に聞いたことがない
- 8 その他()

問23 あなたや家族が痴呆症になった場合、安心して暮らしていくためには、今後どのようなことがらが必要になると思いますか。(いくつでも)

- 1 日中預かってくれる施設
- 2 緊急時や介護に疲れたときなどに短期間預かってくれる施設
(日中も夜間も通して)
- 3 介護を手伝ってくれるホームヘルパー
- 4 悩みを聞いたり、相談にのってくれる窓口
- 5 必要なサービスの調整や手続きをしてくれるケアマネージャー
- 6 診断・治療をしてくれる医療機関
- 7 グループホーム(介護スタッフと少人数のお年寄りと一緒に暮らす、小規模で家庭的な雰囲気の施設)
- 8 特別養護老人ホームのような大きな施設
- 9 経済的支援
- 10 将来、財産管理や生活面でサポートしてくれる人を、判断能力が衰える前に決めておくこと
- 11 痴呆介護の知識と技術を教えてくれる機関
- 12 家族や親族の理解と協力
- 13 地域住民の理解と協力
- 14 早期痴呆症に対し悪化予防の訓練をしてくれる施設
- 15 行方不明になったときに探索してくれる装置・機関
- 16 その他()

次のページに続きます。

問24 今後、介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいですか。（いくつでも）

- 1 自宅で
- 2 子どもや親族の家で
- 3 有料老人ホームで（食事や入浴などのサービスを受けられる高齢者用の集合住宅）
- 4 ケアハウスで（低料金で、食事や入浴などのサービスを受けられる高齢者用の集合住宅）
- 5 グループホームで（介護スタッフと少人数のお年寄りと一緒に暮らす、小規模で家庭的な雰囲気の施設）
- 6 特別養護老人ホームや介護老人保健施設で
- 7 病院で
- 8 その他（ ）

問25 《問24で「6 特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」と回答した方だけにお聞きします》

特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたいと思う理由は何ですか。（いくつでも）

- 1 設備やサービスが充実していそうだから
- 2 在宅では介護してくれる人がいないから
- 3 家にいると家族に迷惑がかかるから
- 4 いざというとき安心だから
- 5 金銭的負担が少ないと思うから
- 6 主治医やケアマネジャーなどから勧められたから
- 7 人が大勢いるので楽しそうだと思うから
- 8 その他（ ）

問26 《問24で「6 特別養護老人ホームや介護老人保健施設で」を選ばなかった方だけにお聞きします》

特別養護老人ホームや介護老人保健施設では介護を受けたくない理由は何ですか。（いくつでも）

- 1 住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから
- 2 プライバシーが守られないから
- 3 規則に縛られるから
- 4 人間関係がわずらわしいから
- 5 きめ細かなサービスが受けられないから
- 6 金銭的な負担が大きいから
- 7 世間体が悪いから
- 8 その他（ ）

問27 ずっと自宅で暮らし続けるためには、どのような支援があればいいと思いますか。
(いくつでも)

- 1 ショートステイやデイサービスなどの介護サービスを必要なときに使えること
- 2 要介護度によって決められている金額を気にせずに、必要な分だけ介護サービスを受けられること
- 3 通院などの際、送迎サービスを受けられること
- 4 夜間の介護を安心して任せられるサービスを受けられること
- 5 介護をしてくれる家族がいること
- 6 自宅を改修するための資金提供を受けられること
- 7 その他()

問28 介護保険制度についてお聞きします。
制度や内容について、どのくらいご存知ですか。(1つだけ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 わかる | 2 だいたいわかる |
| 3 あまりわからない | 4 わからない |

問29 《問28で「3 あまりわからない」か「4 わからない」に回答した方だけにお聞きします》
制度や内容について、特にどのようなことがわかりにくいですか。(1つだけ)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 どんな人がサービスを受けられるか | 2 どのようなサービスがあるか |
| 3 サービスを受けるまでの手続き | 4 サービスの利用料 |
| 5 保険料 | 6 その他() |

問30 あなたは、介護保険の「要支援・介護認定」を受けていますか。【7月1日現在】
(1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問31 家族の中に、介護保険の「要支援・介護認定」を受けている方がいますか。
【7月1日現在】(1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問32 現在、あなたや家族は、自宅で介護保険サービスを利用していますか。
(1つだけ)

1 利用している

2 利用していない

問33 《問32で「1 利用している」と回答した方だけにお聞きします》
現在、利用しているサービスに満足していますか。(1つだけ)

1 満足している

2 満足していない

問34 《問33で「2 満足していない」と回答した方
だけにお聞きします》
満足していない理由は何ですか。(いくつでも)

- 1 サービスの内容や時間が自分の希望に合わない
- 2 希望するサービスに空きがない
- 3 サービスの内容が気に入らないことがある
- 4 利用料の負担が重い
- 5 その他()

ご協力ありがとうございました。

お早めに投函くださいますようお願い申し上げます。

単 純 集 計 票

1.性別 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	男性	1,590	36.8
2	女性	2,193	50.8
	無回答	532	12.3
	総数	4,315	100.0

2.年齢層(平成16年7月1日現在)(数量)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	65～69歳	1,129	26.2
2	70～74歳	1,112	25.8
3	75～79歳	912	21.1
4	80～84歳	577	13.4
5	85歳以上	401	9.3
	無回答	184	4.3
	総数	4,315	100.0

2-2.高齢者区分 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	前期高齢者	2,241	51.9
2	後期高齢者	1,890	43.8
	無回答	184	4.3
	総数	4,315	100.0

3.福祉圏域 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	村上圏域	158	3.7
2	新発田圏域	523	12.1
3	新津圏域	409	9.5
4	新潟圏域	721	16.7
5	巻・三条圏域	433	10.0
6	長岡圏域	451	10.5
7	小出圏域	173	4.0
8	六日町圏域	128	3.0
9	十日町圏域	230	5.3
10	柏崎圏域	214	5.0
11	上越圏域	425	9.8
12	糸魚川圏域	95	2.2
13	佐渡圏域	135	3.1
	無回答	220	5.1
	総数	4,315	100.0

4-1 .同居者 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	1人暮らし	298	6.9
2	配偶者	2,571	59.6
3	あなたの父	28	0.6
4	あなたの母	126	2.9
5	配偶者の父	36	0.8
6	配偶者の母	87	2.0
7	子	2,430	56.3
8	子の配偶者	1,360	31.5
9	孫	1,472	34.1
10	孫の配偶者	214	5.0
11	ひまご	117	2.7
12	その他の親族	69	1.6
13	その他	43	1.0
	無回答	161	3.7
	総数	4,315	100.0

4-2 .配偶者の有無 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	配偶者あり	2,571	59.6
2	配偶者なし	1,591	36.9
	無回答	153	3.5
	総数	4,315	100.0

4-3 .世帯類型 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	単身世帯	298	6.9
2	夫婦のみ世帯	1,059	24.5
3	2世代同居世帯	1,095	25.4
4	3世代同居世帯	1,310	30.4
5	その他世帯	392	9.1
	無回答	161	3.7
	総数	4,315	100.0

5 .経済的な暮らし向き (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	家計にゆとがあり まったく心配なく暮らしている	424	9.8
2	家計にあまりゆとはないが、それほど心配なく暮らしている	2,246	52.1
3	家計にゆとがなく、多少心配である	1,112	25.8
4	家計が苦しく、非常に心配である	325	7.5
5	わからない	48	1.1
6	その他	11	0.3
	無回答	149	3.5
	総数	4,315	100.0

6.ふだんの過ごし方 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き	3,219	74.6
2	家族とのだんらん、孫と遊ぶ	931	21.6
3	仲間と集まったり おしゃべりする	1,555	36.0
4	趣味 娯楽	1,255	29.1
5	学習 研究	194	4.5
6	健康維持のための活動・スポーツ	577	13.4
7	旅行・ドライブ・買い物など外出	1,358	31.5
8	地域行事や町内会・自治会の活動	390	9.0
9	老人クラブの活動	706	16.4
10	ボランティア活動	258	6.0
11	家族の介護	247	5.7
12	何もしないでゴロゴロしている	466	10.8
13	その他	339	7.9
	無回答	101	2.3
	総数	4,315	100.0

7.喜びや生活の張りを感じること (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	子どもや孫の成長	1,980	45.9
2	趣味 娯楽	1,304	30.2
3	学習 研究	196	4.5
4	健康維持のための活動・スポーツ	547	12.7
5	仕事	1,275	29.5
6	ボランティア活動	203	4.7
7	旅行・買い物	1,366	31.7
8	信仰 宗教活動	188	4.4
9	地域行事や町内会・自治会の活動	296	6.9
10	老人クラブの活動	524	12.1
11	仲間と集まったり おしゃべりしたりすること	1,648	38.2
12	食事	940	21.8
13	特にない	306	7.1
14	その他	149	3.5
	無回答	269	6.2
	総数	4,315	100.0

8. 今後行いたい活動 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	収入を得るための仕事	616	14.3
2	家の仕事(家事・自給用の農作業など)	2,247	52.1
3	趣味・娯楽	1,457	33.8
4	学習・研究	249	5.8
5	健康維持のための活動・スポーツ	883	20.5
6	高齢者に関するボランティア(相談者や話し相手、家事、外出の介助、食事サービス、施設訪問など)	223	5.2
7	子どもに関するボランティア(子どもたちの勉強や遊びの手伝い、子育ての手伝いなど)	176	4.1
8	障害者などに関するボランティア(施設訪問、手話や点訳など)	70	1.6
9	環境美化に関するボランティア(地域の清掃や草取り、花植えなど)	383	8.9
10	地域の歴史、史跡などの伝承活動	170	3.9
11	地域行事や町内会・自治会の活動	315	7.3
12	老人クラブの活動	656	15.2
13	若い人に、自分の知識・経験・技術を伝えるような活動	272	6.3
14	特に何もしたいとは思わない	482	11.2
15	その他	124	2.9
	無回答	425	9.8
	総数	4,315	100.0

9. 特に何もしたいとは思わない理由 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	自分が何をやりたいのか、何をしたらよいかかわからないから	119	24.7
2	同好の友人・仲間がないから	49	10.2
3	健康・体力に自信がないから	289	60.0
4	魅力的な活動がないから	9	1.9
5	活動に必要な技術・経験がないから	19	3.9
6	家庭の事情(病人・家事・介護)があるから	40	8.3
7	拘束されたくないから(わずらわしい)	62	12.9
8	興味・関心がないから	91	18.9
9	その他	48	10.0
	無回答	11	2.3
	総数	482	100.0

10. 社会・地域活動に参加するために県や市町村は何をすればよいか (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	情報をもっと提供する	1,132	26.2
2	参加を呼びかけてくれる世話役の確保や養成	1,071	24.8
3	一緒に活動する仲間を作る機会を提供する	987	22.9
4	経験・知識・技術を活かして活動する場、働く場を確保する	624	14.5
5	活動のための施設を整備したり利用しやすくする	885	20.5
6	活動のための資金を提供する	459	10.6
7	特にない	709	16.4
8	わからない	471	10.9
9	その他	73	1.7
	無回答	711	16.5
	総数	4,315	100.0

11. 日常不自由に感じること (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	食事づくりが面倒	495	11.5
2	日常の買い物が大変	505	11.7
3	病院や理美容などへ出かけるのが困難・不便	506	11.7
4	ふとんのクリーニングや乾燥が大変	320	7.4
5	家の管理(庭の手入れ、簡単な修理、雪おろしなど)が大変	919	21.3
6	日常の金銭管理や役所などでの手続きが大変	312	7.2
7	いろいろな相談をする人や窓口が身近にない	301	7.0
8	お茶を飲んだりおしゃべりするなど、気軽に出かけて楽しめるところが身近にない	483	11.2
9	特にない	1,648	38.2
10	その他	126	2.9
	無回答	582	13.5
	総数	4,315	100.0

12. 住居で使いにくいところ (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	玄関と床・道路との段差	442	10.2
2	玄関や廊下の幅	152	3.5
3	階段の勾配	290	6.7
4	敷居など、廊下と部屋との段差	344	8.0
5	トイレ	312	7.2
6	浴室	328	7.6
7	台所	220	5.1
8	寝室	136	3.2
9	特に困ったり不便を感じているところはない	2,460	57.0
10	その他	92	2.1
	無回答	620	14.4
	総数	4,315	100.0

13. 住居の改修予定の有無 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	はい	392	9.1
2	いいえ	1,676	38.8
3	わからない	753	17.5
	無回答	1,494	34.6
	総数	4,315	100.0

14. 改修予定のない理由 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	持ち家でないため(賃貸住宅等)	82	4.9
2	新築の予定があるため	46	2.7
3	改修費用がないため	670	40.0
4	今後、引っ越す予定があるため	28	1.7
5	その他	582	34.7
	無回答	268	16.0
	総数	1,676	100.0

15.健康状態 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	大変健康	219	5.1
2	たいした病気や障害などもなく、普通に生活している	1,947	45.1
3	病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる	1,325	30.7
4	病気や障害などがあって、家の中の生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人でできない	355	8.2
5	病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの介助が必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である	128	3.0
6	病気や障害などがあって、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、一日中寝たきりである	78	1.8
	無回答	263	6.1
	総数	4,315	100.0

16.健康のために意識していることや取り組んでいることの有無 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	ある	1,940	45.0
2	ない	1,193	27.6
	無回答	1,182	27.4
	総数	4,315	100.0

17.健康のために意識していること、取り組んでいること (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	自分にあった量や質の食事をとるようにしている	1,292	66.6
2	外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にしている	196	10.1
3	健康補助食品などを食べている	385	19.8
4	歯や口の状態を観察している	349	18.0
5	定期的にお酒を飲まない日を設けている	155	8.0
6	健康のために意識して運動するようにしている	829	42.7
7	積極的に外出している	429	22.1
8	地域の活動(趣味、サークル活動等)に参加するようにしている	317	16.3
9	よく眠り休養するようにしている	1,090	56.2
10	その他	79	4.1
	無回答	6	0.3
	総数	1,940	100.0

18.健康のために参加してみたい活動 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	転倒骨折予防教室(生活指導や運動指導)	492	11.4
2	家族のための痴呆介護教室	278	6.4
3	家事訓練を中心とした自立支援教室	187	4.3
4	高齢者筋力向上トレーニング教室(トレーニングマシンを使った運動)	402	9.3
5	高齢者食生活改善教室	485	11.2
6	生活習慣病予防のためのトレーニング教室(個人別メニューによる運動指導)	457	10.6
7	特になし	2,146	49.7
8	その他	110	2.5
	無回答	777	18.0
	総数	4,315	100.0

19. 健康管理のために役立つ保健情報 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	寝たきりの予防方法について	1,037	24.0
2	痴呆の予防について	1,252	29.0
3	介護の方法について	465	10.8
4	がん・心臓病・脳卒中など生活習慣病について	1,443	33.4
5	健康診断の結果についての十分な説明	1,295	30.0
6	うつ病について	373	8.6
7	健康増進のための運動方法について	859	19.9
8	骨粗鬆症(転倒予防)について	843	19.5
9	食生活のあり方について	1,201	27.8
10	歯や口の健康について	527	12.2
11	薬の飲み方について	479	11.1
12	特になし	618	14.3
13	その他	42	1.0
	無回答	466	10.8
	総数	4,315	100.0

20. 「心の健康」のために気をつけていること (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	趣味などで気分転換をするようにしている	1,852	42.9
2	話し相手をみつけて気分転換をするようにしている	1,554	36.0
3	休養を心がけるようにしている	1,656	38.4
4	気になることがあると治療を受けたり相談に行ったりする	694	16.1
5	特に何もしていない	885	20.5
6	「心の健康」には関心がない	156	3.6
7	その他	60	1.4
	無回答	389	9.0
	総数	4,315	100.0

21. 「心の健康」についての相談相手 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	家族・親戚	2,499	57.9
2	友人・知人	743	17.2
3	民生委員	139	3.2
4	かかりつけの開業医又は病院(精神科や心療内科を除く)	1,240	28.7
5	ケアマネージャー	133	3.1
6	ホームヘルパー	40	0.9
7	市町村の保健師	183	4.2
8	保健所の相談員	58	1.3
9	精神科医療機関(心療内科を含む)	218	5.1
10	電話相談を含む公的相談機関	51	1.2
11	誰かに相談はしない	58	1.3
12	特に心配はしていない	491	11.4
13	その他	23	0.5
	無回答	698	16.2
	総数	4,315	100.0

22.うつ病についての知識 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	誰でもなる可能性がある病気である	1,900	44.0
2	うつ病と「なまけ」とは違うものである	1,333	30.9
3	うつ病の症状として身体の不調や痛みがあることが多い	589	13.7
4	うつ病の人に励ましのことばをかけるのはよくない	855	19.8
5	休養と薬物療法で治療する	778	18.0
6	うつ病は自殺と関係がある	1,274	29.5
7	うつ病について特に聞いたことがない	751	17.4
8	その他	73	1.7
	無回答	879	20.4
	総数	4,315	100.0

23.痴呆症になった場合に必要なことから (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	日中預かってくれる施設	1,687	39.1
2	緊急時や介護に疲れたときなどに短期間預かってくれる施設(日中も夜間も通して)	2,236	51.8
3	介護を手伝ってくれるホームヘルパー	1,471	34.1
4	悩みを聞いたり相談にのってくれる窓口	1,253	29.0
5	必要なサービスの調整や手続きをしてくれるケアマネージャー	1,131	26.2
6	診断・治療をしてくれる医療機関	1,472	34.1
7	グループホーム(介護スタッフと少人数のお年寄りと一緒に暮らす、小規模で家庭的な雰囲気施設の施設)	906	21.0
8	特別養護老人ホームのような大きな施設	1,125	26.1
9	経済的支援	1,169	27.1
10	将来、財産管理や生活面でサポートしてくれる人を、判断能力が衰える前に決めておくこと	463	10.7
11	痴呆介護の知識と技術を教えてくれる機関	710	16.5
12	家族や親族の理解と協力	1,782	41.3
13	地域住民の理解と協力	760	17.6
14	早期痴呆症に対し悪化予防の訓練をしてくれる施設	1,121	26.0
15	行方無回答になったときに探索してくれる装置・機関	830	19.2
16	その他	52	1.2
	無回答	491	11.4
	総数	4,315	100.0

24.介護が必要となった場合、介護を受けたい場所 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	自宅で	2,266	52.5
2	子どもや親族の家で	340	7.9
3	有料老人ホームで(食事や入浴などのサービスを受けられる高齢者用の集合住宅)	683	15.8
4	ケアハウスで(低料金で、食事や入浴などのサービスを受けられる高齢者用の集合住宅)	1,544	35.8
5	グループホームで(介護スタッフと少人数のお年寄りと一緒に暮らす、小規模で家庭的な雰囲気施設の施設)	1,072	24.8
6	特別養護老人ホームや介護老人保健施設で	1,483	34.4
7	病院で	636	14.7
8	その他	51	1.2
	無回答	326	7.6
	総数	4,315	100.0

25 .特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたい理由 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	設備やサービスが充実していそうだから	893	60.2
2	在宅では介護してくれる人がいないから	497	33.5
3	家にいると家族に迷惑がかかるから	776	52.3
4	いざというとき安心だから	768	51.8
5	金銭的負担が少ないと思うから	588	39.6
6	主治医やケアマネージャーなどから勧められたから	75	5.1
7	人が大勢いるので楽しそうだと思うから	253	17.1
8	その他	12	0.8
	無回答	32	2.2
	総数	1,483	100.0

26 .特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護を受けたくない理由 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	住み慣れた家庭や地域で暮らしたいから	1,436	50.7
2	プライバシーが守られないから	258	9.1
3	規則に縛られるから	372	13.1
4	人間関係がわずらわしいから	529	18.7
5	きめ細かなサービスが受けられないから	188	6.6
6	金銭的な負担が大きいから	814	28.7
7	世間体が悪いから	51	1.8
8	その他	51	1.8
	無回答	938	33.1
	総数	2,832	100.0

27 .自宅での生活の継続に必要な支援 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	ショートステイやデイサービスなどの介護サービスを必要ときに使えること	1,969	45.6
2	要介護度によって決められている金額を気にせずに、必要な分だけ介護サービスを受けられること	1,824	42.3
3	通院などの際、送迎サービスを受けられること	1,867	43.3
4	夜間の介護を安心して任せられるサービスを受けられること	1,381	32.0
5	介護をしてくれる家族がいること	1,623	37.6
6	自宅を改修するための資金提供を受けられること	662	15.3
7	その他	36	0.8
	無回答	714	16.5
	総数	4,315	100.0

28 .介護保険制度の理解度 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	わかる	237	5.5
2	だいたいわかる	1,447	33.5
3	あまりわからない	1,241	28.8
4	わからない	667	15.5
	無回答	723	16.8
	総数	4,315	100.0

29.介護保険制度でわかりにくい点 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	どんな人がサービスを受けられるか	680	35.6
2	どのようなサービスがあるか	241	12.6
3	サービスを受けるまでの手続き	336	17.6
4	サービスの利用料	120	6.3
5	保険料	62	3.2
6	その他	60	3.1
	無回答	409	21.4
	総数	1,908	100.0

30.本人の「要支援 介護認定」の状況(平成16年7月1日現在) (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	いる	552	12.8
2	いない	3,390	78.6
	無回答	373	8.6
	総数	4,315	100.0

31.家族の「要支援 介護認定」の状況(平成16年7月1日現在) (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	いる	517	12.0
2	いない	3,358	77.8
	無回答	440	10.2
	総数	4,315	100.0

32.自宅での介護保険サービスの利用状況 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	利用している	450	10.4
2	利用していない	3,378	78.3
	無回答	487	11.3
	総数	4,315	100.0

33.自宅での介護保険サービスに対する満足度 (SA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	満足している	338	75.1
2	満足していない	93	20.7
	無回答	19	4.2
	総数	450	100.0

34.自宅での介護保険サービスに満足していない理由 (MA)

	カテゴリ	実数	構成比(%)
1	サービスの内容や時間が自分の希望に合わない	33	35.5
2	希望するサービスに空きがない	34	36.6
3	サービスの内容が気に入らないことがある	19	20.4
4	利用料の負担が重い	46	49.5
5	その他	11	11.8
	無回答	1	1.1
	総数	93	100.0